夕刊 滿洲日報 十二月二日

東鐵警備權の折半には 支那側斷じて應ぜぬ

蔡氏一行自動車で戰線を突破 昨朝目的地へ急行す

【ハルビン一日發電】露支和平交渉支那代表蔡運升氏一行は今朝十時四十分東部國境ポグラより自動車にて露支兩軍の線を突破し劇的光景の裡に目的地へ向つた、東鐵の警備權問題につき支那官憲の意向は左の如くである

即ちロシアは東鐵共同經營の原則に基き全延長一千七百二十一キロに亘る東鐵警備軍の露支折半を要求するかも知れぬが支那は領土保全の見地から斯かる屈辱的條件は斷然拒絕する

露代表に商議申込

蔡氏一行は尼市へ向ふ

【モスクワ一日發電】蔡運升、李紹庚兩氏は三十日國境グロデコヲに到着した、そして張學良氏の命を受けた聲明を發して曰く「支那は勞農側の要求を承認することを前提としてハバロフスク駐在勞農代表シマノフスキー氏と會見の上協議を進めたいと思ふ」蔡、李兩氏はシモノフスキー氏と會見の爲め直ちにニコリスク、ウスーリスクに赴くことになつた

國際的仲裁を考慮

米國務省露支問題協議

【ワシントン三十日發電】米國々務長官スチムソン氏は今朝米國務省に於て會議を開き次で白堊館を訪れ午後八時頃まで重要協議をなしたが、右散會後スチムソン氏は左の如く述べた

米國政府は目下尚ほ露支紛爭に對する國際的仲裁につき愼重考慮中である

と尚今迄の種々の報道を綜合すれば今回の露支兩軍の衝突に際し支那領土内に於ける掠奪放火等の暴行が行はれたが右は露軍の壯擧ではなく脫退逃走した不規律な支那軍を責むべきものと見られて居る

公使團が東鐵調查

各國武官が視察團組織

【上海特電二日發】外交部側の消息によれば北平公使團にては東鐵問題を實地に調査をなすべく同方面の視察團を組織することに決定した、右視察團は各國公使館附武官一二名宛を以て組織し英國公使館附武官を團長として近く北平出發の筈

對露意見相違から 奉天派内部に暗流

政變を免がれぬ形勢

【ハルビン特電二日發】奉天支那側幹部の對露重要會議は初戰兩樣に鼓れ激論し、主戰論者はロシアが國是を蹂躙してまで領土侵略のため出兵することは許されない、持久戰に移ればロシアは屈服すると說き張煥相氏が極力主張し黑龍江萬主席、孫參謀長は之に同意したが張學良氏の軟化と顧維鈞氏の和平論に遂に屈服し露支紛爭が解決しても東北政權の内部に暗流生じ崩壞の機を早めた、既に反張學良の輿論も擡頭し濮玉祥氏を東北省の首腦者に迎へんとする議論も一部に唱へられ近き將來に政變は到底免れぬと觀られてゐる

奉露單獨交涉を 斡旋したる黑幕

顧維鈞、イワノフ兩氏

【ハルビン特電二日發】露支抗爭の調停者としてドイツ政府は國際上の立役者であつたが、奉天派が單獨交涉を開始し成立の氣運を作つたのは支那側にては蔡運升氏で其背後の指揮者は顧維鈞氏であつた、ソウエート側はメリニコフ前哈爾賓總領事で裏面にあつて活動した人物はイワノフ氏（支那名王）であつた、イ氏は勞農領事館が引揚げた後も依然としてハルビンにあり去月十九日東北政權の意志を代表して蔡運升氏からハバロフスク市の極東外務人民委員長セマセフスキー氏の許に和平交涉の希望ある旨を通告した時、其重大なる密使として特派されたのが

イワノフ 氏であつた、氏はハルビンからポグラに向ひ廿一日にハバロフスクに到着し直に勞農側の回答を得て廿五日歸哈蔡運升氏邸に自動車で乘り込み人眼を避けてハバロフスク政權の回答を傳へた、蔡氏は其夜直に奉天へ赴いたのである、斯うした黑幕のうちに活動する人々の手によつてリトヴィノフ氏の三ケ條の要求は奉天政權のもとに達し張學良氏から承認の回答を發したものであつた

支那軍司令部 後退

【ハルビン特電一日發】博克圖における去月廿八九兩日の爆彈投下に次いで三十日も興安嶺に現はれ偵察の後去つたので支那軍司令部は一日昂々溪に撤退した、爆彈に見舞はれた博克圖は慘澹たる光景を呈し民家は悉く支那兵のため掠奪され一物を止めず列車は札蘭屯まで運行し電信は博克圖まで通じ滿洲里海拉爾間は不通である

孝宮内親王様が御祖母陛下にお初めての御對面

孝宮和子内親王殿下にはお健やかに御肥立あらせられ去る二十六日宮中三殿を初めて御參拜あらせられ更に二十八日には午後零時五十分宮城出門東御所御祖母皇太后陛下の御殿にも初めて御訪問遊ばされた（寫眞は山岡御養育係に抱かせられ御退出の孝宮殿下）

私鐵、電氣事業の 認可許可を取締

貴院の政界淨化運動

【東京二日發電】貴族院各派間には疑獄事件頻發の醜狀に對し政界の根本的革正如何は豫てから種々論議されつゝあつたが政界腐敗の直接原因とも云ふべき選擧費問題は貴族院の逸早く指摘した處であるが更に疑獄事件の根源とも目せらるゝ鐵道並に電力に關する利權問題を嚴かに取締る機關を設け認可、許可事項の嚴正事行を許さしむべしとの說が最近各派有力者間に擡頭し來り今や政界革正に關し貴族院には具體運動起らん形勢である

海上穩やかに 若槻全權元氣

デッキに出て散步

【サイベリヤ丸二日午前七時發電】出發以來今朝始めて太陽を見る、海上穩かで船は些かの動搖なく若槻全權も漸く航海に馴れ朝早くからデッキに出て散步してゐる

甲板上で快活な談笑

【サイベリヤ丸二日午前九時三十五分發電】昨日は荒天のため船室に閉ぢ籠つてゐた財部夫人も今日は元氣附き夫君財部全權、令弟山本中佐等と甲板の椅子に出て快活な談笑を交はしてゐる船内は朝來晴々しく一行は總て愉快氣に時を移してゐる、船は日本沿岸より三百浬の洋上を北進中で波は全く納まり氣溫は上昇してゐる

荻川放談 (127)

露支衝突（其二）

東支鐵道問題を中心に、露支兩國は國境に兵を構へ、小競合に日を過してあつたが、露國は終に陣を切らして、滿洲里方面に攻勢を採つた、問題の主目たる東支鐵道を支那側が攫んでの喧嘩なるゆえ、持久は支那側に利益あり、さはさせまいとあらば露國はどうしても遣次の攻勢に出ねばならぬ、そうして此攻勢に對して支那の脆きことよ、一敗興安嶺にまで退却とは、敵の露國もその脆きに驚いたかも知れぬ、豫期せざりし此退却は露軍には之に應ずる準備なく、それで其追擊も急ならざるにや

◇

縱しこたびは追擊をなさぬとも、ロシアは支那の手並を知つた、これから爲さんと欲せば、其欲する軍事行動を北滿に試むべし、支那は油斷が出來ぬ、それはさて措き、支那軍の此退却で、東支鐵道沿線は大恐慌である、丌は露軍來に怯えしにあらずして支那敗兵の掠奪を恐るるなりと、出來支那軍隊には、勝てば掠奪、敗くるも掠奪、混亂に乘じては直に掠奪に移る癖がある、それもそのはず、支那の兵卒は遊蕩兒を集めたもので、彼等は市井にあつて無賴漢たり、食ひ詰むれば匪賊、亦轉じて兵卒ともなる、兵と匪とは同じ。

◇

支那の民謠にも、この兵匪の同じきを呪ふがあるほど、民衆は自國の軍隊を恐れ且厭ひ、そうして其軍隊は國防よりも內治よりも、軍閥黨閥の政爭に遣はれ民衆の迷惑は勿論のこと、支那在留外人としてどれほど其軍隊に苦められとるか知れない、近き例を示すが、南京事件がそれである、濟南事件がそれである、支那側の言ひ分では、南京事件をば、蔣介石を傷つけんとする反對黨側の指嗾だと云ふが、これ口實のみ、濟南事件をば、排日の義憤だと云ふが、これ辯疏のみ、支那軍隊の素質からして此口實此辯疏は何の役にも立たぬ。

◇

在體に云ふと、支那軍隊は軍閥黨閥の勢威を飾らんが爲のものに過ぎない、そうしてそれが財寶で向背を左右にす、遣次蔣介石の濮玉祥に勝てるが如き、是なるなからんや、之を外にして支那軍隊は、國内の賊徒討伐にさへ腕を示し得ぬ、素よりそれは相棒なればなり、況んや國防に之を使ふ、そこに何等の期待か出來ようぞ、といつて遣次露國の攻勢が成功したを喜ぶのではない、支那側に無駄な抗爭を止めたらどうかと勸めたいのである、止めても露國は不法を徹せまい、それには正理と云ふがある、正理の後には列國の監視があるじやないか。

汪駐日公使辭職

後任は日本通の張繼氏か

【南京一日發電】駐日公使汪榮寶氏は外交部に對し再度辭任を申し出た同部では氏に留任を勸告したが肯ぜぬため辭職を許可する事となつたが、後任は外交部の消息に依ると日本事情に最も明るい張繼氏を最も適任としてゐる【寫眞は汪氏】

選擧費の使途を 嚴密に調查

來るべき總選擧に

【東京二日發電】政界の腐敗、墮落の原因を爲すものは總選擧當時の不純なる行爲に基くものなるを以て普選法では第百二條に於て選擧費用を制限してゐるにも拘らず昭和三年に施行された最初の普選では嚴密に調査する時は代議士候補者中極少數の者を除き他は殆ど法定費用を超過せるもので選擧費用制限の規定は全く空文に歸した譯であるが愈々來議會が解散され總選擧となつた場合には安達内相は法定選擧費用の使途を嚴密に調査せしめ違反者に對しては斷然當選無効の處置に出で投票買收、利權誘導、饗應等の惡選擧戰術を用ゐる脫法行爲は徹底的に彈壓を加へ選擧の淨化を圖り公明なる政治の實現を期する方針である内務省調查の法定選擧費用概算は最高東京第六區の二萬二千百二十圓、最低東京第四區の七千百三十五圓で全國平均額は一萬千二百四十二圓となつてゐる

製鋼所設置運動

けふ各方面代表會議

大連市會の決議により昭和製鋼所を大連市近接地に設置せんとする促進運動は昨今頓に氣勢を高めてゐるが二日午後三時より社會館に於て石本市長、村井會頭初め全市會議員區長、區長代理、商工會議所常議員等が協議會を開き、運動の趣意書作成、運動方法、常任幹事選任、實行委員選任等を決定することゝなつた

市議の自重待望

今の處警告などは考へぬ 田中民政署長曰く

大連市會の紛糾擴大せんとしてゐる折柄、監督官廳たる民政署では愼重に之が成行を重視してゐるが田中署長の意見を叩けば次の如く語る

兎もかく困つた問題だが當署としては現在助役選任に行惱んでゐるとか、豫算編成難に陷つてゐるとかいふ譯でなく、眞相を聞けば聞く程デリケートなるもので純然たる市政問題とは可なり遠ざかつてゐる内輪の問題らしいから今のところ警告を發するといふやうなことは考へてゐない、各關係者が自重して圓滿に自ら解決することを望んで止まぬ

職制改正は明春

缺員の課長は近く補充する 豫算會議は中旬までに了る

大平滿鐵副總裁談

職制改正は大體前總裁案に基づき其後現總裁の手許に於て一部改正方の審議中であつたが一旦手を付けるとなれば根本的問題について種々攷れなければならぬ點があり之がためには

相當日子 もかゝり而も總裁に於ては他に緊急決定すべき重要件案もあり旁々職制改正は其性質上今日明日を爭ふものでもないので其審議は一先づ打切ることとなつた、更に之を再審議するか何うかは何れ明春總會終了後の問題で今何れとも決定してをらぬ、人事異動は職制改正とは別箇の問題であるが課長級で目下缺員となつてゐるのは東京支社庶務課長、興業部庶務課長、奉天地方事務所長（現所長太田雅雄氏は近く洋行不在になるため）であるが

其補充を せねばならぬ事情にあるので之に關連して多少の異動はある、職制改正問題は自分が東京で松岡君より引繼いだ關係があつたので研究を續けたが總裁としてはさう急いで改正せねばならぬなど思つてゐられなかつた、充分に研究して見れば現職制も前總裁案も最善のものとは思つてないからどうせ改正するとすれば、モ一歩理想的なものにしたいとは總裁も考へられてゐるやうであるそうなれば勿論時日を要することであつて

本月中旬 上京の豫定であるが總裁には引續き研究の餘裕がないので日を改めて更に研究しやうといふことになつた、之は去月三十日午後二時から同五時までの重役會議席上でさう決定した譯である、年度經費豫算審議は二日中に終了直ちに事業費豫算の方へ移る筈だが中旬までには昭和製鋼所問題を終了する豫定である、國際運輸の總會が延期になつたのは同社の内容が他の傍系會社と異つて複雜になつてゐるため斯かる機會に同社の内容を

總裁の耳 に入れたいといふことから書類を總裁にお目にかけたが該書類が總會前夜に自分の手許に屆いた關係で自然に遲れたやうな譯だ、多分一兩日中には開催すると思ふ

廣西反蔣軍 退却說

何應欽氏赴粵

【廣東一日發電】何應欽氏は蔣介石氏代理として重大任務を帶び本日午後極秘裡に來粵した、張發奎軍廣西軍とも中央の廣東軍救援を聞き意氣沮喪し既に退却を開始したと傳へらるゝも眞相は尚不明である

ク翁追悼分列式

【パリ一日發電】先頃逝去したフランス元國務總理クレマンソー氏追悼の爲め歐洲大戰に負傷した元兵士約五萬は戰歿者招魂碑前に分列式を行ひ壯嚴の氣人を打つた、大統領ヅーメルグ氏及び政府大官は凱旋門の方より右行進を參觀した、群衆も靜肅に休戰記念祭の氣分を示した

香港丸船客

【門司特電二日發】四日大連入港豫定のほんこん丸の主なる船客

雲星十吉、宮永梅三、堀謙、片桐九郎、勝本永次郎、瀨田少佐、藤原綾江、井上健三、古山勝夫、小野寺直介、加藤宗吉諸氏

人事

▲高橋勇氏（正隆銀行常務） 上京中の處一日二十時半列車で歸連

大觀小觀

寒雨、一夜にして白雪、これ滿洲ならではない光景。

◇

世界はかく淨化された。日本の政界も、大に淨化を期すといふ。

◇

政界淨化のためには、何よりも制度、組織の改訂が肝要。

◇

佐分利公使の死、いよく自殺と決定したらし。

◇

死ぬにも、時や場所、方法を研究してかゝらぬと、死後まで色々と噂が立つ。

◇

厄介な世の中ではないか。

◇

若槻全權、灘の生一本で太平洋を乘り切らんとす。

◇

軍縮會議の幸先よし。

天氣豫報

三日 北西の風雪後晴れ

日出 六、五四 日沒 四、三二

滿潮 前 一一、一五 後 一一、四五

干潮 前 五、四五 後 五、〇五

各地溫度

	昨日最低	十一時
大連	零下六、二	零下七、七
旅順	同 四、〇	同 —
營口	同 四、九	同 七、五
奉天	同 五、一	同 九、一
長春	同 八、八	同 一一、一

新年文藝・寫眞募集

恒例により昭和五年新春紙上を飾るべき文藝作品及び寫眞を一般讀者から募集します、左記規定により應募を希望します

- 短篇小說 一篇十五字詰百五十行、一名一篇以內、編輯局選
- 和歌、俳句、短詩、川柳 新年雜詠、和歌は一名五首、短詩は三篇、俳句、川柳は五句以內、編輯局選
- 寫眞 一動題、干支に因めるもの、大さキャビネ以上、新聞掲載に適するもの 一名三枚以內、編輯局選
- 賞金 短篇小說一等三十圓、二等二十圓、三等十圓▲和歌、俳句、短詩、川柳一等五圓、二等三圓、三等一圓▲寫眞一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓
- 締切 昭和四年十二月五日限、總て「滿日新年文藝又は新年寫眞」と表記し、本社編輯局宛送附の事、應募作品は如何なる理由あるも返戾せず

滿洲日報社編輯局

雨！霰！吹雪！と變つて けさ遼東半島を襲ふ
大連の電車杜絶し除雪に大童 サラリーメンは交通受難

きのふの雨は午後五時三十七分に霰となり、同八時五十七分に雪と變り、それから引つゞき二日朝まで降りしきつた、爲めに久しぶりに全市は雪に飾られ、北風はその中に交つて冷たく午前十時迄は電車も途絶え、會社各商店へ勤務の人々は遠く老虎灘、星ヶ浦方面から大連のセンターへ／＼と吹雪の中を徒歩で通ふと云ふ有樣である、一方滿電の電鐵課では總員を繰出して電車を動かす爲め人夫を督して懸命の姿であるが、しかし星ヶ浦、老虎灘方面は午前中は絶對電車の運轉出來ず、午前九時半頃漸く車庫を出た電車はぼつ／＼空滑りし乍ら市内だけを辛うじて廻つた、關東廳土木課出張所では道路掃除の人夫六百人を繰出して除雪に忙しい「雪の受難デー」である

入港船の見當もつかず 出船二の足を踏む
揉みにもまれ拔いた沖待船 物凄い大連灣の荒れ

昨夜來荒狂つた吹雪に殊に大連埠頭が物凄く、二日朝來、何々云ふ時化模樣だ、一寸先すら見分け難い眞白な闇、一日午後七時頃より港內の展望は全然不能に陷り信號すら意の通りにならない、檢疫船、滿鐵曳船、水上警邏船、ト蒸汽と云ひ小蒸汽はピツタリ岸壁にくつついて離れない、北風に弄ばれた波濤がしぶきを揚げて

岸壁に 打つつける、そして昨夜から二日朝にかけて、沖待中であつた堤商會のでんまーく丸が午後九時半、同じく大汽の天祐丸が十時半ごろ北風のためにひきづられて危ふく防波堤に打つけるところ漸く自力で長門町に避難し寺兒溝沖にあつた政記公司の成利號はこの難を逃れんとあせつたが沖に脱出できずやむなく防波堤內に逃げ出した、何れも人畜に異狀の無かつたのがせめてもで、入港豫定の奉天丸を初め勝浦丸、南都丸等十數隻も何時入港するか見當がつかない、一方出帆豫定の船もこの

難航を 見越しての出帆にと は二の足を踏み朝からまだ一隻も出入港船がないといふ始末、霧笛信號が絶え間なく港內に鳴り渡り信號所では「今沖に何隻入つてゐるか少しも見當がつきませんよ」

積雪六寸五分 氷點下七度二
あすは天候も恢復しよう 大連觀測所員の話

大連觀測所では今日の雪に就いて昨日黄河流域に七百六十六ミリの低氣壓が東進してゐたが、これが遼東半島へ向ふまへに、蒙古から大陸高氣壓七百七十八ミリが優勢となつてこれを防ぎ、爲めに低氣壓は停滯し雨となり霰となり、雪と變じたもので午前十一時までに大連觀測所に達した雪の情報は遼東半島一圓は七、八メートルの風雪で大連附近の雪の量は二〇、三ミリメートル、積雪は一七センチメートル（六寸五分）なほ滿洲奧地は天氣恢復し曇天、靑島方面は雨で明日は天氣も恢復するであらう尚溫度は午前十時半大連觀測所の發表では長春零下十三度八、大連は零下七度二だつた

御母陛下と聖上御會談
東御所に行幸

【東京二日發電】天皇陛下には午後二時自動車御驛にて靑山東御所に行幸、皇太后陛下に御對面のうへ御久々にて御親子御睦まじき御會談あらせられ午後三時半同御所御出門還幸あらせられた

澄宮御誕辰のけふ御內宴

【東京二日發電】澄宮崇仁親王殿下は本日を以て滿十四歳の御誕辰を迎へさせられたが、緊縮の折柄とて特別の御催し等もなく御平素通り學習院に御通學あらせられ來る八日の日曜日に靑山御殿で御內宴を催させらるゝ筈

列車は延着

降雪のため二日午前七時五十分大連驛發旅順行列車はポイントに故障を生じ同十時十分より運轉し尚奧地より到着すべき列車は何れも二、三時間延着した

雪に閉された大連市內の雜觀

【上】急造の除雪自動車の活動【中】滿鐵本社前から大廣場までつゞいた電車の立往生【下】轉びながら登校の小學生

大連金州間の電話線不通

二日の大吹雪のため午前八時大房身南關嶺間の電話線不通となり漸く午前十一時十分より二番線のみ開通したが一番線は午前中未だ開通に至らない、このため大連金州間は通話不能であつた

海上警邏
水上署が懸命

當地の降雪に海上關係で何時事故が發生するやも知れずと水上署においては滿鐵船渠と連絡をとり海上警邏に懸命で、二日正午までに判明した分は一日午後十時ごろ北大山通り岸で戎克が沈沒したが幸ひ死傷者を見なかつたと尚引續き警戒中

儲けを拾つた タクシーと石炭屋さん
商店は休業も同樣

午前十時頃やつと電車が繰出されたがしかし吹雪の爲め空滑りして矢張り立往生のていである、電車は役に立たず馬車は滑り、俥は進まず、そこで自動車が大繁昌と云ふ有樣、午前八時から十時にかけて、氣の利いた會社員、官吏は殆ど自動車々々と云ふ騷ぎ、思はぬ儲けである、自動車屋さんと石炭屋にとつて今朝の吹雪は大神である、なほ市內の各商店も吹雪の爲め休業も同樣、この吹雪ぢや物を買ひにくる人もなく、又賣りにくる人もないと云ふのだ、通行止めの吹雪は今日一日幅を利かせるわけである

雪に妨げられて衝突事故頻り

一日午後一時ごろ大連奧町三十番地先き十字路に於て大山通り一六實用タクシー運轉手金容九（二〇）の自動車と常陸町一三六大輪タクシー運轉手美成王（二〇）の自動車と鉢合せ更に美の自動車は路傍にあつた手挽車に三重衝突し自動車は双方泥除けを破損し手挽車は約五十圓の損害を受けた

◇

二日午前六時ごろ大連大和町電車停留所北方に於て春日町三大連タクシー運轉手譚壽治（二〇）の自動車と櫻町八〇滿洲牧場牛乳配達立所（二〇）の手挽車と衝突し手挽車を破損した上牛乳瓶三十本を粉碎し約八圓の損害を蒙らしめた

◇

二日午前八時廿分三號列車百廿九號は漸く埠頭まで運轉したのはよかつたが港橋附近で脫線し午前中に復舊の運びに至らないだらう

旅順驛構內では機關車脫線顚覆
交通、電燈にも大支障

一日朝來旅順管內を襲つた暴風雨は午後一時すぎから大吹雪と變り二日朝は五寸の積雪を見て銀世界となつたが、この大吹雪のため交通に大支障を來した、一日午後十時廿五分旅順驛構內にて方向變換の際降雪のため第三ポイントの故障で脫線顚覆した

旅順全市暗がり
發電所故障や電柱倒潰で

二日午前七時卅分旅順發大連行列車は約一時間發車遲延した外、二日發着の各列車は何れも約一時間の遲延となつてゐる、一日午後一時頃旅順淡實町發電所ではスチームパイプ爆發し修理のため約二時間餘に亘り停電した、日曜日の晝間送電なく各家庭及び興行場では何れも不自由を感じた、午後十一時すぎ突風のため旅順刑務所及び土屋重砲兵隊兵舍前方の電柱轉倒し送電線に故障を生じ全市約一時間暗黑となつた

欄干に衝突 自動車顚覆

一日午後八時二十分旅順淺見町驛前タクシー運轉手德島萬九郎は客四名を乘せ新市街より舊市街に向ふ途中日本橋々上にて吹雪のため橋の欄干に衝突し右側に顚覆し窓硝子四枚を破壞したが乘客に被害はなかつた

滿電バス立往生
けさ鹽廠屯で

二日午前九時大連發滿電バスは九時五十分頃鹽廠屯に於て吹雪に閉ぢこめられ午後一時すぎに至るも旅順に到着せず、旅順及大連兩滿電バス事務所より應援自動車數臺を派し救援中であるが午後のバスは運轉中止のやむ無き狀態である

人力車や馬車賃の値下げを愈よ斷行
大連警察署の警告に應じて 組合役員會で決定

不景氣と緊縮の風が巷を吹く昨今且つは小洋も暴落してゐるし大連署ではコウした四圍の大勢に鑑し人力車、馬車賃も値下げを斷行するのが當然ではあるまいかと人力車、馬車組合に對し値下げ方警告を發する處へつたが、同組合に於ても市民の福利向上のため、値下げするのは止むを得ざるものとし、役員會を開き討議の結果、先づ人力車は現行賃金を標準として▲十錢以下現狀維持▲十五錢以下五分▲二十錢以下一割▲二十五錢以下一割五分▲四十錢以下二割▲四十錢以上三割▲一日傭ひ切り二割の値下げ、馬車賃は二人乘り現狀維持、三人及び四人乘りも二人乘りの賃金とし、一日傭切りは現行賃金の一割値下げを各斷行すべく決議し二、三日中に細目賃金表を作製し大連署へ屆出る事になつたと

自動車の衝突

一日午後一時頃奧町のカフエーリリー前の三叉點で實用タクシーの乘用自動車（金容九操縦）と愛輪タクシーの貨物自動車（美成玉操縦）とが側面衝突を爲し兩車とも被害は殆どなかつたが附近にあつた手挽貨物車三臺を破壞し四五十圓程度の損害を與へた

東大天文臺のアインスタイン塔完成
世界にタツタ二つの新施設

【東京二日發電】府下三鷹村の帝大附屬天文臺に據て建造中の素晴らしい天文臺アインスタイン塔がこの程殆ど完成し愈々來春三月頃から天體觀測を行ふ事となつた、此のアインスタイン塔はドイツとこの三鷹村と世界に二つしかない新施設で、高さ十八米突の鐵骨鐵筋コンクリート建、その上部には直徑五百六十粍の反射鏡と四百五十粍のレンズが設備され太陽の動く方向に從つて移動して天體を觀測し或は又このレンズを通じて塔下の地下室に光線を導き天文學的觀測が行はれるもので、來春を期して早乙女臺長を中心に新研究が始められる筈で其の成果は早くも斯學界の注目を惹いてゐる

佐分利公使他殺の疑ひ解く
拳銃は正しく右から擊つた きのふの解剖結果

【東京二日發電】佐分利公使の遺骸は一日午後二時四十分より帝大法醫學教室に於て宮永、田村兩博士立會瀬良學士執刀の下に行はれ綿密周到なる解剖をなして四時半終了したが、解剖の結果は彈は右耳上五、六センチメートルの箇所より殆ど一直線に腦を貫き、左の耳上部稍後頭部より七、八センチメートルの箇所に拔けてゐた、彈に依り腦の

横傷は 右から次第に擴がつてゐる點等貫通銃創の特徴を示してゐるので全く自殺であることを立證するに至つた、なほ二十九日夜宮永博士が檢證の際左後頭部の頭髮が焦げてゐたので左から射入したのではないかとの疑ひを持つに至つたが、頭髮の焦げてゐるのは他の部分にも二、三箇所あり結局理髮屋のワツクスの如きものゝために出來たものであらうとの意見に一致した右につき江口搜査課長は語る

彈が左から射入されたのではないかとの說が今度の自殺他殺兩說を決しかねた

重點で あるから、一日の解剖に依つて明かに右から射入されたことが立證され、今まで自殺說を否定してゐた點は覆へされ全く自殺と決定さるゝに至つたのである

盛り返した國庫獻金
續々大口が殺到

獻金熱も一時冷めた感があつたが去る二十八日以來更に續々と集りつゝあるが、そのうちには千五百九十圓大連醫師會、八百七十八圓二十三錢滿洲旅館會社、三百五十八圓金光教信者十名等々の大口のものあり、これは經濟國難來の考へが遺憾なく各方面に浸潤し、根氣よい消費節約になつた現はれに外ならぬ、因に二日正午までの獻金者左の如し

三圓十五錢滿鐵電氣修繕場有志▲百圓聖德街二ノ七八故藤田右馬彥遺族▲三百圓高岡又一郎▲四圓三十一錢大廣場小學校五年女子組一同▲三十圓八幡町三五木村寛▲四十圓乃木町一ノ三ノ四河內辛三郎▲十圓同河內正夫▲十三圓春日小學校五年松本益太郎▲千五百九十圓大連醫師會辻慶太郎外六十四名▲八百七十八圓二十三錢滿洲旅館會社▲九圓十九錢彌生高女一年櫻組一同▲三百五十八圓金光教信者十名▲十五圓五十錢山城町修養寮員一同▲三圓磐城町有耕市二

星ヶ浦の電話區域

星ヶ浦に至る遞信局所管電話線路は大連富士の後方山麓を縫ふて龍ヶ岡淨水池附近を通過し星ヶ浦水明莊附近に出て居るが、右電線路の沿道には多數の人家があり、人經營の農園、牧場があるに拘らず電話加入區域外として取扱はれて居たので、この不便を除去するため臺山町の在來加入區域界から電線路の兩側各二丁を加入區域內に編入、星ヶ浦加入區域に連絡せしめ星ヶ浦と同樣料金特定地として十二月一日から實施した

飼犬まで轢く

三十日午後二時五十分大連春日町五四大連タクシー運轉手于天家（二〇）の自動車は春日町より若松町に到る可く逢坂町稻荷神社西側老虎灘街道に差し蒐つた時、その直前を橫斷せんとした對馬町五四琵琶修繕業中重太郎の飼犬をバンパーで衝き倒し死に至らしめたが、右犬はドイツ種セパートで今年のセパート倶樂部で三等に入賞し時價二百圓に相當するものであると

兒島幸吉氏

大連製氷會社々長兒島幸吉氏は鄕里鳥取市において宿痾の胃癌のため一日午後一時死去、享年七十二歳、三日午後三時半から常安寺において追悼會を執行すると

輸送費を引上げ正貨流出を防止
解禁後に於ける大藏當局の對策

【東京二日發電】來年一月十一日金解禁實行後に於て金流出原因となるべき事項は
一、金融關係に依る海外投資
一、貿易の入超その他に因る海外支拂
の二つが擧げられるが、右の內一の海外投資は過般來英、米兩國の金利低落傾向となり我國の金利に鞘寄せして來たので利鞘稼ぎを目的とする海外投資は不可能となり殊に我國の

外債公債 の如き變動多き物は斷く銀行、信託會社などが有利に買漁ることは出來ない有樣に在り、從つてこれを原因とする金の海外流出は當分懸念する必要はない、併し二の海外支拂に要する金の流出については時節柄十二月下旬または來年一月上旬からは入超となり、且つ解禁見越しで手控へられて來た棉花その他原料品も

相當巨額 に上つてゐるので如何に內地で消費節約が行はれても來年上半期入超は相當の額に上るものと見られ、ために解禁後の爲替相場は當分四十九ドル八分の七の平價を期待するは不可能で大藏、日銀、財界一般は正貨現送は內外に在るものと觀測してゐるのみならず、金解禁準備のため本年下半期の出超期にて政府が輸出ビルの買上を行つた結果來年上半期の輸入期に備ふべき爲替銀行の海外準備は例年に比し

餘程手薄 となつてゐるものと見られるので、今後の貿易狀況如何に依つては爲替銀行で正貨の現送をなすか、または日銀に在外正貨の拂下を要求するもの相當現はれる模樣で今後の爲替市場に重大關係ある日銀の方針は正貨擁護の見地から船會社、保險會社と協調し正貨現送費を出來るだけ引上げしめ、また在外正貨拂下價格は拂下げ要求者の資金關係等を考慮し辛うじて

正貨現送 を差止む程度に定むる由で、その拂下げ價格は正金の建値に據らず拂下げ要求者の資金信用に據るであらうと見らる

愛知縣當局と郵商船啀み合ふ
大汽への二萬圓補助に絡み 縣は斷然補助主張

【名古屋特電二日發】大連汽船の名古屋港大連間の直通航路に對する愛知縣の補助金二萬圓の繼續問題に就ては郵船、商船側では頻りに特殊會社に對する偏見的な補助だとし尚「若し我々に補助を與ふれば同じく運賃を低減することが出來る、國家が補助して從來我々に開かせて居た定期航路と運賃があるに拘らず大連汽船に補助を與へて運賃を低下させたは不穩當である」と云つて居るが縣當局では
一、今日大連汽船の命令航路を撤回すれば名古屋大連間の航路は郵、商船に獨占される憂あり
一、縣と滿鐵との默契である名古屋岸壁を滿鐵によつて築かせしむるために滿鐵の傍系會社である大連汽船と名港との緣を切ることは出來ぬ
一、若し大汽の大連名港間の直通航路が無き時は滿洲より輸入する大豆、豆粕飼料は輸入船が先づ入港し易き豐、四日市に入港して然る後に名港に入る關係上これらの輸入業者は商機を逸する惧れがある
一、滿洲に於ける商賣の實權は輸入組合が握つて居るがこの輸入組合は滿鐵の後援にて成立して居る以上滿洲に於ける愛知縣商品の殺活權は滿鐵の手にある、從つて一度これを敵とせば縣商品は完全に滿洲より驅逐される
一、現在縣の補助金を受くるが故に大汽を始め各社は競つて運賃割引、割戻を縣下輸出業者になしてゐるが一度此の補助を打切れば大汽は滿洲の荷受主に運賃の割戻をなし荷受主に大汽船に積込を指定させることとなり結局縣下の輸出業者の手に入つた割戻金は彼地の商人に奪はれ運賃の高騰便船の不利と併せて出荷主は甚しく不利益となる
との理由により大汽に對する二萬圓の縣費補助は斷じて撤廢せず寧ろ二萬圓は少量に過ぎるとの意向を以て居る

對滿砂糖取引皆無
糖業者苦境

【京城特電二日發】滿洲向輸出砂糖は每年特產出廻り前後に大口取引を見る例であるが、本年は極度に不況で最近までの大連沖白糖ゼー印七圓八十錢見當の相場も取引皆無の現狀である、之が原因は銀相場の漸落歩調の前途が更に深刻を氣構へられてゐるためであるが滿洲方面からの注文杜絶により各製糖會社は粗糖原糖による製品多量の在庫に非常に苦境に立つてゐるものゝ如くである

對歐市況は慘落 近海は軟弱保合
十一月中の海運界

大連港を中心とする十一月中の海運界の市況を概觀すれば左の通りである

近海市況 依然とし船腹過剩の影響を受け氣配軟弱なるを免れなかつたが、月半以後新穀の出廻り增加を眺めて幾分の季節的市況を現出し內地各港共に運賃一錢方の騰貴を示し、阪神豆粕八錢、橫濱九錢にて多少の成約を見たが氣配は大體弱保合を辿つてゐる

對米市況 雜穀の引合平調只先物に對する豆油の商談相當にあつたが內地魚油の引合旺盛なるに押され好適タンクの供給不充分なりしため成約數量は二千噸內外に過ぎなかつた

對歐市況 月初は尙運賃先高氣配可成り濃厚であつたが先月以來ロンドン市場に於ける滿洲大豆の先物滿船積契約連續的に締結せられ、尙大型船腹の保給潤澤なると既約數量略々大陸需要を充滿したるため氣配漸次軟弱に陷り、月半に於て運賃率は未曾有の崩落を示し期近物二十志前後と云ふ臨時滿船物採算點以下の運賃率を現出した、その結果ロンドン市場大型船腹の引合一時影を潛め月末はこれがため運賃市況幾分緩和ぜられ近物二十二志、先物廿五、六志にて越月した

州內の硬化油
製產頓に活況

關東州內に於ける大豆硬化油は過去數年來順調な業績を辿り、總製造高の大半は日本內地に仕向けられてゐるが昨年特惠關稅が實施されて一躍二百萬斤を突破するの盛況を來たし、即ち過去五年間の製造高及び內地仕向高を示せば左の如し(單位斤)

	製造高	內地仕向
大正十三年	一,四四七,七〇四	八六一,一〇三
十四年	一,一六〇,五三三	八四五,一四〇
十五年	一,一四〇,五八〇	一,一三八,六〇四
昭和二年	一,七六二,八九九	一,五九三,五三八
三年	二,九六八,七三五	二,三六九,六〇九

而して本年製產豫想高は昨年と大差なき見込みで二百四十萬斤を下るまいと見られてゐる

經濟往來

早く坊主になれ 財界不況の產物…家賃値下げ、敷金撤廢、或は自轉車稅撤廢等々の運動は日を追ふて全國的に熾烈の度を加へつゝあるがこれは又佐賀縣に毛色の變つた運動が起つた、と云ふのは佐賀市內の七十五名の理髮業者が營業稅三割減を叫んで知事、縣會議長に陳情書を提出、この運動は縣下八百餘名に波及せんとして居る今の內にクリクリ坊主に剃つとかねば床屋さんが罷業でも起したらそれこそ大變だらうと。

◇**出來たら二番目** 目下五十萬圓の株式會社組織で下關、門司間に自動車航送船會社を計畫中であるが現在貨物列車をそつくりそのまゝ船に積んで航海する貨車航送船の如く貨物自動車を始め一般乘客を乘せた自動車そのまゝを船に積んで關門を渡らんとするもので明春早々開業の豫定である、現在自動車航送船はニューヨークにある許りで、これが實現の曉は世界第二番目になると大いに力んで居る

く有り餘る金を金庫に遊ばして置くやうではいかぬ、金は死物で之を有意義に活用せねば金の尊さはない。この謎のやうな言葉はやがて具體的に示す時も來るであらう

金解禁もいよ〳〵明春早々**斷行さ**れるに決し、內地財界は異狀な緊張を示してゐるが準備時代は既に過ぎ解禁後を如何に善處するかゞ當面の問題だ、これには先づ解禁後正貨流出に就いて考ふべきで、貿易の近狀から推察し通常の國際貸借決濟の爲めに正貨の流出をさまで多額に上らせるやうなことはあるまいと思ふ、また資金移動の關係は今日まで爲替思惑資金の流入せる額は比較的少額に止まつてをり、同時に英米金利の低下に伴ひ內地資金を海外に移す如き危險も除かれた譯だ、從つて正貨流出による內地金利の昂騰も案ずるほどの事もないと信ずる、而して解禁により我經濟はその常道に復し經濟上の法則に從ひ自然物價及び通貨の調節が行はれるであらうが、解禁後若し我國財政が再び不當の膨脹を來し消費節約が行はれぬが如きことあらば國際貸借の均衡を失して輸入超過の增加正貨の

流出等 の事態を招來し、財界の萎縮をより深刻ならしめることゝなるから國民の消費節約は之からが本腰で、今までのは、金の解禁準備に外ならなかつたのである、內地銀行は資金の偏在に苦んでゐるが企業に對する正當な金融は更に顧みられてゐない換言すれば金融と企業――この兩者の步調が少しもとれてゐない、故に今後は實質の上に今一段の改善が必要であることを痛感した次第である

正隆の前途は頗る樂觀出來る
內地は金融と企業が不調和 高橋正隆常務歸連談

安田保善社と業務打合せのため上京中であつた正隆銀行常務高橋勇氏は一日午後八時半着列車で歸連したが財界當面の問題其他に就き左の如く語つた

◇**正隆の** 業務發展に就き種々畫策する處あり今回も保善社を始め各方面と打合せて來たが未だ具體的發表までには至らない、要は途上にある正隆といへど將來必ず何事かを成す考へで前途は頗る樂觀してゐるが、何しろ現在の如

經濟雜叢
上海に於ける在銀高の增加
幣制改革を見越し思惑買進みが增加の原因

(二)

卽ち茲六ヶ年の內一九二四年度を除けば每年五、六千萬兩宛銀が支那に輸入されて居るが昨年は略其倍額に達し一億六百萬海關兩であつた之をオンスに換算して見ると一億二千八百萬オンスに當り實に世界中の平均年產額の五割九分を支那が買入れたと云ふ結果になる、而して今年の輸入數量は未だ公表されたものはないが當行の調査に據ると一月以降九月迄に既に八千九百萬オンスに上つて居り昨年度に匹敵し得るやうな數字である、斯くの如く在銀高と銀輸入額とを照合して見ると過去數年間に亘る在銀漸增の狀況が良く反映されて居り殊に昨年から今年にかけての著るしい在銀高增加が銀塊輸入の影響にあつたことが首肯される。

◇上海の在銀高と云ふのは上海に於ける內外各銀行の手許にある現銀在高を合計したものであるから其內には預金準備もあれば發行紙幣に對する正貨準備もあり又思惑的に保有せらるゝものも含まれて居る、故に印度に於けるが如く銀のストックとは多少意味が違つて居ることは注意を要する、に於て中央、中國兩銀行が示した各自の正貨準備高を示すと(單位千弗、中央銀行は一九二九年九月廿日現在、中國銀行は一九二九年九月廿六日現在)

銀行名	紙幣發行高	[illegible]
中央銀行	三三,一三五	[illegible]
中國銀行	一一〇,九六八	[illegible]
總計	一四三,〇四三	[illegible]

卽ち兩行だけでも正貨準備[illegible]萬弗に上り其他交通銀行[illegible]をも之に加ふれば優に七[illegible]上るであらう、之等は理[illegible]へば別口勘定にすべきもの[illegible]が實際は上海在銀高の內[illegible]て居ることを考慮に入れ[illegible]要がある、つまり紙幣の發[illegible]殖えればそれ丈け在銀高[illegible]ることになる。◇

備問題は在銀高增加の原因であるが之に關して十月二日のファイナンス・アンド・コンマース(上海の支那金融雜誌)は論說に於て次の如く云ふて居る。

支那政情の不安、土匪及び不良兵士の掠奪を恐れる爲めに奧地の商民は手持現銀を努めて上海に蓄積して居る事實が認められる、又昨年中支那の平定と共に實業家は幣制改革の實現を信じた、而して之が確立後は銀貨の所要額激增すべく自然銀塊相場の昂騰を見る可しとなし投機業者は之に追隨して一齊に強氣見越で思惑買入れに精進して來た、然るに豫期に反して政界は再び不安狀態を呈し廣東造幣廠は一時弗銀鑄造を中止することゝなり幣制統一も簡單急速に出來さうもないので銀はダブ付て居る此等の原因が上海市場に於ける在銀高激增を示したのである

右は全く當時に於ける支那財界の眞相を穿つたものと思はれる、卽ち首都南遷の結果北支の市場荒れ天津方面から却つて現銀が上海市場に回歸した金額は少くなかつたやうだ、又戰時破壞の時代から平和建設の時代へと一步を進めた民國政府は中國經濟根幹を培ふ金融制度の改革に手を染め中央銀行の設立、次でアメリカからケンメラー氏を顧問に聘して幣制確立の具體化を計り先づ上海造幣廠の開設案をたて廢兩改元を宣傳したので商民は今にも之が實現を見られるものと信じた、卽ち其時には鑄造用の銀は必ず多額を要すべく中には支那の人口を基礎に四十億弗と計算する如き極端なる者もあつた、故に比較的安値にある銀塊を今の內に買入れて置けば屹度儲かるだらうと云ふ人氣作用に刺戟されて大なり小なり銀の手持をしたと云ふ事は否み難き事實であつたらう(正金銀行調査)

ハルビン地方に於ける最近の林檎の需給狀況
目醒しい朝鮮產品の進出 (下)

◇…次に哈市に輸移入さるゝ林檎の產地並に其の消長に就いて見るに

イ、哈市に輸移入さるゝ林檎產地 哈爾賓に輸移入さるゝ林檎は(一)內地產(北海道及青森地方產)(二)南滿產(關東州及南滿熊岳城產)(三)支那產(山海關方面產)(四)朝鮮產(鎭南浦、黃州方面產)とす

ロ、哈市輸移入林檎の消長 上記四地方產品の輸移入趨勢を見るに明治四十一二年頃迄は內地產が獨占狀態を示したるも明治四十三、四年頃より急速の發展を示したる朝鮮產林檎が大正三年頃より漸次市場を蠶食し遂に今日の盛況を示すに至り、更に南滿產品も市場に現はれ市場は滿鮮產品によつて左右さるゝの狀況である、今各地產林檎の輸移入數量を示せば次の如し(一箱正味四貫匁入單位百箱)

	十年	十五年	二年	三年
朝鮮產	一〇五	五一〇	八六六	七四三
南滿產	五	一〇	二〇	四〇
內地產	一五	八〇	一五	一五
支那產	一一〇	一一〇	一三〇	一二〇
合計	二三五	七二五	八〇一	九〇七

◇…次に需要割合、及市價を示せば左の如し

需要割合	支那人	日露人其他	計
朝鮮南滿及內地產	五〇%	五〇%	一〇〇%
支那產	五五%	四五%	一〇〇%

錢信良績
手數料廿萬圓

大連取引所錢鈔信託會社今期の出來高は九億七千五百七十九萬五千圓この手數料收入二十萬九百四十四圓にして、これを前期の出來高四億四千七百四十萬五千圓に比すれば五億二千八百三十八萬圓の增加で二倍強に當り、開設以來の記錄を示して頗る活況を呈した、勿論前期は幾分寂寞の感ありしとは言へ金解禁といふ唯一の目標を控へての市場は今期當初以來每月一億圓以上の出來高を示し殊に九月の如き二億三百萬圓の出來高である、今、今期における出來高及手數料を月別に示せば左の通りである(單位圓)

	出來高	手數料
六月	一二五,七一〇,〇〇〇	二六,九七五
七月	一三二,七五五,〇〇〇	三四,五三一,〇
八月	一四一,一〇五,〇〇〇	二六,八三一,〇
九月	二〇三,〇〇〇,〇〇〇	四〇,六六〇,〇
十月	一六一,二四〇,〇〇〇	三三,一八八,〇
十一月	一八八,九〇五,〇〇〇	三三,七八一,〇
合計	九七五,七九五,〇〇〇	二〇〇,九四四,五

黃塵

◇…臘月朔日朝來の雨は夜に至りて雪となり、一夜にして煤煙の都を白銀の世界と化す。

◇…雪の美觀もさることながら除雪費に萬金を費す都會の雪はあまり有難くもなし。

◇…二日朝積雪は東洋一を誇る大連市街の道路を埋め電車は運行停止馬車小車又動く自動車のみ吾世界顏に活躍す。

◇…ラッシュアワーに電車の不通と來ては學童や勤め人は堪つたものでない。

◇…高い電燈料で儲けてゐるのだから電氣會社もラッセル式の除雪車位は用意して欲しいものである。

市況

特產
材料薄で一般平調

依然差したる新材料もなくに平調大引であつた

◇定期前場 ◇現物前場

[illegible]

錢鈔
材料區々で鈔票保合

今朝の海外材料としての[illegible]

◇定期取引 ◇現物取引

[illegible]

商品
前場

[illegible]

株式
內地株小締に五品脫り

[illegible]

市場電報

銀塊及爲替 / 棉花 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪期米 / 東京期米 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 神戶豆粕 / 橫濱生糸 / 印度麻袋

[illegible]

奧地市況

[illegible]

錢鈔 / 手形交換高 / 鮮銀券發行高

[illegible]

上海爲替情報

【上海二日發電】住友銀行調 爲替を外國銀行は外貨を買ふ、英米煙草のデマンド、七萬磅あり金志豐永物品筋買ふ爲替高値外支銀行買氣に伸び惱み氣迷の三井銀行は十二月限鈔金現物二千八百餘、本日中に受ける筈で買方の大手永昌潤は破產、自殺せしも受渡しには影響なし

上海標金 / 爲替相場(正午)

[illegible]

獨逸の銑鐵と鋼鐵生產高
十月中

十月中に於けるドイツ銑鐵及鋼鐵の生產高は左の通りである(單位千米噸)

銑鐵	一、一五七	一、一八〇
鋼鐵	一、三七七	一、三七二六

奉取の受渡

奉天取引所二十八日限受渡高は奉票十八萬圓、大洋二十萬六千圓にて受渡標準値段は奉票五十四百八十八圓五十錢、大洋百二十一圓六十錢、受渡代金は奉票一千二百九十三萬五千七百圓、大洋二十五萬四百九十六圓である

平安異香 (187)

葉多默太郎作　中一彌畫

戀の行方（一四）

「つまり氣のものです。やれると思やあやれる、危ないと思ふと危ないてことになります。都大路を歩いたつて、お互人間は一尺巾しか要らな。それが一尺巾の板橋だと一寸渡りきれない。同じ理窟でさあね。だから邦さん、お前さんもそのつもり、いゝですね、あたしに體を任せきつて、安心してゐりや怪我はない。いゝかね」

藤丸はさう云つて、邦貞ばかりでなく、皆の顔をずらりと見廻した。そして、トンと草履を脱ぐと、ひらりと松の幹に飛付いて、平地を走るやうに駈登り、例の川へ伸びた枝を、たわゝにしながら巧に渡つて、渡りながら様々の態をして人を笑はせた。

「さあ、これでいゝ。下踏は濟んだ。邦さん來た〳〵」

木に登つてどういふことするのか邦貞は知らない。だが默つて幹を攀ぢ登つた。

木は堤から斜に川へ伸びてゐるので一足毎に底が遠くなる。川底の亂杭に挾まれた者か妙に眼について仕かたがない。

枝の所まで來ると、

「そら、手を出しな」

藤丸が手を伸ばして待つてゐた手につかまつて立上ると、

「下を見るのは禁物ですぜ。上ばかりを見て、上ばかりを見て」

云ひながら邦貞の後帶に手をかけた藤丸、

「いゝかね、お前さんの身體が浮くが驚いちやいけないよ、片足をあたしの下腹にあて、身體を反らせて、兩手を左右に擴げるんだ」

云つて、ぐつと力が入つたと思ふと、ふうつと邦貞の身體が浮いた。

「あつ」

と邦貞は自然と片足で背後の藤丸の下腹を踏ん張るやうになる。成るほど、これは確に一つの衝には相違ない。邦貞よりも纖弱なくらゐの藤丸が、片腕で樂々と邦貞と釣りあふてゐる。

が邦貞は蒼白になつてゐた。蒼い顔を人々に見せたくない、體の震へを藤丸に知られたくないとは思ひながら、どうする事も出來ないのだつた。

「大丈夫か」

と下から陣十郎が叫んだ。

「へゝゝ、まあ、そつから見てゐて頂きませう」

藤丸はさう云つて、少時呼吸をはかつてゐて、さて

「エイ」

と鯨聲のやうな叫びを擧げると同時に、頭上の枝を掴んでゐた片手を放し、完全にたわしの枝に立つたのだつた。

そして、また少時眞心を計つてゐたが、

「エイ」

同様な鯨聲を叫んで、同時につゝつゝと枝を渡りだした。

枝はみし〳〵と不氣味な音をたてゝ搖れたが、その動搖に呼吸をあはせて足を運ぶ藤丸は、恰度波に乘じて進む舟のやうに見えるのだつた。

が、枝は搖れながらも、一歩毎に下に垂れて喘ぐやうな音を立て始めた。

「もういゝだらう。引返せ」

慘忍な陣十郎がさういつたくらゐだから、見物の誰一人息をはづませ、手に汗を握つてゐないものはない。手をたゝいて喜んでゐた少女千枝さへが、もう笑はなくなつて不安な眼を見張つてゐる。

が、藤丸ばかりは緊張した顔に硬張つた笑ひを見せてゐる。枝の先の方へ懸命の眼をつけたまゝ、

「これからだよ、親方さん」

云つてニヤリと笑つた。そしてなほ細い枝を、綱を渡るやうに足指に挾んでつゝ、つゝ――だが三歩を待たなかつた。

突然見物が激しい驚愕の叫びを擧げ、幸が顔に手を押當てゝ瀕れ、陣十郎と博士の才蔵が同時に駈け出してゐた。

枝は、又の所から捥がれて、葉先が川底についてゐる。

上の枝にぶら下がつて、蜘蛛のやうに搖れてゐるのは藤丸である。邦貞は、射落された鵜のやうに亂杭にかゝつて頭を水の中に突込んでゐる。

映畫と演藝

梅村蓉子は 愈よ近く歸洛

目下來連中の日活女優梅村蓉子は去る廿八日以來新映畫館大日活に於て舞臺挨拶及び舞踊「都鳥」を以てファンの人氣を集めてゐるが正月第二週封切の「幡隨院長兵衛」の撮影開始のため愈々歸洛する事となり目下撮影所に問合せ中で未だ未定であるが、三日朝又は四日朝大連驛發奉天經由で陸路歸洛するが、出發前夜まで大日活に出演する筈で奉天にては奉天館に於て舞臺挨拶をなす豫定で何れにせよ大日活出演は今明日中である

常磐津溫習會 七日遊樂館で

大連常磐津操會及び辰巳會主催にて來る七日夜遊樂館に於て操太夫門下の人々が出演して常磐津溫習會を催すが操師匠を始め過般歌舞伎座に出演した人々も顔を揃へ入場無料で來聽を歡迎すると

噂話

浪速館の明渡しが去る三十日に景氏と三隅氏との間に無事濟んだが▲さて實際問題として一體どうなるのか餘りに流言蜚語が多過ぎるやうである▲連鎖商店も美川ソールマネージヤアの來連でいよ〳〵近く常盤座の方針その他も決定する筈である▲大連醫院の各醫長がトチモ日活ファンで梅村蓉子を招待して一夕瀧の家で歡迎會を催したとのこと▲この次に大河内が來連すれば是非自分の家に泊めたいといふ熱心なファンもあるさうだ▲大日活は修羅城の次に「宮本武藏」と組んでパ社の「非常線」を上映すると

映畫案内

廿七日より 連續的大入のため料金時に普通
河津清三郎主演 筑波嵐 南、光明特別共演

ユナイテッドアーチスツ社映畫
名優ジョン・バリモア氏主演 名花カミラ・ホルン孃助演
テムペスト
革命のロシヤと激越な戀を描きし バリモア氏暫くぶりの現代劇 名花ホルン孃を得て錦上更に花を添ふ

帝キネ現代劇 愛の目醒 森間、歌川の顔合せ

演藝館

二十八日より 名花 梅村蓉子孃の御挨拶と舞踊
問題の映畫 日活オールスターキャスト =蒼白き薔薇=
大河內傳次郎二役主演の =血煙荒神山=
劇界の映畫殿堂と 無敵の陣容！…… 絕讃の大日活開館記念興行

大日活

連續的大入御禮興行 二、三、四、五日 短期公開
懐しい阪東妻三郎の劍の舞
大阪・東京朝日新聞連載小說 原作 土師清二
砂繪呪縛大會
前十後全三十一巻の中二十巻上映
堂々たる助演者のメンバー
志賀靖郎・中村吉松・中村琴之助・春路謙作
草間實・金井蕃之助・中村政太郎・安田善一郎
森靜子・泉春子・木村正子・巴鰈子
朝日讀者優待の爲に朝日舍新聞舖發行割引券を御利用下さい

帝國館

廿九日より公開
東亞キネマ提供 文藝 谷崎潤一郎原作 お艶殺し 森英治郎、出雲美樹子主演
河合映畫 黑髮悲話 柳澤俊夫主演

三十錢券

入尋不二原作 正宗新九郎の三尺物 長脇差と骰子一つで渡り歩く股旅草鞋跣宿の新八が物語… 旅人渡世
次週公開 美劍士 雲井龍之介主演 笹の權三

國際館

満洲日報

露支交渉原則取極めの公文書に調印を終る

兩國代表二日ハバロフスクで
正式會議は奉天で開催

【ハルビン特電二日發】露支交渉原則取り決めの公文書携行した支那側代表蔡運升氏は二日ハバロフスクに到着し露西亞側との間に調印を終つた正式會議は奉天で開催し遲くとも旬日内に終る意向である露西亞側代表は大連經由奉天に向ふ筈

共同宣言に國民政府同意

【南京二日發電】東支鐵道問題解決の露支共同宣言を發するとの露國の提議を國民政府も同意するに決定、三日の國務會議で正式決定の上對露回答を發送するに決した

東鐵前管理局長の復任考慮を要求

支那側が責任者更任を條件に
勞農側未だ回答せず

【奉天特電二日發】支那側に於てはいよ〳〵露支交渉を開始することになり蔡代表は一日午後零時半ハバロフスクへ向つたが奉天側の意嚮としては東鐵の責任者として呂督辦及び張行政長官を免職するからロシア側はエスモンド、エムシヤノフ兩氏の正副局長の任命に對して一應考慮して貰ひたいと提議したが右に對してロシア側は未だ何等の返答もして來ない尚張學良氏は呂督辦の後任として莫德惠、劉尚淸兩氏の何れかを任命せんとしてゐる

勞農政府今後も南京側とは絶縁

東北の領事館は復活

【ハルビン二日發電】ロシアは露支紛爭につき南京政府と絶縁した事が暴露した即ちモスクワ政府は獨佛三國調停に依り紛爭を解決すべしとの南京政府の提案を眞向から蹴つけた、從つて奉天側との單獨交渉で東鐵問題解決と共にロシアは地理的經濟的に奉露關係の重要性に鑑み單獨に東北四省各地のロシア領事館を復活せしむるに留め南京政府を承認し外交關係を復舊する擧には出でまいと見られてゐる、他方外交問題折衝の途中實質的に相手國から且離され婉曲に絶縁狀を叩き付けられるのは南京政府樹立以來今回を以て嚆矢とするだらうと言はれてゐる

多少讓歩するも解決するが得策

南京政府に諒解を求む

【奉天特電二日發】勞農側の積極的武力行動により急に態度軟化した奉天軍の行動に對して張學良氏は一日中央政府に對して現在の狀態では支那側は或る程度迄ロシア側に讓歩し速かに解決するを得策とすべしと打電したと

王正廷氏が辭表を提出

對露外交の責任から

【南京二日發至急報】外交部長王正廷氏は對露外交の責を負ひ午後三時辭表を提出した、明日の國務會議は之れを評議すべく聽許さるればアジア局長周龍光氏も辭職するであらうと

奉天南京の軋轢

深刻化か

【ハルビン二日發電】ロシアが東鐵問題は奉天政府との間に解決することゝなつたとし、南京政府の提議を拒絶したことは一面南京政府の面目丸潰れとなり他面支那外交權の不統一現實暴露とされて居るが、對露交渉については奉天派内部でも硬軟兩派にわかれて居り且つ奉天派の態度を不滿とする南京政府は反張學良の輿論を喚起すべく、斯くて兩者の軋轢は露支交渉を轉期として愈々深刻化するものと觀られて居る、尚張學良氏は内的關係から空前の苦境に陷るだらうと言はれて居る

交渉經過報告

【東京二日發電】駐日勞農大使トロヤノフスキー、支那公使汪榮寶

馮玉祥氏に武器供給

露國から

【ハルビン二日發電】某方面よりの消息によれば、ロシアは外蒙古官憲を使嗾し在蒙支那人に非常なる壓迫を加へて居るが、他方ロシアは蒙古經由馮玉祥氏に莫大な武器を供給して居ると

余は外交官でない

張繼氏語る

【北平二日發電】駐日公使後任に擬せられてゐる張繼氏は語る
余は外交官に非ず左様な事は有り得ない、萬一政府より申出でありても拒絶の外はない、余は自由の立場にて日支國交の爲め盡し度し

井上藏相歸京

【東京二日發電】井上藏相は關西山陰地方の旅行を終へ二日午前七時二十分東京驛着歸京した

議長選擧の直後に議會解散を斷行か

貴院方面の觀測一致

【東京二日發電】貴族院の殆ど一致した觀測に依れば來議會解散の時機は政府としても疑獄事件のため益々解散を斷行して人氣を轉換する必要があり且つ徒らに時日を經過するに於ては疑獄が發展するに從つて政府、與黨方面に蔓延せぬとも限らず解散期を來春休會明けまで持越して不測の禍ひを招かぬとも限らぬので年内議長選擧直後に之を斷行するであらうと見られて居る

施政演説後か

政友會の觀測

【東京二日發電】政友會は來議會解散期につき民政黨が田中首相の質問を許さず奏請した解散につき横暴を叫んだ手前、來春休會明け施政演説後質問を許した後となららうと觀て居る

肥料政策案

來議會に提出

【東京二日發電】農村振興策の一として肥料政策確立のため町田農相は過般來肥料價格安定と配給改善を圖るべく農務局に調査立案せしめてゐるが明年度は取敢ず農村振興資金百二十萬圓中約五十萬圓を肥料政策に振り向け購買組合聯合會農會の肥料取扱費、倉庫建設費の補助を開始することゝなり既に豫算關係に就いて大藏省の諒解をも得て追加豫算として議會に提出さるゝ事となつて居る

豫算内示會廢止

政務官會議で決議

【東京二日發電】二日の定例政務官會議は午後一時半より首相官邸に開會、豫算内示會存廢問題につき協議を行つた結果左の如き廢止決議を行ひ永井、小川兩次官をして閣議に提出方運動を行ふことゝなつた

政友會幹部會

【東京二日發電】政友會定例幹部會は二日午後十時より本部に開かれたが、協議の結果政府は年内に解散を斷行せんとする模樣があるので、對選擧具體的準備のため黨所屬主要議員は今週末から一切東京を離れざる事、選擧準備、倒閣運動の具體的方法等總て幹事長に一任に決定した

植民地公債

半減て進む

【東京二日發電】特別會計豫算は目下印刷中であるが明三日から大藏省議を開き省案を決定する筈であるが井上藏相は公債半減方針につき鐵道、植民地共公債半減は既定方針の儘で進むと斷言した

濱口首相歸京

【東京二日發電】濱口首相は午前九時二分鎌倉驛發十時五分新橋驛着列車で歸京首相官邸に入つた

田中新文相

親任報告參拜

【東京二日發電】田中新文相は親任報告のため三日夜東京發伊勢神宮參拜後京都に出で桃山御陵に參拜したる後奈良大阪の各專門學校を視察し來る九日歸京する筈

百餘名の暴漢民國日報を襲ふ

共産黨員の所爲か

【上海特電二日發】二日午後四時半百餘名の棍棒その他を携へた群集は當地山東路にある國民黨機關紙民國日報社を襲撃し、賊徒を擧げて門を侵し更に建物内に闖入せんとして硝子等を叩き壞し巡捕隊の急行により群集は逃走したが、襲撃に際し群集は蔣介石の御用紙、市民の敵、民國日報を倒せと叫んだが、共産黨員の行爲ではないかと觀られてゐる

田中代議士逝く

【東京二日發電】埼玉縣第一區選出民政黨代議士田中千代松氏は呼吸器病にて二日逝去した、享年四十九歳

廢止の理由

【東京二日發電】豫算内示會廢止は二日政務官會議で別項の如く決議し三日閣議の承認を求める事となつたが、最初同問題については濱口首相は各政黨が眞面目に政府の意見を以て居たが、與黨及び政府部内にも過般の實行豫算内示會の例に見て單に反對黨の宣傳に利せられるのみとなる恐れあり、官僚政治の遺物を何時までも存續する必要なしとの意がたかまつて來たので、最近では濱口首相も之に傾いて來たから三日の閣議は或は廢止斷行に決するかも知れぬ模様である

豫算は其本來の性質上公示すべきもので内示すべきものに非ずなつた内示の慣習は曾て官僚内閣が政黨の懷柔手段として之を爲したるに始まり其動機は不純である政黨政治が確立せる現在之を存する必要なく却つて弊害を生ずる故に現内閣は本年限り之を廢止すべし尚は豫算綱要は國民に公知させる爲め二十日頃貴衆兩院議員各新聞通信に配布すべし

社會教育を中學教員が援助

【東京二日發電】文部省は社會教育の徹底振興を期するため從來主として小學校長訓導の手で行はれてゐた青年團處女會教育に中等學校教員の協力を俟つ事となり豫て一部中等學校長と協議を重ねてゐたが愈々成案を得て近く訓令を發する事となつた

若槻全權は元氣を回復

そろ〳〵奥の手を出しかけ
喫煙室に歡聲湧く

【サイベリア丸二日午前十一時十分發無電】若槻全權は今朝來すつかり元氣恢復し晝近くに喫煙室に入り一行と共にカクテールを二、三杯ひつかけそろ〳〵奥の手を出しかけ、一行は總て左利き豪の者揃ひ御大若槻全權が奥の手を出しかけたので俄に景氣つき、喫煙室はカクテールの元氣で歡聲沸くばかりである

天氣晴朗

千島沖通過

【サイベリア丸二日發電】終日天氣晴朗波靜か中食後ト甲板で若槻全權は山川隨員と組み、財部全權豐田大佐組とデッキビリヤードに興じ三三對三〇で若槻山川組が勝つた、若槻全權の突き方は狙いが良いが財部全權は強過ぎて「海軍は七割主張は飽く迄强いな」とひやかされる、軈て財部夫人迄が飛び込んで夫君を應援した後和氣靄々裡に晩餐が開かれ、一同料理部心盡しの鰻丼に舌鼓打つ時船は千島沖を通過して居る

全權出發後の留守軍陣容

【東京二日發電】若槻、財部兩全權並に隨員一行出發後の軍縮會議留守戰陣容は海軍側山梨次官、末次軍令部次長、堀軍務局長、加藤

國境に在る窮乏の鮮人を救ふ計畫

滿鐵空地を貸與して

【安東特電一日發】過般來安東警察署及び對岸當該官憲に於ては相協力し國境に蟠踞してゐる密輸業者に對し徹底的取締をなしつゝあるので、其後の密輸は皆無といはれてゐるが、從來此種密輸の媒介をして衣食してゐた某方面の鮮人は極度の苦境に陷りつゝある現況であるに鑑み、一時中止の狀態にあつた當地六道溝方面滿鐵空地を利用して鮮人の手で耕作せしめ現在の急場を救はんとする議が再び擡頭して來た、右の問題につき慎重なる研究を續けてゐる安東領事館林囑託は當地朝鮮人會と協力今春來六道溝に野菜試作場を設置耕作方法の研究をなしつゝあるが成績は極めて良好であるを以て近く滿鐵當局とも折衝を重ね朝鮮人會その他とも協議を遂げ是非とも明春より彼等細民の窮境を救ひたいと同氏は語つてゐる

外國人船員會館いよ〳〵生る

二日盛大な開館式

外國船員の慰安の方法を講じ併せて大連港の繁榮を期すべく滿鐵の援助の下に設立された外國人船員會館の開館式は、既報の如く二日午後六時より瀟洒たる新會館に於て行はれた、此の日大連海務協會では英、米、獨各國領事外在連海事關係者二百餘名を諸般の準備を終へたホールに招待し、先づ會長市川數造氏之が設立の經過と今後の經營に關して一場の挨拶を述べ之に對して單獨各領事は交々謝辭を呈し山口副會長の提議にて乾杯各自のテーブルスピーチあり、晩餐後活動寫眞に打興じ同九時盛會裡に散會した

參宮電鐵の疑獄

檢事局の手に移る

【東京二日發電】參宮急行電鐵の疑獄事件捜査の爲大阪へ出張同社々長金森又一郎氏、高石總理課長を首め多數の關係者を取調べ二日歸京した警視廳警部以下二刑事は阿部刑事部長立山捜査課長に關係書類の上午後五時檢事局に提出し今後の指揮を仰いだので私鐵疑獄主任石郷岡檢事は直ちに木内黒田兩檢事と凝議を凝らした斯て事件は檢事局の手に移つたが捜査の進行に伴ひ昭和二年四月若槻内閣當時の認可線、昭和三年六月政友會内閣當時の認可線の認可運動に絡まる不正事實一切暴露すれば佐竹三吾小川平吉氏に對し新たなる瀆職事實が加はるのみならず前内閣某閣僚の身邊も危ふしと言はれて居る

遲くも年内に開設の見込

簡保の健康相談所と遞信局の診療所

當地遞信局では簡易保險加入者の健康相談所及び遞便局共濟會員の診療所設立を計畫中であつたが愈々本日局長、各課長等が協議の上規則草案を確定し至急に開設の準備を進め遲くとも年度内には開所の見込である、健康相談所の經費は遞信省より保險加入數による成規の支出があるが經費の都合上兩所を合併し約三萬圓の豫定で二名の專任醫師を置き相談所取扱の分は健康診斷のみなし無料にて處方箋を交附するが診療所の分は無料治療に當る筈である、なほ差當り大連市のみに開設し結果を見て順次各都市に及ぼすことゝなるであらうと

【東京二日發電】軍令部一班長、河野同三班長、坂本軍縮局第一課長、下村大佐、古賀高級副官、阿部中佐、外務省側は吉田次官、堀田歐米局長、白鳥情報部長代理等で組織し、今後時々海相官邸に懇談會を開き日英、日米間豫備交渉に備へ全權一行の照會につき研究すると共に月末シベリア經由で最後にロンドンに向ふ隨員高橋伊望大佐に攜行せしめる最後の案につき愼重審議を遂げる筈である

資源審議會の總會開催

【東京二日發電】資源審議會總會は二日午前十時より首相官邸に開會宇佐美資源局長官より一、資源調査法令施行に關する件の報告あつた後第五、六號の諮詢案を提出夫々特別委員會を指定、各特別委員會開かれた結果第五號諮詢案特別委員會は柳澤伯を委員長とし資源に關する用語統一の一般方針並に標準用語の決定、其の使用普及に關する諮問につき用語統一の必要を認め、調査委員を置く可き旨の答申案一部を決定、第六號の部は大河内子を委員長に決定し散會、依つて再び第五號答申案を審議委員長報告通り可決確定した

會者少く石本市長、恩田議長初め區長、商工會議所常議員等十二名出席した、石本市長座長に推され協議の結果、實行委員は三十名以上、常任幹事は七名以上とし早急に委員會を開くことを申合せて四時散會した

降雪のために埠頭作業大支障

船荷役も殆んど中止

滿鐵々道部では一日夜來の降雪と强風とで埠頭作業に大支障を生じ撫順積込の到着石炭は埠頭荷卸不可能から旅順へ廻送するほか、南關嶺貯炭場にまた特産は構内の積雪と荷役苦力の逃走から野積が出來ず甲岸壁新築の十二號倉庫及小崗子貨物驛倉庫に山積せしめるに至つた、尚海上の大時化のため繫留船で滿埠中の出帆豫定船も離埠せず船荷役は殆ど中止の止むなき狀態となつたが、これがため奧地から到着した貨物のはけ口に困つて斯くは積換せしも、空車の奥地戻しにはこの適宜の處置のため何等の支障もなく圓滑に行はれた

女子藥學校

昇格運動開始

【東京二日發電】女子藥學校の鼻祖として古い歴史を持つてゐる東京麴町區紀尾井町の東京女子藥學校在校生三百五十名は一日學生大會を開き昇格運動を起す事に決定した右の理由は同校學生は高等女學校卒業後三ケ年間藥學を專攻した後文部省に藥劑師試驗を受けねば開業する事が出來ないが例年卒業生は百名に上るに拘らず試驗合格は其三四割に過ぎぬから先づ昇格を期すと云ふにあり學生連は早速三十萬圓の昇格資金募集運動を開始する事となつた

東鐵札蘭屯迄運輸復活

【ハルビン二日發電】露軍の積極行動により不通となつてゐた東支鐵道西部線は避難民其他の整理一段落となりたるため札蘭屯まで平常通り貨客の扱ひをなす旨東鐵より發表した

加太議員重體

【東京二日發電】貴族院議員加太邦憲氏は腦溢血で加療中であるが依然昏睡狀態を續けて居る尚氏は八十一歳の老齡である

支人勞働者ロシアから避難

一日入港のうらる丸にてモスクワより二名の支那勞働者が日本經由避難して來た

うらる丸出帆遲る

三日午前十時出帆のうらる丸は風雪のため同日午前十一時五十分出帆に變更

關東廳辭令（三十日）

休職關東廳技手兼關東廳水産試驗場技手　吉田稔

休職關東廳遞信書記補　高畑公義

印度綿布輸入税増額せず

【東京二日發電】カルカッタ日印協會支部より同本部への入電に依れば印度當局は輸入綿布税改正につき審議中なりしも從前通りとし改正増額はせざる事とした

故グッド氏の陸軍報告書

【ワシントン二日發電】故陸軍長官グッド氏の遺案となつた陸軍省報告書が本日發表された、之に依るとフイリッピン守備隊を除くアメリカ陸軍現役數は十三萬九百三十七名である、右報告は各種統計の外は全然非軍事的事項のみを載せ又過去一年間の比律賓軍事行政に關するグッド氏の回顧談を載せてゐる

昭和製鋼所大連設置期成協議會

既報の如く昭和製鋼所の大連市近接地設置方期成運動の協議會は二日午後三時半より社會館に於て開かれたが、折からの風雪のため參

地委特別委員が各種問題を陳情

きのふ滿鐵を訪問

滿鐵沿線地方委員聯合會特別委員鵜尻（奉天）大津（安東）佐竹（開原）神崎（長春）伊藤（大石橋）の五氏は二日着列車で來連午後一時滿鐵本社を訪問仙石總裁及び大平副總裁に挨拶を兼ね左記事項について陳情する所あつた

一、既得權益の保護に關する件
二、石炭値下問題に關聯する内地人使用の件
三、附屬地内不動産處分の件
四、昭和五年度公費徵收の減額を豫想し補給金增額の件（以上總裁へ陳情）
一、產業助成に就ては助成す可き事業を審議すべく委員制度を設けられたき件
二、社會課の地方部移管に關する件（以上副總裁へ陳情）

市政上の暗礁【六】

無理おしは結局通らぬ

大連市政は何處へ往く？といつたところで、結局は安定するところに安定するのであるが、ある程度の安定に落ち着くまでには相當の時間を要し、かつ紆餘曲折を經ねばならぬであらう。がしかし、大勢は無理おしを許さず、落ち着くところに、自然と落ち着くものと知るべしぢや。然るに、その自然の大勢をせき止めんとする橫車の先生が出現するので、世間がスラ〳〵と治つて行かぬ。

◇

石本市長を中心としての紛糾また紛糾、誰が何といつても、そこに不自然な橫車を押すものがあるからこそ、昨今のやうな紛糾に陷つたのであるといはねばならぬ。露支の紛糾でさへ、原狀回復といふてゐるではないか、源流に遡つて事件の發端にタッチすると、紛糾も何もあつたものではないが、橫車を押すぐらゐであるから、その發端源流に遡らんとはせぬ。そこに紳士協定なるものゝ反古にされる運命が出現したのに相違ない

◇

發案權が市長の手にのみ存し、議員は發案することが出來ず、ただ議決權のみしか有せぬとあつては、若し市長が有給案を提出することが、市長の地位を動搖せしむる場合、市長は知らぬ顏の半兵衞を極め込むであらう。況んや後任者の醜聞を拜見せぬ以上、有給案は出せぬなどゝ頑張るに至つては結局するところ、市政を弄ぶことにならぬであらうか。大連ほどの都市で、市長を名譽職とするといふのが、そも〳〵事實に添はぬことゝもいへる。勿論、大連市制は自治體とはいふものゝ、その範圍は狹小であり、市として行ふところの自治行政は、すこぶる限られてゐるのである。がしかし、それだからとて、封建的ともいふべき名譽職では、要するに時代の要求に順應して行くことは出來ぬであらう。經費は必ずしも問題でなく、いや交際費とか、手當とかいろ〳〵の意味で、結局、經費も餘り變らぬといふなら、有給職によつて市政に全力を傾注せしむべきである。

◇

ところが、その有給案も都合のよいときは出すといひ、都合が少し惡しくなると、これを有耶無耶に猫ババを極め込まんとするから問題が起る。然るをガン首を揃へぬと有給案どころか、とは人を喰つた話。これでは市のためにこんなに紛糾してゐるのか何か、全く分らなくなる。換言すれば、市場の施設を如何にするか、と衞生施設をどうするかといふのなら格別。口約をしたの、せぬのと、全く紳士らしくもないことをいつて、それが市政だといふに至つては言論道斷である。

◇

三十人そこ〳〵の市會議員が、やれ中立の、擁護派の、滿鐵議員の、革新派などと騷ぐ氣が知れぬのだ。主義とか意見とかで、さう騷ぐほどのものはないではないかところが四の五のと騷がねばならぬといふのは、そこに橫車を押すものがあるからである。人間のすることだから、大に人間味を發揮せねばならぬが、さりとて、さう人間味の濫發も困つたものではないか。いや派を立て、黨を分ち、前言を裏切つたり、騷ぎ出さざるを得ぬことになるであらう。がしかし、大勢は落着するところに落着する。無理おしは結局、失敗すると知るべし。作爲はつまり作爲である。市政の大道は坦々たる自然の大道である。

安與子

銀行家中の變り種、正隆の高橋勇君が「正金の西山君の弱點を摑んでとう〳〵頭を下げさせたよ」と鬼の首でも取つたやうな喜び▲そつと探りを入れて見ると此度び高橋君が上京した折に摑んだものらしく弱點の内容はざつと次の通り▲何んでも最近本店から打つた暗號電報を西山君が全然反對の意味に飜譯し之を各支店に發表したものださうな▲ところで電報誤譯問題を本店から突つ込まれて流石頭腦明晰手腕家を以て知られてゐる西山君も靑くなつたといふ珍談――▲この情報を聽艇好きの高橋君が東京で入手したからたまらない、日頃の鼻ッ柱をくぢいてやらうと歸連早々電話で西山君を呼び出し例の地聲で恫喝？したものだ▲流石の西山君二度びつくり餘り自慢話でもないので「そのことばかりは内證々々」

復職ヲ命ス（各通）

特産

定期後場

限月	寄付
十二月	[illegible]
一月	[illegible]
二月	[illegible]
三月	[illegible]

出來高 [illegible]

現物後場

大豆現物　大豆（撰保・袋込）　大豆粕　豆油　出來高 [illegible]

錢鈔

定期後場（銀建）

現物後場（銀建）

商品

後場

神戸特産

大豆現物　豆粕現物　先物　滿洲小麥　豆油現物 [illegible]

東京株式（後場）

銘柄　東株新　東新　品中　先中　信新　新中　中先 [illegible]

東京株式（後場）

銘柄　安引　高寄　値　値　[illegible]

大阪株式

銘柄　大株新　大阪新　紡新　新糖　船 [illegible]

大阪鐘紡

銘柄　鐘紡　東日 [illegible]

横濱生糸

限月	後場
十二月	[illegible]
一月	[illegible]
二月	[illegible]
三月	[illegible]
四月	[illegible]
五月	[illegible]
六月	[illegible]

滿洲日報

露支交渉の解決難

人間ぐらゐ勝手なものはない。自分に都合のよいときは、勝手な眞似をして置き、相手方が、それに對し正當防衛の手段に出づるやうなことがあると、今度は國際聯盟の、不戰條約のと悲鳴をあげるのが常である。これでは不戰條約や、國際聯盟の方で、その適用を御免蒙りたくなるのではあるまいか。露支の交渉において、ロシヤ與し易しと見くびつた支那は、ありとあらゆる暴擧を敢てし、つひに東支鐵道の事實上の回收とまでこぎつけたのである。ロシヤはこれに對し、半年の隱忍持重、機の到るを待つてゐた。而して結氷と共に、國境の威嚇となり、支那兵に戰意なく、一も二もなく潰走するや、今度は不戰條約の、國際聯盟のといふ。然るに世間は、支那の注文の通りに運ばず、支那の申分に對し、列國が相手にせざるや支那側は已むなく、奉天側の對露單獨交渉といふことになつた。

◇

苦しいときの神たのみはよいがそれでは神様が聽いて呉れず、仕方なく〳〵單獨交渉となつて東支鐵道の原狀還元、ところがこの原狀還元と一口にいふものゝ、いざ事實問題になると、どこまでが原狀やら、エムシヤノフ氏やエスモント氏らの正副管理局長復任となれば、呂榮寰督辦や張景惠長官の辭任は當然といふべく、電政權や教育權の問題まで提起さるゝは明白の事實であり、そうなれば、いよ〳〵露支交渉の時期や地點が決し、また兩國の代表者が決定したりとしても、例により露支兩國の懸引となり、一ケ月や二ケ月間で問題が圓滿に落着すべしとも思はれぬ。今さら四の五のと、理窟を捏ねても仕方はないのであるが、ロシヤにしても、また支那にしても理窟にかけては、決して人後に落ちぬのであるから厄介千萬といはねばならぬ。

◇

ロシヤにしても、支那を徹底的に屈服さするだけの實力なく、支那側としても、その國家の組織が充分に有機化されぬところからして、露軍の襲來あれば、蜘蛛の子を散らした如くに潰走するが、それでゐて支那側は、暫くすると熱さを忘れ、原狀回復を承諾しつゝも、その原狀の解釋に關し、自分の方に都合のよいことをいふから交渉は容易に纏まるべしとも思はれぬ。殊に東支收益金の如き、早くも既に東北國防軍の軍費に轉用され盡し、奉露協定による折半を云爲しても、その折半を實行し得るの能力が、支那側に存在せぬ、といふやうなことになるのではあるまいか。果して然らば、一層のこと徹底的に雌雄を決せしめて、その上にて事件の解決を期するも面白くはないか。滿洲里や海拉爾ぐらゐの威嚇では、また徹底的の解決は出來ぬといふやうなことになるのではあるまいか。

◇

兩國軍を國境より撤退し、ともかくも鐵道だけの復舊を畫し、交通聯絡を協定するといふやうな抽象的のことも考へられてゐるやうであるが、今日の露支の對峙において、そんな都合のよいことが出來やうとは思はれぬ。蔡運升氏と李紹庚氏とが、はる〴〵ハバロフスクに向け交渉に出向いて行つたが、結局は、勞農國の襲來を緩和するぐらゐが落ちで、原狀回復の交渉成立までには、相當、紆餘曲折が存するのではあるまいか。去る七月以來の懸案、一朝一夕にして解決せられ得べしとも思はれぬ そのうちには本年も暮れ、事案は明年に持ち越さるることになるのではあるまいか。

北滿の經濟界と交渉成立の影響
東西國境の開通によつて活氣を呈して來る

【ハルビン發】露支交渉が成立したならば北滿の經濟界は直に如何なる影響があらうか、貫虎三井物產支店長は

交渉成立と同時にこれまで封鎖されて居た東西兩國境は開通し東部線は特產貨物の出廻をみるであらう、既に外商筋には東部沿線の特產買占に手を廻して居るが海林、牡丹江で商内した特產は東部が開いたとなれば其の日からでも流れ出るだらう、然し歐洲向逆鞘の狀態にあればさう急激な變化はみられない、矢張り東部線のものは東へ行くと云ふ程度だらう、哈大洋も時局關係が昨日に比して一圓二三十錢方奔騰した(哈洋百元—金五十四圓が一躍五十五圓五十錢から六圓と躍進)唯問題は正式會議が豫期の如くすら〳〵と運ぶか否かである

一般時局關係で沈衰してゐた經濟界はこれにより活氣を呈して來るであらうが、高畑滿鳥共同事務所長は「假令交渉成立しても本年度内に東行貨物の出廻をみるやうなことは至難であらう」と、その他浦鹽に支店を有する鮮銀、川崎商船其他外商輸入筋は稍愁眉を開いた模樣である

農商務會が現大洋建で取引
瀋海、吉海兩沿線の特產出廻りの狀態

【撫順特電】特產出廻期の昨今撫順驛貨物主任佐藤正秀氏は約一週間の日程で瀋海、吉海の各沿線の視察を了へ歸撫したが語る

前記各沿線とも特筆すべき現象は各農商務會が率先して

奉票慘落

に依る商取引を挽回すべく現大洋建取引に改めつゝある事でその結果は頗る良好である且つ是が爲從來の惡弊たる官銀號系の特產買占めの通弊が絶たれんとしつゝある事などは見遁し難い現象であつた、次に特產出廻り狀況であるが本年は類のない位氣溫高溫のため各驛とも出廻りが遲れてゐる、但し何處も出廻り最盛期を目前に控えてゐる事とておさ〳〵その準備に怠りなく各開戰直前の如き

緊張味が

溢れてゐた、その內一番出廻りの活潑であつたのは朝陽鎭と山城鎭の二驛で他驛にも若干のストックはあつたが大した事はなかつた、前記各沿線背後地各特產商は本多は昨年の如く東支鐵道の關係上同線に滿鐵の貨車借入不能を見越しさなきだに滯貨に依る生產者、各荷主の打擊を前年の實例から大に考慮し貨車繰最も潤澤にして

難送力の

確實性ある滿鐵各沿線へ向ふ荷馬車の多かつた事は注目に値した從つて興京市場を中心とするものも瀋海線の清源や營盤へ搬入しても昨冬でさへも滯貨月餘に亘つた實例から推して本年多はおそらく撫順驛及びその延長たる搭連へ殺到する如くでこの空氣の觀取された以上撫順驛の貨物擔當者たる自分は極力貨車の配給を潤澤にし奧地生產者や各荷主の便利を大に計り度い考へであると

黒河から邦人四名が避難

【ハルビン發】黒河からの避難邦人は金光せん(福島)小野すゑ(鹿兒島)平山すみ(長崎)中島まつ(長崎)の四名で黒龍河が結氷しブラゴエから露軍が襲來するとの風說でいづれも避難したので、黒河には宮崎藥店、田畑寫眞館夫妻が殘つてゐると

彈壓政策に支那側の誤算
今日の失敗を誘發す

【ハルビン發】勞農總領事館の共產黨檢擧に矢繼早の東支クーデター は支那側の東支回收を前提としてかなりの成功であつた、然し圖に乘つたソウエート壓迫政策は遂に見事にドタン場に至つて失敗を招いた、自ら蒔いた種は苅らねばならぬであらうが其の原因は

一、ソウエート聯邦の國力を輕視し最初から馬鹿にしてかゝつた點で、ソウエート國內の食糧難と反政府右黨の擡頭があるものだと信じてゐた事

二、軍隊の優劣に於て自國軍隊の力を過信してゐた

三、赤化運動と云へば列國が支那に同情すると誤信した

四、南京政府の對露容喙の禍ひ

等が今日の屈辱的和平交渉をせねばならぬ運命となつたのである、これは白系ロシヤ人の一、二と對露强硬論者の支那側要人のために誘導されたものである

全國統一は妥協では不徹底
蔣は元來狎邪の小人のみ
肚天一氏の時局談

肚氏は舊同盟會の鬪士であつたがその後國民黨とは離れ三合會九九會等を率ひ孤軍奮鬪したものである、目下表面には立たず冷たい眼で時局を觀察してゐる名士の一人である

全國統一は妥協や彌縫によつてそう簡單に成し遂げられるものではない、孫文は妥協によつて失敗し蔣介石は彌縫によつて危急に瀕してゐる、蔣は元來狎邪の小人で市井の無頼でたま〳〵風雲に乘じて今日の榮位を占めるに至つただけである、馮玉祥と兵火相見ゆるにいたつたが兵力や金力をもつてしてもその討滅は至難に陷り彼を惡むものが背後からその倒壞を計り物情騷然でなくなつて來た、彼が中央集權の名に於て黨皇帝を決め込み訓政の名に隱れて終身首席をもつて任じてゐることは民心を離反せしむる所以で、これは何人が考へても許すことの出來ないところである

永い間の懸案であつた汪精衞がとう〳〵歸つてきた、彼が歸國すれば改組派はいふまでもなく全國の黨員は直ちに起つて政權を乘ッ取るかに傳へられ、地方各級黨部に根强き地盤を有するかにいはれてゐたが實際歸つて見れば時局に對して何等の衝動をも與へず全く泰山鳴動して鼠一匹も出でざる感がある、孫文は常に國外に放浪し時々上海或は香港に歸つてきたので彼を海岸覗きといつてゐたが、海岸覗きとはいへそれでも歸國した時は汪のやうな不景氣なことはなかつた、素より汪はこの度こそは大なる希望をもつて歸つて來たに違ひないが公平にみるところ彼もまた過渡期に於ける一傀儡で回天の業などは望めない

聞くところによると汪は既に蔣との間にある種の妥協を進行させてゐるといふ、ある種の妥協とは蔣が若し下野のやむなきに至つた場合政權を讓つて呉れといふ內輪相談だといふことだ、これは事實ありそうなことで蔣にしてみれば仇敵たる濶や閻に讓るよりは面子も立ちまた自分の勢力を幾分保存することも出來るし汪にしてみれば曾て財界と何の聯絡を有せざる彼には蔣の財的背景をそつくり讓つて貰ふことは何より重寶である、目下汪は香港に於て政界乘り出しの諸準備を整へると共に兩廣の地盤奪取に着手してゐる、即ち廣東人同志は戰はずとの標語は彼の歸國と同時に提唱され陳濟棠と張發奎の妥協も右の標語の下に行はれてゐる

圖們江の流氷
近く結氷せん

咸鏡北道警察部よりの報告によれば圖們江は去る十日より流氷盛で諸所に結氷を生じたゝめ危險を慮つて渡船中止となつた、最近更に氣溫急降を見たので數日中に全部結氷するだらうと

日滿鮮空輸の蔚山泊廢止
愈よ來春四月から東京まで一日で飛ぶ

【京城發】九月から開始された日本航空會社の內鮮滿聯絡旅客輸送飛行は店開き以來相當の實績を擧げてゐるも現在一般旅客に經濟的な實用線として歡迎されてゐるのは京城

大連線のみ

で內鮮連絡は蔚山一泊が時間の短縮とならずこれが障碍となつて內地人の乘客が非常に少いので運航表改正に會社當局も頭を惱ましてゐるが、東京を中心として作製された現在の運航表では、蔚山泊りは已むを得ない事情にあつたが、過般遞信省に開催された全國飛行場長會議に於て遞信局の佐藤航空官より此の點につき改正を切望し種々協議を重ねた結果愈々明年四月から內鮮滿連絡が日發制になると同時に京城泊りと京城を基點として京城を朝出發すれば其の日の夕方には東京に着く樣に

運航表改正

を見ることに內定した、この運航が實現すれば蔚山の一泊の必要がなくなるので內地の空の旅は非常に簡便に且つ時間が短縮されることになる譯である

伊太利大使御暇乞に參內

イタリー大使ボンペオ、アロイジ男はトルコ大使に任命され近日中に歸國するので二十八日正午宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付られ御暇乞を言上御陪食の光榮に浴した【寫眞は參內せるアロイジ大使】

南征雜錄 (48)
難波勝治

羅府を後に

ロザンゼルス出帆後のマニラ丸は、全く日本人計りを載せた日本船の本色に立ち還つて、一直線に橫濱へ……といつた氣分に燥やいだ、新たに乘込んだ船客は一等二名と三等七十餘名、三等客の多くは南加洲在住の

農業者や

市街生活者で別に商業視察者を二三見受けたが、移植民てふ立場からいへば、同じ歸朝者でも南米かちの乘客と北米からのそれとは、おのづから態度風采、話題等が異つて居る、前者は朴訥で後者は輕捷だ、時にはミセスと名の附く年增のモダアニストが、紙煙を吹かしつつ英語交りの怪氣焰を揚げて居るなど、私は薄ッぺらなヤンキイ型より鈍重な南米型にゆかしさを覺へた、新一等船客は三宅克己畫伯夫妻、昨年十月彩管を載せて加州に渡航し、羅府に寓居をサンデイゴに卜して寫生と創作とに暮したが、乘船當日が

恰度豫定

の六ケ月振りだといふ、二人とも船は餘り强くないので二十八日は全く部屋に蟄居二十九日の天長節に畫伯のみ食堂に顏を列ねた、度々歐山米水を行脚した多趣味の人だけに流石に話が面白い、少くとも今まで內外人が睨爪らしい面構へで、形式的な辭令を交して居た單調さを、三宅さんの混々盡きぬ藝術談で明るく一掃した感がある、三宅さんの出身地は德島藩、幼少から東京で育つて英文學に志ざし、一旦明治學院に入つたが中途で

美術院に

轉校した、奇態な現象は當時の同窓中に、岡田三郎助、和田美作の諸氏があつて、それが何れも同じ方向轉換をした事である、明治初年の我が洋畫界に深い感化を與へた大家にイタリー人フオン・タネヂイがあつた、美術院はその門下の逸材淺井忠、小山正太郎などの諸同人に經營されて居たが、例の岡倉覺三氏が東洋美術を鼓吹し始めてから校勢振はず、三宅さんも遂に意を決して外遊を思ひ立ち、先づ米國に渡つて

留學生の

仲間入をしたがその時代に鹿子木孟郎畫伯も在米中であつた、それから間もなく歐洲に遊んで佛英を歷訪したが、その時分の巴里は廉く暮せました、留學生の手當が月百圓位だつたが、中村不折氏の如きは四十圓で押通したさうです と三宅さんの思ひ出話は娓々として盡きぬ、驚いたのはこの畫伯が日清戰爭の從軍者であることで、當時補充兵で出征した三宅さんは蓋平及び

牛莊附近

の激戰に參加した、近衞第一聯隊の步兵とあつて牛莊で敵の地雷火に罹つたが、幸ひに土を被つた位で微傷一つ負はなかつたそうだ、三宅さんの外に私は米國歸りの五十嵐直三郎君と筆勞淋漓、畢生の雄圖と憂國の熱情とが字句の間に溢れて居る、私は大正十二年の曾遊を思ひ出して

懷舊の情

に堪へなかつた私が翁と會談した時は餘りサンパウロ農業を讃めて居なかつたが、それは翁が常に海を主として考へて居たからだが、其處に平素主張の長所があり又短所があつた、五十嵐君の談によれば加州に於ける南米熱は今や益々高まつて來た、私が前に述べたアリカンサ六百五十アルケルス(約我が千六百二十町步)の北米村に於て、君も三十アルケルスを買入れ所有して居るそうだが、更に第二の北米村が出來るのも遠くはあるまいとの事である、斯うした會話の日は幾度か繰返されたが、航行四千八百六十海里、無事橫濱港に着いたのは十八日目の五月十五日であつた【寫眞は三宅畫伯夫妻】

滿日地方版

奉天

日支美術展 四日から三日間 城内博物館で開催

日支美術展覽會は奉天滿鐵公所主催の下に愈々四日から三日間毎日午前九時から午後三時迄城内博物館に於て開催されることになつたが出品は日本側から二百點支那側から四百點合計六百點に上り何れも代表的名畫揃ひで殊に帝展出品者の參考出品あり各方面から多大の人氣を呼んでゐる、猶三日は午後一時から會場脇の教育會に於て名譽會長張學良氏、名譽副會長翟文選氏、同林總領事代理その他日支參助員及び日本側畫家四名、支那側畫家十三名等多數出席の上盛大なる開幕式を擧行し招待者の會場觀覽が行はれる筈で開會當日の混雜を防止するため一般參觀者に對しては特に招待券の外參助員のもとに行けば入場券が與へられる事になつてゐると

人事

▲永井長春領事　三十日過奉安奉線にて朝鮮經由下關へ▲ロバート、スミス氏(米國トリビン社記者)　三十日長春へ▲徐世英氏(奉天航空隊長)　三十日内地より歸奉▲寺内守備隊司令官　一日旅順へ▲乾奉天署長　三十日旅順へ▲藤中關東軍經理部長　一日旅順へ

民會評議員改選結果

奉天居留民會では卅日午前十時から評議員の改選を行つたが左の如く當選した
▲一級當選者守田福松、實藤儀市、高橋由太郎、坂本平次郎、永清文次郎、合資會社怡信洋行五郎、大安煙公司▲二級當選者垂水晋、三浦茂助、次點西尾一田村由太郎、佐藤善雄、西巻豐之助、岡安長太郎、小畑平次、布川彌一郎、竹本重雄、久保義衞、次點西本卯吉、毛以巽三▲朝鮮人側林漢龍、沈錫葆、姜元永、李英善、姜重遠、次點崔士雲、金炳泰

町の便り

二日午後二時から施行される長春署の山岸巡査の葬儀に列席のため奉天署から立川警視が赴長した
◇
大連三越多物出張大賣出しは三日から三日間宮島町丸一運送店階上に於て開かれるが好人氣を得一般から期待されて居る
◇
髪結ひに行くと稱してそのまゝ姿を晦した柳町四番地第一旭樓藝妓田中清子(二三)及び川島君江(二一)の兩名はその後各方面に手配捜査中卅日兩名は青島において取押へられ保護中なる旨當地に入電があつたので一日旭樓々主は引取のため大連經由青島に向つた

瀋陽駄話

柳町[illegible]樓に譚夫と名乘つた美妓が現はれた▲郷里は何でも福岡縣で本名は藤野芳子と云ひ本年まだ十九になる花の盛りである▲奉天に來るまでには大連檢番にゐたといふことであるがまだほんの初心で柳町には珍しい美妓といふので早くも粹客の頭痛の種となつてゐる▲二千八百圓から三千五百圓といふめつぽうた値段を惜まず樓主が張り込んで迎へたのも無理ではないとの評判だ▲又話は變つて元あけぼの樓の若丸事佐野すぎ(二〇)であるがこの間病氣で内地は長崎に靜養のため歸國したが▲そこの樓主は病氣が癒るまで靜養して下さいそして全快した時に又奉天に來て下さいとの優しい言葉に惡樓主の多い今日本人の喜びは勿論一般の評判も非常によい▲一日午後十二時四十分と三時の二回に亘つて例のマネキン孃が市場正門通森島吳服店のショウインドに艶姿を現はした▲奉天では最初の事で理窟よりも見物人で押すな押すなの大盛況を呈した▲まだマネキンといふ語も碌に知らなかつた一般人は一目瞭然全く百聞は一見に如かずであつた

哈爾賓

和平と露機飛來 悲喜交々の局員 東鐵管理局のこの頃

恰度マル四ヶ月間に亘つて紛爭を續けてゐた東支問題が露支正式會議開催で近く解決するだらうと平和克復の報が管理局に舞ひ込んだ廿八日、ソウエート東支從業員は「東支の原狀恢復」の聲にいづれも滿面の喜悦をもつて乾盃祝福した、――廿一日午後二時から二時半の間に恐ろしい露機十二臺が興安嶺の天嶮を越えてブハトに襲來し爆彈を投下し六十餘彈投下した後廿八日再び午前十一時と午後三時の二回に亘り十八臺の飛機が再びブハトに爆彈を投下した――との報が東支管理局に札蘭屯から急電があり、結婚と葬式が一時に見舞つた形である、和平か武裝對峙か――悲喜交々の形容詞は正に東支管理局の隅から隅に流れた、一種の空氣であつた、管理局の玄關に立つて靜かに眺めてゐるとハルビン公報の號外が戶外に響いてゐる、外套一時預り所のロシヤ人が「タワーリシュツも近いうちにやつて來る、預り賃なんかこれから一切不要だ」と不平のやうな獨り言が傳はる、二階から降りて來た一ロシヤ人は「愈々紛爭も解決だ、一週間内には色彩が變るだらう、平和の交涉があるかと思ふとブハトぢや爆彈投下で火災を起してゐる何のことだ」とシユバーのカラウリ君と語り合つて出て行く、管理局長室の隣室――秘書の傅君が「今日はとても忙しい、戰爭はないだらうが、まだ局長のことについて奉天から何の命令も來てゐない、ボグラに向ふ露支交涉代表蔡運升使節の特別車は別に準備せよとの通達はない、范其光局長代理?とても眼が廻る程の忙しさだ」と書類に眼を落しながらの挨拶である

東鐵の損害 查定困難

廿八日東支管理局の入口階段には支那人勞働者が黒山の人垣を築いて殺到してゐる、局員の支那人が一々彼等の説明を聞き帳簿に事情を記載してゐる、彼等勞働者は去る十七日露軍の襲來前までヂャライノールの炭礦に働いてゐたもので賃銀の支拂を受けてゐるのであつた、露支交涉の正式會議進行と斯うした方面の實質的損害の計算は査定するのは六ケしい、彼等は約三百名ばかりで本月分の支給を要求してゐた

間島

鮮農雇傭の地主に課税

鮮農移住防止の一策として支那人地主に對し鮮農雇傭及び土地貸與を嚴禁してゐる吉林省政府當局は地主が右禁令を遵奉せず依然として鮮農を雇傭し土地を貸與してゐるので最近更に第二段の策を講じた結果、鮮人を雇傭し土地を貸與する地主に對して耕地一畝につき現大洋一角づゝ增税する旨を密令したと傳へられてゐる

長春

官帖濫發で 暴落底知れず 相場持續に躍氣運動

西部戰線方面に於ける戰況不利のため吉林官帖は日に〳〵暴落し底止する所を知らぬので當局は又復相場持續に躍氣運動を起し、長春場内の金融維持會をして對策を講ぜしめ錢鈔業者の取締を嚴にし官帖の交換を一日二百吊に止めるなど見當違ひの取締に大童となつてゐる、一方吉林當局は輪轉機二臺を据ゑつけて晝夜兼行で官帖をドシ〳〵市場に出し軍費に當てる許りでなく、最近は吉林沿線に於て官銀號が特産買占めを開始し之等の不換紙幣は益々增加し市場には新紙幣が際限なく出て來たので哈大洋は多少保直したにも拘らず官帖は依然として急落步調を止めない

山岸巡査 つひに逝く 葬儀は二日に

去る三十日長春三笠町朝鮮料理店大成館に闖入した強盜を取押へんとして彈丸つき賊彈二發を受け重傷を負つた▲山岸巡査に對しては各方面の同情が集まつてゐたが、同日午後一時遂に手當の效もなく死去した享年二十九歳、葬儀は郷里より嚴父の到着を待つて二日午後二時太子堂で執行

守備隊交替兵

當地守備隊交替兵は二日到着

奥地へ仕向けの 日常品は賣行が惡い

例年特産出廻り期は農家の一年間の收入時であるので、この時期に日常品を買入れるのを常とし特に特産物を運搬した所謂歸り車で輸入品が續々奥地に仕向けられるが本年は長春方面に荷馬車が多く集りつゝあるにも拘らず案外輸入品の賣行が惡い、之が原因は時局柄農民が戰禍を恐れて成るべく現金を貯藏する一方大洋及び官帖の下落で物價の高騰を來した爲めであらうと觀測されてゐる

鮮人酌婦の 待遇を改善 營業主へ申渡

鮮人酌婦の待遇が苛酷なりとの非難が多かつたので、長春警察當局では各軒の酌婦を呼び出して調査中であつたが愈々調査が完了したので營業主を呼び出し月一回の公休日を與へること、食事は營業主の負擔なること、屋外に出て客を呼ばぬこと、風呂場を設けること等を申渡した

北關夜話

年末の強竊盜事件は大成館の賊は早朝であつたから飛んだ人騷がせをやつたものだ▲賊の一人はまだつかまらないが▲聞くところによると賊は某日本人の家屋内を通つて逃走したとのことである▲家人も居合せたらしいが何故早く官に知らせて逮捕上の便宜を與へなかつたかと非難の聲がある▲賊であることを識別出來なかつたかも知れぬが疑はしい奴が來たらすぐ知らせるのが人情だ▲今度の事件許りではないが附屬地居住の邦人が兎角警備に理解がない▲傍に見てゐても不關焉の顏をする風がある▲附屬地の警備は警官のみの仕事じやない▲在住民共同の任務である

金州

盧九經翁死去

當地支人有志盧元善氏の父君盧九經翁(八〇)は豫て病氣の處卅日午前九時十分城内民倉街の自宅に於て長逝した、尚葬儀は來る十二月四日午前九時半より同十時半迄に告別式を濟まし直ちに途中行列を廢し埋葬場に赴く筈であるが特に盧氏は支那古來の事六ケ敷儀禮を打破する意味に於て愈文の一生の盛儀を斯く簡單に極實素に取行ふ由である

撫順

社員の献金 一萬圓を突破せん 本俸の百分の五を標準

滿鐵社員會撫順聯合會の献金は本俸の百分五を標準とし且つ絶對強制じみた方法を執らず各自自由意思に任してゐるに拘らず現下の經濟的國難を救はんとする擧國一致的赤誠の發露は撫順炭礦全社員をあげて裏から共鳴する處となり目下各坑別にその申込を受理してゐるが全坑合して既に七千圓を突破來る十日までにはおそらく一萬圓の互額に達せんとする狀態である。」一方大林警察署長の手元まで申込める散票的献金も不景氣のどん底に喘ぐ狭い撫順としては意外に多く既に二千圓に達し尚續々と申込者ある有樣で世紀末的思想惡化の感ある世界的思潮の泥海のなかに敢然浄く美しく咲く大和民族の崇高なる憂國心の現はれは眞に意を強うするに足るものある如くである

撫順の農業界に 貢献した飯島氏 公主嶺の農務主任に 榮轉して二日赴任す

撫順炭礦農林課農事業務擔當飯島精雄氏は今回公主嶺地方事務所農務主任に榮轉二日驛頭多數の見送裡に赴任した氏は大正八年六月入社以來十年間礦區内は勿論、撫順縣下の農業

開發の爲 大に貢献した人である、氏の入社當時は撫順を農業地として着眼するものは絶無の狀態であつたが氏は撫順地方を東西に貫流する大渾河の水利その他、水田事業に有利なる條件を夙に觀取、大正十三年には萬達屋北方渾河々畔に約百町步の機械力に依る水田計畫を樹て大正十五年には心太和部落に内地でも稀なる揚水機に依る機械水田完成を指導、昭和三年には農林係直營の模範的

採種田を 完成、當時縣下の寥々たる水田を今や二千有餘町步に且つ礦區内のみでも僅か二十町步の水田を現在三百餘町步に激增せしめたる半面に氏の眞劍なる努力奬勵は實に多とすべきものがある尚その他蔬菜類の高價調節を計る爲新屯に二十五町步の蔬菜畑を作り傍ら種場の開設、養豚組合の創設、馬匹改良に努力せる等その功勞は尠なからざるものあり緊縮の折柄に拘らず農事關係者は氏の爲誠意ある

惜別の宴 を二十九日張り且つ有志相謀り記念品を贈呈する處あつた

各商店の 投げ賣り

金解禁と年の瀬を控へて撫順でも投げ賣り景品附大賣り出し等が各商店で大流行してゐる、一日からは西五條商店會が近く東西條各商店もダンピングを始めるとの事だ金解禁に依る各仕入先原價の低減に輸入品の漸落とは必然でこゝ當分押迫るまでストックの投賣が續くもの、如くで何處の店でも三四割乃至半額で賣捌いてゐる向きもあるが給料生活者は金解禁も萬更ら惡くないと喜んでゐるとは現金なものである

煤都餘燼

驛前に新裝すがく〳〵しい食堂が出來た名は撫順館
◇
經營主の龜井君緊縮の折柄市民の希望に添ふべく新築した[illegible]五人以上の團體には二圓均一でスキ燒支那料理何んでも御座れで飲み放題詰め込み放題
◇
その試食會を一般有志、新聞者關係をかき集め一日午後五時からやつたが安くて甘くて盛澤山
◇
その上垢ぬけのした美人が近々くるさうだから吾と思はん者はさあ出掛けたり〳〵

滿蒙植物の採集雜話 (11)

旅順 佐藤潤平

第二編 北滿のお花畠(C) (六)

シャクヤク　シャクヤクは大興安嶺の麓札蘭屯附近では六月の始めの花であるが山中は七月に這入つてからやつとその花を見る、だから此の邊汽車で大興安嶺を通る時は季節が逆となつて夏から春に移るが如く山足では花盛り山中はまだ蕾が固い、何れにせよ大興安嶺のシャクヤクの群蕾は大したものだ、何百町步とシャクヤクばかりの原がありその花の盛り頃は全く想像の許さぬ所である。

白鮮、南滿でもシャクヤクと共に相當產するが大興安嶺のそれとは較べものでない、遺憾なことに寫眞ではその全部を撮すわけに行かずその本の一部分より撮されないのが如何にも殘念なことである

ブシバヒエンサウ、少しく濕氣を帶びた所に多數生じ葉がトリカブト、即ち附子の葉に類し、花が濃青藍色で燕の飛んだ形に似てゐる、故にブシバヒエンサウと呼ぶのである。これも觀賞用植物としてふさはしい種であるがその繁殖かどうか研究問題である。

八月に移ると少しくその花を失ふと云へども、ヤナギランはまだ花盛りの狀、それにリンドウ、トリガトの類が加り大興安嶺の秋の原を飾る。

此の月になれば、クロマメーキ俗にシベリヤブトウ、とか稱するもので、ツツジ科に屬する小灌木の實を大興安嶺の各驛で支那人が石油罐に入れて一ケ罐大洋で二圓位で買つてゐるのである、このクロマメノキの實が一粒一粒になつてゐてブドウの粒に類しこれで露人がジャムを作つて食用に供するのである、私は北滿のパンの味とこのジャムの味とがどうしても忘れられないのである。

北滿を旅行して今一つ目にとまるは草刈である、自分の丈よりも遙かに長い柄のついてゐる、鎌何んでもその柄の長さは日本尺で七尺四寸鎌自身の長さが一米突ばかりあるさうだ、その鎌を果の知れぬ大草原の眞只中でゆつくりとザキリ〳〵と草刈る樣は如何にも大陸的であり此の大陸ならでは見られぬ光景であらう。

まだ〳〵美しい草花も相當あり筆を取る前はあれもこれもと大興安嶺を讚美する言葉を考へて見たりしたが一段筆を運んで見ると、文拙くして思ふにまかせず充分に大興安嶺を讚美し得なかつたことは如何にも殘念でならない而し讀者が幾分でも大興安嶺の大花園を味ふことが出來れば幸甚の至りである、何れ改めて北滿の植物景觀として述べる機會があると思ふ。

北滿東支鐵路東部線、吉敦線、洮昂、通遼の蒙古地帶は未だその調査不充分であるから後日にする【寫眞は芍薬白鮮芍薬を賣る支那人】

鞍山

科學に關する 雜誌を讀む 圖書館の新しい傾向

圖書館内でどんな雜誌が一番愛讀されるか係員に就て聞いたゞに依ると先づ引張凧にされて一番多く讀まれる雜誌は科學畫報、科學智識で次は改造、中央公論、カメラ、みずゑ、映畫時代、明るい家、文藝春秋、婦人雜誌と言つたやうな順位であるが右に就き岩田主事は語る

諸君の頭が科學に關する高級雜誌に傾きつゝある事は面白い現象である、從來講談倶樂部、キング等の雜誌も備付けて居たが斯うした一般向きの雜誌は家庭でとつて貰ふ事にして七月以來之を中止しその代りに科學の支那滿蒙に關する參考資料となるべきものを多く備付ける事に努めて居る、昨年學生の受驗準備に要する參考圖書等の充實を計るべく其の一部分を取り寄せた處何時の間にか紛失して漸次冊數が減少する處から現在では取り寄せる事を中止して居る、盜難紛失は設備が完備して居ないのにも因るので今後設備を完全にして之れから大いに延びんとする學生達のために出來るだけ多くの參考圖書を取寄せたいと計畫して居る

猶中學生の中には婦人に關する雜誌を讀むものを時々見受けられるので之等に對しては係員から注意を與へて居るとの事である

千山駐屯所を 寺内中將視察

滿洲獨立守備隊二ケ大隊の增設に依つて千山に一ケ中隊駐屯する事となり既に本春五月姫路聯隊より長岡大尉守備隊長を命ぜられて着任し兵舍の改造其他諸般の準備が整つたので獨立守備司令官寺内中將は之が觀察のため一日來千湯崗子溫泉に小憩の後歸公した

花柳界の 收入半減 自動車も不況

公私經濟緊縮の聲が高潮されて以來各地に於ける料亭は何れも其の緊縮主義に適應し且つは營業不振の現況を打開して挽回の一途に向ふべく既に大連、奉天、撫順、安東等の遊郭料亭では客の吸收策として遊興代の値下其他種々方法が講ぜられて居るが、不況の慘風は何れも同じ秋の夕暮で鞍山柳町の料亭も九月以來客足が減切り減少し十月十一月の如きは各料亭共例月に比して收入半減で樓主連は青息吐息の狀態である、未だ之が挽回策に就いては何等講究されて居ないが、何れ各地の例に倣つて打開方法を考究されるに至るであらうと言はれて居る、なほ柳町通ひの遊客を常得意として居るタクシー營業者は左の如く語る

自動車に乘るお客さんの大部分は柳町に通ふ人々ですが、緊縮の叫びで昨今お客さんの減つた事と言つたらお話になりません此儘推移したら自動車屋は上つたりですよ

新入營者 元氣で來着

鞍山守備隊の新入營兵四十六名は一日午後六時三十三分着列車で頗る元氣で來鞍した、驛頭には官民多數の出迎へがあり林地方事務所長代表して歡迎の辭を述べたに對し入營兵代表の答辭があり、夫より出迎への古參兵と共に兵營に入つた、猶新入營兵は三日大石橋大隊本部に於ける入隊式に參加すべく三日朝赴石すると

煙草組合總會

本年度の收穫に豫期以上の成績を上げた鞍山煙草耕作組合では來年度は更に事業の擴張を圖りより以上の成績を擧ぐべく一日午後一時から實業會堂會議室に於て總會を開き種々協議する處があつた

養蠶組合總會

鞍山養蠶組合では三日午後一時から實業會室に於て總會を開き來年度に於ける事業計畫其他に就て協議する由

鞍山鐵片

曰く何に曰く何々と種々な問題が世に曝け出されんとして居る
◇
蛇は寸にして人を呑まず正義に向ふ敵はないのだから正々堂々と戰ふもよからう
◇
だが然し私情や感情で平和な村を亂したくはない
◇
數日來の時候外れの暖氣は春の如く消防隊横空地の枯草は青々と芽生え珍現象を呈して居る
◇
細民曰く之は緊縮時候とでも云ふのだらう石炭が要らぬので助かりますと

遼陽

白鳥氏に感謝狀

前遼陽滿鐵醫院長白鳥博士に對し滿洲肺結核豫防會から遼陽支部長として在任中の勞を謝する爲め感謝狀を贈呈した因に山崎副領事は同會遼陽支部長を依囑された

金組役員會

遼陽金融組合では廿九日午後七時から評議員會開催の上新加入者に對する資格審査を行ひ決定の上は近く貸出を開始すと

軍人後援會

遼陽警察署管内加藤警部、郵便局長は軍人後援會の特別會員に田中驛長、宮川、大森兩助役は共に通常會員に加入した

京城

朝煙會社の 相談役は全廢か 取締役會議注目さる

朝鮮煙草元賣捌會社は來る三十日の第四期株主總會に於て監査役の改選を機會に會社が合同當初よりの懸案である重役減員を斷行することに決し現在監査役五名の定員を三名に減ずることになつたが同時に無用の長物に等しい同社相談役全廢論が一部有力株主間に擡頭し

專賣當局 もその成行に對し注目を擲つてゐる

同社の相談役は現在十名の多數を算し幾多の波瀾曲折を經て會社の合同が成立せる際當時非常に難色にあつた合同成立の論功行賞の意味と又反對派の策動を恐れた當局が總花的に取締役監査役相談役等の椅子を振當てて當時の難局を切抜けたもので專賣當局も當時會社の基礎が堅實に向つた節は當然重役を減員するといふ意思表示を非公式になしたものである其の後合同成立して二年會社は既に合同直後の創痍も癒へて專賣當局の嚴重なる

監督下 に堅實な方針で地步を占めつゝある今日一種の名譽職たる相談役の席は何等必要なく專賣當局としてもこの點は早くより着眼して機會を見てゐたもので全廢論が株主間に唱道せられつゝある事實に對しては當局も當然なる歸結と觀てゐる而して從來よりの行懸り上相談役全廢は相當困難なる事情が伏在する模樣であるが明年の取締役改選には更に取締役の半減を行ふ當局の肚で合同後二年既に行賞の實も擧つてゐる相談役は當然全廢は免れぬものと觀られその

任免權 を持つ總會前の取締役會議にて當局の慫慂に俟つところなく會社側が自發的に全廢を決議するものとして株式も專賣當局も期待を懸けてゐる

安東

小賣物價の低落 七十二種のうち廿六種が

安東輸入組合で十一月末の小賣物價を調査して見るに前月に比較して低落したものが多くなつた、小賣商品七十二種の中で騰貴したものが三種、保合が四十三種で殘りの廿六種は前月よりも下落して居る騰貴したものは白菜、澤庵、鷄卵の三種で下落した商品は

白米、大豆、小豆、麥粉、醬油清酒(白鶴)、味の素、砂糖、鹽魚、雜魚、椎茸、高野豆腐、素麵、海干、昆布、海苔罐詰、玉葱等の食料品

金巾裏地、モスリン、銘仙、足袋等衣料品類五種

であり食料、雜貨等生活必需品の大部分が下落した事は安東商店會の大きな努力で市民一般に非常なる喜びを以て迎へられて居る

郵便局員昇進

去月二十五日附安東郵便局員書記補横川晴海、日本電報取扱所增田唯一の兩氏は書記に末廣秀雄、江上甚九郎、永野幸英の三氏は書記補に何れも昇進した

料理代値下 料理店組合で

安東料理屋組合では去る十八日花代並に玉代の値下問題に就き協議を遂げた結果、花代及び玉代は現狀の儘として料理代を値下げする事を申合せ去る二十一日から一般實費用料理として一人前二圓、二圓五十錢、三圓の三種に分け二圓五十錢の料理には酒一本、三圓の料理には酒二本付として料理屋に依つては右の内藝妓の線香代も含ませる處もあり此の外に酒並に花代を遊客負擔となす家もあり其の間全部の料理店が一率に協定することは困難な爲め或る程度料理屋側の自由裁量にする事となつた

緊縮大講演會

公私經濟緊縮大講演會は既報の如く二十八日午後六時半より安東公會堂に於て開催、定刻過にはさしもの大ホールも立錐の餘地なき程の盛況振りを見せ井上緊縮委員會安東支部長の開會の辭より豫定の如くプログラムは進められ當地一流の辯士が熱誠こめての演說に聽衆は固唾を呑みて聞き入つた各辯士の講演が終つて井上支部長登壇閉會の辭に代へて緊縮宣傳の鴨綠江節を紹介して大盛況裡に午後十時閉會した

緊縮宣傳の鴨綠江節

黄金の解けて凝まる日の本の
民の緊縮基礎となる
互に緊縮國のため
半年待たずに春が來る

刑務所の移轉

安東領事館刑務所は警察構内裏に新館を建築しつゝあつたが、此程落成したので二十九日愈々移轉した室は四室で約六十人の收容能力を持つて居る四番通の舊刑務所は撤去し拂下げる事となり三十日午前十時頃領事館に於て競賣に附した

取引所好績

安東取引所は十一月末を以て本年下半期の決算をなす筈であるが今期の營業狀態は九月以降米金解禁問題の爲め銀市取引が異常の活氣を呈し豫期以上の好成績を擧げ株主配當も三分見當可能となつた尚重役會は來月六七日頃開催の筈

唱題修行嚴修

當地日本山妙法寺にては臘八成道會に際し例年斷食唱題修行を嚴修したが、本年は經濟國難の叫ばるゝあり又思想上の一大難關に逢着し當局にては教化總動員の行はれんとする時に當り徒らに身を修むるを以てのみ能事とすべき時にあらずとなし街道に擊鼓宣令如説修行教化の一助となすべく一日より七日間市内を唱題修行をなす事となつたと、尚來る八日午後六時半より同寺に於て釋尊成道會法要を修行する由

營口

忠魂碑完成

旭公園内の忠魂碑はかねて移轉中であつたが愈々完成せるにつき一日午前十時半から碑前に於て移靈祭執行市民多數の參列者あり基石高さ十九尺五寸碑石十二尺五寸壇面より三十二尺舊碑に比して六尺高くなかく立派なものとなつた

大石橋

入營兵來る

守備隊第三大隊に入營すべき初年兵士九十四名は一日午後六時三十分の四十一列車にて到着驛頭には風雪を突いて出迎へせる全較多數住民歡呼の裡に營庭に向つた

開原

開校記念學藝會と展覽會

開原小學校第十九回創立記念日學藝會は既報の通り一日午前九時より同校講堂に於て開催された定刻永野校長の開會の辭に次でプログラム通り各兒童の話ゝ齊唱合唱獨唱童謡遊戯唱歌劇對話劇舞踊書方圖畫手工國史地理理科中國語對話等順々に上演されたが特に地理と理科の開原附近の觀賞植物、滿洲の山勢と分水嶺、開原盆地等は實地に採集せる標本出土品等を示し有益なる實驗研究の發表に注意を引き職員兒童の熱心さに滿室に溢るゝ來賓父兄母姉弟妹等も好く靜肅に聽取觀賞し午後一時過ぎ永野校長の閉會の辭に盛會裡に終了した成績品展覽會は沿線三十餘校よりの出品並に理科室には滿洲採掘の鑛石等を陳列し家政室には各生徒の手藝品等を陳列されてあつたが各出品中には兒童の作品とは見られぬ程天才的成績品もあり觀覽者踵を接するの盛會であつた

社員會の献金

今回滿鐵社員會より減俸基金へ献金方の通知に接せる當地各分會代表者は地方事務所に參集し献金標準を協議の結果各自の献金額は本俸の百分の二以上とし各會員全部献金することに決定せりと

列車區員献金

列車區員本持松太郎氏は復興貯蓄債券及勸業債券計五十圓を減俸積還基金中へ献金方申出により當地方事務所より其手續をなせりと

銀世界となる

一日は朝來ドンヨリとして細雨あり午前十時より雪に變じ北風強く吹き荒み夕景の本稿締切り頃は銀世界に變じた

敗退將棋 (其五)

滿日棋家名

【志澤氏一回勝二回目】

香平交左香落　四段 △鈴木 一鎮
三段 ▲志澤 春吉

持駒 志澤氏 角步步

【圖は六六步迄の局面】

持駒 鈴木氏 角

【盤面以下指方】△六六銀▲六七角△五九飛▲五五步▲八四步▲同步△七五步▲四五步△七四步▲同銀△七五步▲八三銀▲五五銀▲四六步

【對局者の感想】志澤三段曰く六七角は六六步の緩緩で攻めるよりは防禦に利かす考へでした。志澤三段曰く敵の七五步は嫌な手です。止むを得ず四五步と指したが敵に角を持たれて居るだけに危險です。鈴木四段曰く七四步は手拍子で指したが六五銀の方が味ひが廣くて遙かに優つてゐた。

【大崎八段講評】上手敵が五五步と取るを輕く八六步と突棄て七五步と指せしは六六銀の力を利用しつゝ輕く持角の力を發揮してよろし。次に七四步は感想にもある通り六五銀と出る方優れり。

コドモページ

童話 線香花火（上）

瀨野皓太

ある寒い冬の夜の事でありました。誰も彼もが寝靜まつてゐて馬車のわだちの音も聞えないくらゐの淋しさでありました。

子供はふと眼をさましました。電燈が消された部屋の中は、それこそまつくらで、今まで見てゐた夢の世界の方がずつと明るかつたと思ふ程でした。

よく夜中には遠くの方から靜かに響いて來る汽笛の音や、淋しい犬の遠ぼえなどが聞えて、暗いやみの恐ろしさを消して呉れ勝ちなものです。その子供も實はそつと耳をすまして、そんななつかしい音を心まちに待つてはゐたのでありますけれどもどう言ふものかその夜は、それこそ鎭まり切つてゐて、何の響きも聞えては來ないのでした。子供のおびえがちな心は、ともすれば一層おびえさせられるのでありました。

子供はしばらくじつとそのまゝ蒲團の中にもぐつてゐましたが、お了ひにはとう／＼我慢が出來なくなつて、そつと手さぐりに枕もとを探し始めました。

子供が探し當てたのは、少さな線香花火の一たばでした。

その子供は、何だか妙にその日は線香花火がほしくて堪らなかつたので、丁度御用事で街に出た父さんに買つて下さる様にたのんでおいたものなのでした。子供は眠たいのをこらえて待つてゐましたが、待ち切ずにねて了つたのでありました。

だから、子供の夢は、あの美しく飛びちる花火の模様がいくつも入りみだれてゐたのでした。

今、子供の手ににぎられた線香花火の一たばは、それこそ子供の心をすばらしく明るくしたのも無理はありません。

今の今まで子供をおびやかしてゐた暗がりは、今度はその子供に取つてはむしろ都合の好いものとなつたのです。

一本だけで好いから火をつけて見たいな、と考へたからです。

けれども部屋は、ひどく冷てゐましたし、暗い所を通つてマッチのあるお臺所にまで行かねばならないと思ふと、子供はもう一度考へ直さねばならなかつたのです。

しかしお了ひには、ぢつとしては居られなくなつたものと見え、とう／＼お臺所に出かけました。

そして寒さにふるへながら一本のマッチをすつたのでした。マッチの明りが花火の藥を包んだ紙の赤や青や模様をてらしました。

花火は煙硝くさい匂と一緒にもえ始めたのであります。

◇ニヒキ ナカヨク◇

ニドメノ 大チャンノタンケン 〈153〉

ハルミチ作 ジラウ畫

大チャンタチノ センスヰテイガ ウシロ カラ ツイテクル トハ シラナイ ウミノ クワイブツ ハ マツカナ カミノケヲ フリミダシナガラ ヤノヤウニ ハヤク ドコカニ オヨイデ イキマス。

「ドコニ ユクノダラウ？」大チャンタチハ ムネヲ オドラセナガラ ドコマデモ ツイテユクト ヤガテ ベリスコープニハ ツルギヲ タテナラベタヤウナ 一ツノ シマガ アラハレマシタ。

ウミノ クワイブツハ ソノ シマヲ メガケテ オヨイデヰル ヤウデス。「ハハア、アレガ クワイブツノ スンデヰル シマダナ」大チャンハ ベリスコープヲ ノゾキナガラ サケビマシタ。

學校と家庭

教育隨想 世の親達よ 何のために教育する？

春波樓

◇學校は出たが雇手がない、需要供給の因果律は年一年と學校卒業者の就職率を低下せしめつゝある折から現内閣の緊縮政策が聲高くブロードキャストされたので、之に呼應する官衙會社は只管人件費の節約を以て緊縮の實現を計らんとする結果新採用の手控となつたので今や卒業期を前にしてサラリー生活を目指す學校出の就職難はいやが上にも深刻味を加へて來た◇

ところで官廳に於ける各大學卒業生の就職率を調べて見ると昭和二年の平均が三〇、二パーセントであつたのが昨年は二〇、三パーセント、而して昭和四年は更に激減して一五、〇パーセントとなつてゐる。官廳でさへ然りだ、其の他の一般會社は押して知るべしである。かくて年々校門より排出される卒業生等は「我等に職を與へよ」の悲痛な叫びを擧げながら街頭に溢れてゐるが、その數は年毎に増加する一方である。◇

多額の學費を投じ、中にはありつたけの家産を息子の教育費に注ぎ込んでやれ／＼卒業證書が貰へるかと安堵の胸をなで下した瞬間から就職難を嘆たねばならないとは何たる意地の悪い世相であらう「何の爲めに莫大な金を子の教育費に注ぎ込んだのであらう」と今更後悔して見たところで追つつかない。「世の親達よ、何の爲に學校へ出すか」と言ひたくなる。◇

相當の學校さへ卒業して居れば勝手な氣儘を言ひながら大威張で就職の出來たのは明治時代の夢だ。世は大正より昭和となり求職にあへぐ人々が街頭に濁を捲く今日幻滅の悲哀は「教育はパンを得る爲めの投資ではなかつた」といふ眞理を人々の腦裡に深く／＼刻みつけてゆく。◇

教育が若しパンを得る爲めの投資であるならばそれは餘りにも利廻りの悪い投資であらねばならない◇

そこで一寸算盤を持つて見やう先づ小學校は算盤に入れないことにして中學五年がザッと三千圓、高等學校三年が三千圓、大學の三年が四千圓、概算しても大學を卒業するまでに一萬の學資はいる。勿論之は下宿料も含めてであるが若し中學時代は自宅から通つたとしても總計の上に大差はない、此の一萬圓を年一割に廻すと年利千圓で月に割ると八十一圓餘になるが大學を卒業して幸運にも職に有り附けたとしてその初任給は僅かに六十圓乃至七十圓、それも割のいゝ方がさうである。それより低いのになると、口をあづけて三十圓、もつと悪いのになると食べさしてもらふ代りに月五圓の小遣ひを貰ふといふなさけないのもあるこれでは教育投資も引合つた話でない。◇

世の親達よ、子供を學校へ出しさへすれば飯が食へると思ふ觀念を取り去れ、子供にパンを與へる近道は他にいくらもある。教育は決してパンを得る唯一の方法ではあり得ない、教育はやはり人間を内面的にのみ豐にするものであつて決して懐を豐にするものではなかつた。

童謠 滿洲においで

旅順 耕一

雨の降らない國が好きなら
いつも遊べる滿洲においで
こゝではお日様
めつたに泣かぬ
月に一度も
泣かぬとこ。

青葉大蔭の
アカシア花の
香ひかぎたきや
滿洲においで
若葉の蔭の白い花
道の並木に咲く花よ。

お耳の長い
小さい馬の
ロバに乗りたきや
滿洲においで
秋の野原で
ギーと啼く
滿洲名物ロバの聲。

ドンチャン、ガンチャン
ブードンドン
音樂きゝたきや
滿洲においで
支那の嫁入り面白い
畑の中を
馬車で行く。

兒童の作品

硝子工場見學

大廣場小學校 六年 土田 基

「やあ、硝子工場だ」「ああ、硝子だね」など話をしながら硝子工場の門をくゞつた。僕等は門の中でしばらくまつて居た。ガラス工場の戸のすきまからのぞき見をして居る者もすこし居た、そこはガラス器を包んで居る所だつた。やがて先生が事務室から出て行らつしやつた。と、いつしよにガラス工場の人らしい人が二人ぐらゐ出て來られ一人は男子、一人は女子の案内者であつた。僕等男子は初め事務室の方から陳列室に行つた。どこ／＼に陳列するといち／＼札が立てゝあつた國々によつて皆それ／＼ちがつてゐるのも面白い。そこを出て、調合室の前を通つた。そこでは調べかはが廻つて石をこなすのや調合するきかいが廻つて、其處で、はたらいてゐる人は支那人であつた。口にはきれで作つた大きな、ますくや、毒ガスますくみたいな物をあてゝ居た。

それからすこし行つた所で、僕等の案内者が何にか石を持つて説明して居る。

僕は餘り其の人がこゑが小さいので、よくきこへなかつた。ガラスを作る材料の石を二つ三つとつた。

こんどはさつきとほつた調合室の反對がはを通つて、熔解窯のある建物に入つた。ここでは讀本でならつた様に、窯の周圍にはたくさんの支那人の職工が汗を流しては居ないけれども、いつしんに働いて居る。熔解窯の内には、赤くガラスがとろ／＼にとけて居るくだについたガラスを鐵でやかましくたゝいて、どけて居る小はいも居た。こゝではおもしろいかつかうのびん見たいな物を作つて居たこゝのやうかいがまのある室はじつに大きかつた。

僕はあまりに、おも白いので、しばらくじつとこのおもしろい珍しいものを見て居た。しぶしぶこの室を出て細工室に入つた。ここでは火力によつてきたないきりくちをきれいにして居たなかなか面白い。

歸りにさつきのぞきみをした室を見た。その室では女工が器用な手つきで紙にガラスきをつつんで居る僕等は案内者に「有がたう／＼」とお禮を言つて、ガラス工場を出た。

實に面白かつた。

初雪

大廣場小學校三年 矢代順之助

ふる／＼雪が
初雪が
野山の瀆も
まつしろだ
ふる／＼雪が
初雪が
にわのかきねに
つもつた雪は
見事なにわの
花となる

新刊教育書紹介

▲一年生教育（十二月號）國語讀本の音樂的處理、讀書法、十二月の學校兒童衛生、年中行事の教育化、綴方指導誌上研究會綴方成績品處理の研究、その他（東京市神田區表神保町小學館）

―師走を行く―
年々殖える スケートの需要
不景氣風はよけて通る 運動具店の前 (二)

——お父さん、僕ロングが良い、こんなけちなのぢやあ競爭出來やしないよ、ねえロングを買つてよ——

と或スケート屋さんの頭店で識常三年生位の坊ちやんのおねだりだ。下駄スケートを引つかけて片足滑りに滑つて居たのは一昔前の事で現今は小學生迄ロングだのフイギュアーだの注文が難しい。是も斯道發達の結果でロングが大連で使用され始めたのは八年許り前からだが、年々需要が殖え最近は全體の一割位ロングが出て行く。

◆ ◆

スケートは毎年州內外を通じて約八千足賣れて行くがドイツ製の物が一番多くフイギュアーで六、七圓から十八、九圓、ロングが七圓五十錢から十五、六圓迄で皆アルミニユームか其上にニッケル鍍金をしたものだが、滑双の鋼鐵の如何により良惡があるが、矢張り七、八圓位が一番賣れる、最近五圓前後で日本製の品が出來地金は鐵で鍍金したものだが緊縮の折柄大分捌ける模樣である。其他スキーデン、アメリカ製の上物も幾分出る。

◆ ◆

四、五年前より各靴屋で盛んにスケートを賣始め而も靴の賣行を殖やす爲めスケートの方は儲けを犧牲にして安く出すので例に運動具屋さんも大恐慌、値下の競爭が始まり昨年邊りは原價切々のドンドン底迄落ちて練習用のスケートなんかドイツ本國よりも安い位だと云ふ。

——漸く仕入原價の一割五分位の利益で今年も又競爭の結果昨年より二、三十錢下がるで調子ぢや原價が切れます——

[illegible]

◆ ◆

而も十二月に雨が降るといふ本年の暖かさに例年なら十日頃から滑れるのだが此調子なら年內中に滑れるだけの氷が張つて呉れるかどうかと、雨空を見上げて悒んでゐる。

◆ ◆

雪の少い滿洲ではスキーは數へる程しか賣れず大連の運動具店でも一昨年から店頭に置く樣になつたのだが、是は內地でスキーをやつた人が其妙味を忘れられず當地で雪が降つた日スキーを履いて雪の上に立つてみるだけでも良いといふ熱心家に求められる位なもの併し沿線には昨年邊りから相當に出るといふ

——緊縮と言つても此運動具には大した影響はないでせう——

と運動具屋さんの樂觀豪語するところ、寒風を衝いて氷上亂舞、師走風を克服する事亦ウインタースポーツの快ある所以哉(寫眞は景氣のよい運動具屋の店前)

大連のスケート場 近く設備に取掛る
州內大會は一月十九日に開催 昨日協議會で決定

一日夜來から降雪を見スケート、シーズンの近きを思はせるが、大連スケート會では二日午後四時より關係者が市役所に參集して左の如く協議を爲した

一、會場の設備經營、春日池及彌生池は無料、鏡池は有料、無料各一箇とし何れのリンクも二百五十米突、ホッケー場は有料リンク內に設く、一期料金は小學生五十錢、中學生以上一圓、電燈照明や手入等は昨年の通り

一、州內スケート大會の期日一月十九日(日曜)に決定したが、大會の方法は再協議を爲す

一、會場の取締並指導方法、大體昨年通りとし本年もポスターを配布して奬勵する

なほ近く關東廳の認可あり次第會場の設備に取かゝるが、既に各池には氷が張詰めてゐるから投石したり、入口以外の土手より池內に入らない樣注意するとを希望してゐる

避姙方法の問合せ殺到
地方には斷りの返事 東京市の産兒調節

【東京二日發電】東京市の産兒調節問題は異狀なセンセイションを起し市の方面委員に相談に來るもの、社會局の人事相談所に多產を訴へて調節相談に來るものもあり同所では主として本所の馬島醫師に照會して居るが、此の中には智識階級の婦人も相當あると言はれて居る、一方地方からも東京市に避姙の方法につき問合せて來るもの既に五百餘通に上り、遠くはカリホルニヤ、ハワイの在留邦人首め朝鮮、臺灣等全國から照會して來て居る、其の中には宮城縣學務部長、新潟、長瀨、高知市立病院等官廳からの問合せもあつて産兒調節は國民的の問題となつて居る、東京市では適確な方法や藥劑が未だ研究調査中にかゝり又市としての産兒調節は最に登錄濟の勞働者家族二萬五千餘所帶に適用するものであるからと之等地方からの意思に添い難い旨の返事を出して居る

靜岡縣の大火

【靜岡二日發電】靜岡縣藤川町に一日午後十時四十分火災起り全燒五十六戶、半燒六戶を出し二日午前二時鎭火したが負傷者二十五名あり、損害二十萬圓と見らる

タクシーがボロイ儲け
雪に惱む大連市中

荒れ掩つた二日の天候、粉雪は午後に入つても何時果つるとも知れずしつこい降りやう、段習られて電車が歩き初めたのがお午過ぎから、市中は切り裂かれる樣な北風にすつかり縮こまつてる、シヤベルと雪かきで忙しい排雪夫の姿が何れの辻を見ても死者狂ひの奮闘でたそがれ時やつと大通りのみに人道が着けられる「これで又今晩降られちあやり切れませんよ」こぼし乍らもシヤベルが動く雪かきが動く、かくて午後になると共に市中は漸く少康を得たと云ふ形である、だがたどくしい電車を後目に市中を走るタクシーの多い事運轉手に尋ねると「おひるまでにもう五十回もハイヤーに出てゐますよ、これぢやあ身體はやり切れないが商賣の方は儲けたんまりでさあ」

出船入船一隻もない

吹雪にざさられた埠頭も午後になつても午前同樣一隻の出船も入船もない、始末たゞ沖待の船がグングンと殖えて判明した分丈でも二十餘隻、まだ續々雖難してくるだらうと觀測されてゐる、その判明の分は天祐、デンマーク、チヤイナ、瓜哇、あいだ、遼海、撫順、大元、濟南、山西、トレミイクル、オレンヂモア、サイクロップ、華興、同安、恒安、興順、增進、惠山、成利等で入港を氣遣はれてゐた上海、青島航路定期船奉天丸は、二時間餘り鳥島附近でさまようてゐたが四時漸く港外に辿りついたが信號所の小旗信號の綱が凍結して奉天丸との間に通信不可能に陷り空しく一時間も防波堤の附近をウロウロし午後五時半辛うじて十一番バースに橫付けられた一方荷役作業も殆ど不可能の有樣であつた

坪井殉職部長の遺骸間島につく
けふ總領事館葬執行

【間島四日發】壯烈な殉死を遂げた坪井巡查部長の遺骸は自動車で一日午後六時間島總領事館に內鮮官民多數に出迎へられて到着した、氏の葬儀は三日午後一時より總領事館葬として執行する筈である

因に坪井氏は二十八日部下十一名と共に春寒星に出動し春志廣以下二十餘名の不逞鮮人を手分けして捜査中、二十九日の未明坪井氏は朝鮮妓樓に潜伏中の張が正に逃走せんとする所を單身追ひ詰め引き捕へて格闘中拳銃にて前額部を打たれて仆れたるもひるまずこれを追はんとしたところ更に左足に彈丸を受けて立ち上る能はず、この最中隨行の巡查は張を追つたが彼はその儘逃走したもので、坪井氏は三十日午前七時遂ひに絶命した、なほ匪賊は五名既に逮捕されてゐる

日限を定めて生徒に出校命令
聽かねば斷乎處置 沙河口公學堂盟休事件

既報受持教師より叱責されて女生徒一部が同盟休校を行つた沙河口公學堂では、其の後依然として登校する者なく學校側では去る廿九日各父兄に對し二日善後策協議會を開催すべく出校するやう通知書を發したるも、二日に至るも一名の出席者なく生徒も引續き登校するものがないので同校ではいよいよ斷乎たる處置を取るべく日限を定めて生徒に對し出校するべく命じ、萬一登校なき場合は首謀者に對しては退學處分、其の他の生徒に對しては停學又は訓戒處分とする意嚮であると、尚今回の事件を惹起した楊教師は溫厚なる性質の持主であるも今回の事件については小澤堂長としても愼重なる考慮をなす筈であると

勅使御差遣
故佐分利公使の告別に

【東京二日發電】天皇陛下には本日佐分利公使の告別に當り午後一時勅使永積侍從を御差遣幣帛を賜はり別に祭粢料として金一封御下賜の御沙汰あつた

說諭願ひ二件

▲大連信濃町一三四久保重藏は二日大連署へ春日町三一飲食店ひろよし事稻留ミヤおよび同近藤大三郎を相手取り說諭願を出した、久保は三河町中村彌三次郎の仲介で前記ひろよしを經營してゐたが、營業振はぬ爲め去る九月二十日右營業を他へ讓渡する目的で中村に返還した然るに稻留および近藤は之れを八百五十圓で讓受けその半額を即時支拂ひしも殘金は言を左右にして支拂はぬのみか、十一月十一日より十七日まで無許可のまゝ營業し家賃の如きも久保と家主との間に賃貸借の契約あるを奇貨とし家賃も支拂はず家屋の明渡しもしないと云ふのである ▲大連美濃町五七產婆淺野かた千代田生命保險會社員小田定仲は去る四月上旬から一ケ月三十圓の約束で十月末迄西公園町一三七下宿屋八色フサ方に下宿したが、その間未拂分四十一圓六十錢は今に至るも言を左右にして支拂はぬので二日八色から大連署へ說諭願を提出された

一年間の密輸武器
大連海關沒收分

大連海關が昭和三年十月より今日まで約一ケ年間に沒收したる密輸武器を南京政府に引渡したが、その詳を分別すると

▲拳銃 アストラ(十五)ブローニング(廿二)イキシフレス(一)ローヤル(五)ビビ(八)モーゼル(百三十四)同(十八)コールト(六)ゼヒッター(四)計二百六十一挺
▲彈挿 百八十
▲子彈盒 百五十四
▲彈丸 一五八〇〇(大)二三一〇二(小)
▲槍關 一〇

支那艀總罷業
二日上海にて

【上海二日發電】上海港內航行艀整理と增收のため稅金引上げを發表したので、港內支那艀四十隻は今朝來一齊に總罷業を開始し日本の各會社の荷役は全く不能に陷つた

又も衝突事故

一日午前五時三十分ごろ大連春日町二五飲食店福壽亭前車道に於て春日町二八平和タクシー運轉手北丸義雄(二〇)の自動車と若狹町車夫合宿所內車夫陳世增(四〇)の人力車が衝突し人力車を破損し約十五圓の損害を負はしめた

けふのラヂオ

昭和四年十二月三日(火曜日)
自午前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
自午後〇時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、講話(國難に直面して) 松山理三
三、謠曲(繪馬) 喜多流白井靖敏
四、筑前琵琶(四條畷) 洪洸山上地旭靜
五、長唄(小鍛冶) 唄森丈、三味線杵屋榮多賀、尺八木村汲山
六、支那劇(坐宮盜令) 連東俱樂部々員

藤原義江獨唱會 日本民謠の歌詞
前賣切符けふから賣出します

五日午後六時半より協和會館に開催の本社主催の渡米告別獨唱會に出演のテナー藤原義江氏は昨二日門司出帆のほんこん丸に乘船した旨通知があつたが四日着連、同夜大連放送局のために獨唱會に於ける演奏曲目以外のラヂオ放送をなすはずで、前賣切符は本日より滿鐵社員クラブで一般に賣出すことになつてゐる、會費は一般は二圓、本紙讀者、滿鐵社員クラブ員に限り一圓五十錢、[illegible]の學生は七十錢、子供は半額である、當日演奏の曲目中の日本民謠の歌詞は左の如し

マリアの唄

マリア花園に守るや神子を
そよ吹く風若葉を揺りて葉がくれに
小島は歌ふ、あ神子エス眠れ
やさしき笑み、樂しき嗣ひ、胸にやすめ
聖なる母の、あ神子エス眠れ

たぬき橋
三木露風作詩

いつちく、たつちく狸橋、月夜に
來るのは誰かいな
お手々はまひまひ、お足はぶらぶら
渡つてくるのは誰かいな
お寺の門番、提灯消されて油揚取られて
いつちく、たつちく狸にとられて
お手々はないない頰かぶり

ペチカ
北原白秋作詩

一、雪のふる夜はたのしいペチカ
ペチカもえろよお話しましよ
昔昔よもえろよペチカ
二、雪のふる夜はたのしいペチカ
ペチカもえろよ、おもては寒い
くりやくりやと呼びますペチカ
三、雪のふる夜はたのしいペチカ
ペチカもえろよもうぢき春よ
今にやかぎも、もえましよペチカ
四、雪のふる夜はたのしいペチカ
ペチカもえろよたれだか來ます
お客さまでしようれしいペチカ
五、雪のふる夜はたのしいペチカ
ペチカもえろよお話しまよ
火のこ、ぱちぱちはねろよペチカ

ひがんばな

ゴンシヤン、ゴンシヤンどこへ行く
赤いお墓のひがんばな、ひがんばな
けふも手折りに來たわいな
ゴンシヤン、ゴンシヤン何本か
地には七本、血のやうに、血のやうに
ちやうどあの子の年の數
ゴンシヤン、ゴンシヤン氣をつけな
ひとつつんでも日は眞晝、日は眞晝
ひとつあとからまたひらく
ゴンシヤン、ゴンシヤン何故泣くの
いつまで取つてもひがんばな、ひがんばな、怖や、赤しや、また七つ。

鳥の番雀の番
野口雨情作詩

鳥が稗蒔く雀が見てる
雀が稗蒔く鳥が見てる
鳥は、雀の番してる
雀は鳥の番してる
雀も困つた鳥も困つた
雀も鳥も困つちやつた。

佐渡おけさ
堀內敬三編曲

佐渡へ佐渡へと草木もなびく
佐渡は居よいか、住みよいか
佐渡へ八里のさざ波越えて
鐘がきこえる寺とまり
雪の新潟ふぶきで暮れる
佐渡は寢たかよ火が見えぬ

宵待草

待てど、暮せど、來ぬ人を
よひ待草の、やるせなさ
こよひは、月も、出ぬさうな。

せつせつせ

一里二里なら傳馬でもかようさ、
五里とはなれりやサッコラサノサ
風たより、せつせつせ、
風たより、せつせつせ

動かぬ風車(滿洲童謠)
石森延男作詩

一、いつのころから、とまつたものか
とんとうごかぬ、風車
風がふいても、うごかない
雲がとんでも、うごかない
二、麥をひきひき、まはつたころは
はでなまはりを、風車
鳥がないては、くるくるり
花がさいては、くるくるり
三、今日も、ゆめみる、むかしのわかさ
さめぬゆめみて、風車
鐘がなつても、さめやせぬ
雪がふつても、さめやせぬ

曠野の雪
新木秀郎作詩

一、雪の曠野に、消え行く人は
銀の霜降る、風の夜を
赤く凍てつく、旗の山
廟が見えます、雪の原
二、消えて行く雪、曠野の果てに
莊のオンドロ、煙はのぼる
麥しの心も、凍てつくばかり
廟が見えます、雪の原

出船の港
晉羽時雨作詩

ドンとドンとドンと、波のり越して
一挺二挺三挺、八挺櫓で飛ばしや
サッと、上つた鯨の汐の。汐のあちらで、朝日はをどる
エッサ、エッサ、エッサ、エッサ
押し切る腕は
みごと黑がね、その黑がねを
波はためそと、ドンと突きあたる
ドンと、ドンと、ドンと、ドンと突きあたる
風に帆綱を、きりりとしめて
梶を廻せば、舳はをどる
をどる舳に、身をなげかけりや
夢は出船の港へ戻る

藤原義江氏 歡迎茶話會

本社主催の獨唱會に出演するテナー藤原義江氏歡迎の意味にて好樂家有志の發起で四日午後七時半からヤマトホテルに於て歡迎茶話會を開催する、出席希望者は四日午前中に會費金一圓を添へ滿日總務部(電六三四八)三好まで申込まれたい

藤原義江獨唱會 讀者割引券 本券持參者に限り一圓五十錢

藤原義江獨唱會 讀者割引券 本券持參者に限り一圓五十錢

愛慾の窓（176）

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

犠牲（六）

「……はいつてもよろしう御座いますか？、彼奴等は實に不都合です！、實に怪しからん！」

杉崎は腹立たしげに繰返した。

「……はいりたまへ！」

英輔は靜かに自分の胸から倭文子を離すと、扉口の方に歩みちかづきながら

「……うるさいことだらけだ！、然しもういゝ、あらすべてさつぱりさせてやらう！」

と獨りごちた。

杉崎は扉を押してはいつて來たが、そこに倭文子の姿を見出すと頑張つてゐた表情を心もちゆるめて會釋した。

「……これは奥さまですか」

「今晩は……どうもいろ〳〵お骨折ですね」倭文子も挨拶を返した

「杉崎君！、談判はどうなつた？どうせもう妥協の餘地は見出されなかつたらうね？」

英輔が訊ねかけた。

「それですよ！、實に彼奴等は……」と杉崎は吃つたが、卓上のウヰスキイを見つけると「……すみませんが、一杯飲ませて下さいませんか」

といふ。

倭文子が直傍から酌した。

「いや、恐縮です、奥さんのお酌では恐縮です」

と杉崎はぐいと干してほつと吐息づいた。

「……若し彼奴等の要求どほりにしてやるならばです、まるで坑夫たものぢやありませんか！、まるで小森鋼山そのものを、すべて勞働者共の手に委ねて、經營者などといふものは、彼等の代理人に過ぎないやうな結果になる！、いや、事實上さうならずにはゐないんですよ、そ、そ、そんな馬鹿々々しいことがありますものか！」

「は、は、杉崎君、あんたはひどく亢奮してゐるやうだね」

英輔は笑つた。

「亢奮しないではゐられないぢやありませんか！、第一、事務所長だの技師だのは、本來此方の味方であるべきです……それがあなた、いかにあの邊が日本無産黨の勢力地盤だからと云つて、無産黨の代議士風情に脅されてしまつて、奴等の味方のやうな態度を執るなぞは、實に怪しからんです！畢竟ずるに、彼奴等はあなたがお若いといふので、甘く見てゐるのです！見くびつてゐるのですよ……」

「わかつてゐる……僕はね、兎に角、明日は鋼山へ行つてみようと思ふんだ」

英輔は腕を拱いて云つた。

「結構です！、代表者共はあんなに腰の強いことを云つてをりますが、しかし鋼山の空氣が果してどれだけ緊張してゐるか、それは疑問です！」

杉崎はまた洋盃を空けた。

「……そこでね、君に一寸お願ひがあるんだ……代表者達には、明日の早朝、僕自身が鋼山へ出張するから、その上で交渉しようといふことにしておいてだ、今から邸へ自動車を走らせてね、僕の居間の北側の小壁に油繪の額が……ドガの踊子の畫が、懸けてあるのだが、その額の裏にね、茶封筒が一通匿してある……大切な秘密の書類なんだ、それを大急ぎで持つて來て貰ひたいのだ」

英輔は、內懐から銀色の鍵を取出すと、杉崎の掌の上に載せた

「これが僕の居間の鍵だよ……君なら誰も怪しみはしまい……大急ぎで頼む。僕は今夜はこのホテルで泊つて、明日早朝立つのにも都合がよいからね」

「……かしこまりました。直ぐお届けします」

杉崎は、鋼山に關する重要書類と思ひ込んだらしく、緊張した面持で鍵を受けると、急いで立ち去つて行つた。

「……倭文子！、一時間と經たないうちに、杉崎は大切な證書をこゝへ届けてくれるだらう……安心しておくれ」

英輔はよろこばしげに微笑した倭文子が英輔の面上に初めて見た明るく朗かな微笑だつた。

英輔は自分の胸にしつかりと倭文子の身體を抱き占めた。そして淚に洗はれた頰を、彼女の頰に強く押し宛た……。

滿日文藝

滿日俳壇

刈田　島田青峰選

○　大連　永井　傘月

雁渡る刈田の末の入日かな
黄昏を刈田に騒ぐ鴉かな
藪蔭に小寺が見ゆる刈田かな
川へ出る路の岐るゝ刈田かな
施灸寺へ人續きけり刈田路
幌深く刈田の雨を俥行く
刈田路轍の痕の深さかな
川べりや刈田の中の寄進木
藁塚に漸く陽ある刈田かな

○　煙臺　天江　雨江

入營の列遠ざかる刈田かな
橋越えて馬車見え來たる刈田かな
寺の灯の見えて僅暗き刈田かな
刈田低く貨物列車の煙かな
細々と續く流れや刈田徑
刈田中放樂芝居今夜きり
次々に見え來る村や刈田徑

○　撫順　松尾　天巣

一群の鳥渡りたる刈田かな
破案山子倒れてあり刈田かな
ひろ〳〵と部落に續く刈田かな
畔の木に鵙とまれる刈田かな
たまさかや人通り居る刈田道
鷺一羽刈田に下りて居たりけり
暫くは汽車の眺めも刈田かな

○　奉天　伊東　晃水

運池をめぐりて廣き刈田かな
藁塚の二つ三つある刈田かな
展け行く刈田見下ろす住居かな
稻舟の片寄りつける刈田かな
刈田中村道長く續きけり

○　大連　和田　烏峰

雲の影流れては來る刈田かな
刈田水すれ〳〵に飛ぶ小鳥かな
珍らしく暖き日や刈田道
畔に焚く烟這ひゐる刈田かな
根殘の崩れ込みたる刈田かな

○　大連　吉元　汀雨

日は西に大川光る刈田かな
演習の野砲据ゑたる刈田かな
刈田越えて太鼓聞ゆる村祭
村雨の過ぎて刈田の夕日かな

○　大連　高杉　牧羊城

刈田道遠乘の人續きけり
一水の唯流れゐる刈田かな
積藁に西日の赤き刈田かな
友の家刈田のはてに見えにけり

滿日俳壇募集規定　次回課題「年忘」「湯豆腐」「新年雜詠」▲句數無制限 ▲用紙半紙 ▲各題別紙 ▲締切十二月十五日 ▲封筒に「滿日俳句」と明記 ▲送り先、東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛

新刊紹介

▲**イギリス勞働運動史論**（ロートシユタイン著 廣島定吉氏譯）原著者は長く英國で生活しその勞働運動の歴史を親しく直接の資料によつて研究した露國人でマルクス主義の立場から近世勞働運動のあらゆる問題を取扱ひ勞働運動に從事する人に多くのことを暗示してゐる（定價金一圓、東京市麴町區四番町九番地叢文閣發行）

▲**產業改造への途**（松永安左衛門氏著）大戰後における歐洲の復興及び米國の繁榮によつて來る處を究めるは不況に沈滯せる我國への他山の石であらねばならぬ、本書は右の目的を以て戰後の歐米を視察せる著者の見聞及び考察を集めたもので緊縮時代必讀の書と云ひたい（定價金八十錢、東京市京橋區第一相互館內千倉書房發行）

▲滿洲公論（十一月號）緊縮と大連名士、馬賊巨頭半面史其他（定價金五十錢、大連市紀伊町九番地滿洲公論社發行）

▲滿洲通信俳句會報（三號）投句者漸次增加し內容外觀共に整ひ句會に出揃り勝な人達の間に歡迎されてゐる（發行所大連市山縣通三一大連俳句會）

▲社會研究（十一月號）山田武吉氏の公私經濟の緊縮、昇曙夢氏の「勞農ロシアを直視して」その他（定價金六十錢大連市松山臺五、滿洲社會事業研究會發行）

▲支那問題（十一月號）定價金五十錢、北京東城豆腐巷十七號支那問題社發行

▲さつき（十一月號）定價金三十錢、東京府下駒澤町上馬六〇六番地さつき發行所發行

▲通信見本市（第三卷第十三號）定價金三十錢、大阪市東區內本町橋詰町大阪府立商品陳列所商品館通信販賣會發行

▲川柳へ（十一月號）定價金三十五錢、東京市外杉並町馬橋原五四七柳樽寺川柳會發行

▲海外（十二月號）各國政治家と政黨を特輯してゐる（定價金四十錢、東京市外落合町文化村海外社發行）

▲**無門關講話**（釋宗演全集第五卷）不景氣だとか生活難だとか泣言を立ててゐる者は本書を繙いて大悟せよ（豫約品、東京市麴町區下六番町平凡社發行）

▲**昆蟲の生活**（ファブル科學知識全集第十卷）第五回配本である、不思議な昆虫の生活狀態を目に見るやうに面白く平易に書いてある（豫約定價金一圓五十錢、東京市神田區今川小路アルス發行）

▲心臟病の話（非賣品、簡易保險局發行）

▲**現代**（十二月號）各種金儲け座談會、伯爵牧野伸顯傳現代名士自叙傳の一節、戲曲「御用船」其他（定價金五十錢、東京市本鄉區駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行）

▲海外經濟事情（第二年第三五號）（外務省通商局編纂、價金二十五錢、東京市京橋區築地三丁目十五番、中屋印刷所發行）

▲優生運動（十一月號）牛乳研究號で諸博士大家の意見が網羅してある（定價金三十五錢、東京市京橋區南紺屋町實業ビル五階優生運動社發行）

▲統制經濟研究（第四卷第一號）價格成三要因としての運賃、支那關稅制度綱要、南滿洲及東部蒙古に關する條約批判、支那習慣內のゲルマン的構成要素其他（定價金四十錢、大連市紀伊町、滿洲統制經濟研究會發行）

▲無軌道時代（十一月號）定價金二十錢、臺北市西門町二ノ一三番戶方無軌道時代社發行

大阪商船出帆

●門司、神戸行（うらる丸 十二月三日正午 …）●大阪行（はるびん丸 …）●基隆高雄行 …●上海福州行 …●朝鮮經由長崎行（關東丸 十二月十日）●北米シヤトル、タコマ行（ぱりい丸 十二月十日）●紐育行（神戶四日市橫濱經由）…●歐洲行（上海香港經由）船客お斷り　はばな丸 一月末日　あるたい丸 十二月廿九日●天津直航行（河南丸・武昌丸・貴州丸 …）●橫濱直行（河南丸・武昌丸・貴州丸 …）

大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番
●乘船切符發賣所　大連市伊勢町ジヤパン、ツーリスト、ビユーロー　大連案內所（電話五五四番）大山通出張所（電話七〇三四番）沙河口出張所東萊洋行內（電話九五〇六番）
專屬荷扱所大連市山縣通　國際運輸株式會社大連支店（電話三一五一番）二ホーム荷扱所（電話四八〇二番）

日清汽船出帆
●青島上海行（華山丸 …・唐山丸 …）
大阪商船株式會社代理店　大連支店　電話四二三七番
專屬荷取扱店（大連市山縣通）國際運輸株式會社　電話三二五一番

島谷汽船出帆
●南鮮裏日本 北海道行（大成丸・春明丸・長成丸 …）●寄港地 鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽●鹿兒島、三角、長崎行（鮮海丸 十二月八日）●各等客室設備あり
島谷汽船株式會社大連出張所　大連山縣通一五三　代理店　大三商會　電話四七一一・三四八二・六二三番

日本郵船出帆
●歐洲行（だあか丸 …・松本丸 …・だあばん丸 …）●北米行

近海郵船大連出帆
●神戶、大阪行 ●橫濱行 ●天津行 ●基隆高雄行（…）

朝鮮郵船大連出帆
●青島仁川行（會寧丸 …）●仁川、長崎、鹿兒島行（羅南丸 …）
朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行　右汽車汽船出帆日時は天候其他の關係により變更することも有之候　水路圖誌、海圖販賣所　キユーナード汽船會社 船客業務代理店
近海郵船株式會社大連代理店　朝鮮郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所　大連市山縣通電話三七三九番・七八四六番
專屬客荷取扱店　監部通吉野町　丸二商會　電話四二六四・五八八八番

阿波共同汽船
●芝罘、威海衞、仁川行（共同丸 …）●芝罘、威海衞、青島行（第廿一共同丸 …）●威海衞、青島行（第十六共同丸 …）●鎭南浦行（長山丸 …）●天津行（長山丸 …）●青島、芝罘行（第卅六共同丸 …）
滿鐵とは貨物連絡取扱致候　大連市山縣通二〇〇番地　阿波國共同汽船會社大連支店　電長六八九一・五〇〇一

政記輪船出帆
公利號　有利號　純利號　同利號　新利號　永利號　英利號　廣利號　恒安號　泰利號　吉地號 …（登州府龍口・芝罘・上海・汕頭・青島 各行）
政記輪船股份有限公司　電話四一四一〇

大連汽船出帆
●青島上海行（奉天丸・榊丸・大連丸 …）●天津行（濟通丸・天津丸・天潮丸 …）●登州府龍口行（龍平丸 …）●香港廣東行（東洋丸・嵩山丸 …）●名古屋行（東大星丸 …）●阪神行（長順丸 …）
大連汽船株式會社　電話番號代表四一八五番　專屬荷取扱店（大連敷島町）永和公司　電話七二七五・七八六八番
阪神航路專屬荷扱店（大連須磨町）澤山兄弟商會　電話⑤五二六五・四六八一
乘船切符發賣所（大連市伊勢町）ジヤパンツーリスト・ビユーロー　大連案內所　電五五五四番

高橋汽船大連出帆
●芝罘行 福壽丸（大連芝罘間命令定期船）●大連、龍口、安東縣命令定期船 ●登州府龍口行 海壽丸
大連加賀町三〇　代理店　松浦汽船株式會社　電六一二七・三八五一

夕刊 滿洲日報 十二月二日

東鐵警備權の折半には 支那側斷じて應ぜぬ
蔡氏一行自動車で戰線を突破 昨朝目的地へ急行す

【ハルビン一日發電】露支和平交渉支那代表蔡運升氏一行は今朝十時四十分東部國境ポグラより自動車にて露支兩軍の線を突破し劇的光景の裡に目的地へ向つた、東鐵の警備權問題につき支那官憲の意向は左の如くである
即ちロシアは東鐵共同經營の原則に基き全延長一千七百二十一キロに亘る東鐵警備軍の露支折半を要求するかも知れぬが支那は領土保全の見地から斯かる屈辱的條件は斷然峻拒する

露代表に商議申込
蔡氏一行は尼市へ向ふ

【モスクワ一日發電】蔡運升、李紹庚兩氏は三十日國境グロデコヴォに到着した、そして張學良氏の命を受けた聲明を發して曰く「支那は勞農側の要求を承認することを前提としてハバロフスク駐在勞農代表シマノフスキー氏と會見の上協議を進めたいと思ふ」蔡、李兩氏はシモノフスキー氏と會見の爲め直ちにニコリスク、ウスーリススに赴くことになつた

國際的仲裁を考慮
米國務省露支問題協議

【ワシントン三十日發電】米國々務長官スチムソン氏は今朝米國務省に於て會議を開き次で白亞館を訪れ午後八時頃まで重要協議をなしたが、右散會後スチムソン氏は左の如く述べた
米國政府は目下尚ほ露支紛爭に對する國際的仲裁につき愼重考慮中である
と尚今迄の種々の報道を綜合すれば今回の露支兩軍の衝突に際し支那領土內に於ける掠奪放火等の暴行が行はれたが右は露軍の壯擧ではなく脫退逃走した不規律な支那軍を責むべきものと見られて居る

公使團が東鐵調査
各國武官が視察團組織

【上海特電二日發】外交部側の消息によれば北平公使團にては東鐵問題を實地に調査をなすべく同方面の視察團を組織することに決定した、右視察團は各國公使館附武官一二名宛を以て組織し英國公使館附武官を團長として近く北平出發の筈

對露意見相違から 奉天派內部に暗流
政變を免がれぬ形勢

【ハルビン特電二日發】奉天支那側幹部の對露重要會議は和戰兩様に岐れ激論し、主戰論者はロシアが國是を蹂躙してまで領土侵略のため出兵することは許されない、持久戰に移ればロシアは屈服すると說き張煥相氏が極力主張し黑龍江萬主席、孫參謀長は之に同意したが張學良氏の軟化と顧維鈞氏の和平論に遂に屈服し露支紛爭が解決しても東北政權の內部に暗流生じ崩壞の機を早めた、既に反張學良の輿論も擡頭し馮玉祥氏を東北省の首腦者に迎へんとする議論も一部に唱へられ近き將來に政變は到底免れぬと觀られてゐる

奉露單獨交渉を 斡旋したる黑幕
顧維鈞、イワノフ兩氏

【ハルビン特電二日發】露支抗爭の調停者としてドイツ政府は國際上の立役者であつたが、奉天派が單獨交渉を開始し成立の**氣運を作**つたのは支那側にては蔡運升氏で其背後の指揮者は顧維鈞氏であつた、ソウエート側はメリニコフ前哈爾賓總領事で裏面にあつて活動した人物はイワノフ氏（支那名王）であつた、イ氏は勞農幹部が引揚げた後も依然としてハルビンにあり去月十九日東北政權の意志を代表して蔡運升氏からハバロフスク市の極東外務人民委員長セマセフスキー氏の許に和平交渉の希望ある旨を通告した時、其重大なる密使として特派されたのが

イワノフ 氏であつた、氏は遼寧省專使として密にスタルヘルビンからポグラに向ひ廿一日にハバロフスクに到着し直に勞農側の回答を得て廿五日歸哈蔡運升氏邸に自動車で乘り込み人眼を避けてハバロフスク政權の回答を傳へた、蔡氏は其夜直に奉天へ赴いたのである、斯うした黑幕のうちに活動する人々の手によつてリトヴイノフ氏の三ケ條の要求は奉天政權のもとに達し張學良氏から承認の回答を發したものであつた

支那軍司令部後退

【ハルビン特電二日發】博克圖における去月廿八九兩日の爆彈投下に次いで三十日も興安嶺に現はれ偵察の後去つたので支那軍司令部は一日昂々溪に撤退した、爆彈に見舞はれた博克圖は慘澹たる光景を呈し民家は悉く支那兵のため掠奪され一物を止めず列車は札蘭屯まで運行し電信は博克圖まで通じ滿洲里海拉爾間は不通である

海上穏やかに 若槻全權元氣
デッキに出て散歩

【サイベリヤ丸二日午前七時發電】出發以來今朝始めて太陽を見る、海上穏かで船は些かの動搖なく若槻全權も漸く航海に馴れ朝早くからデッキに出て散歩してゐる

甲板上で快活な談笑

【サイベリヤ丸二日午前九時三十五分發電】昨日は荒天のため船室に閉ぢ籠つてゐた財部夫人も今日は元氣附き夫君財部全權、令弟山本中佐等と甲板の椅子に出て快活な談笑を交はしてゐる船內は朝來晴々しく一行は總て愉快氣に時を移してゐる、船は日本沿岸より三百浬の洋上を北進中で波は全く納まり氣溫は上昇してゐる

萩川放談 (127)
露支衝突（其二）

東支鐵道問題を中心に、露支兩國は國境に兵を構へ、小競合に日を過してあつたが、露國は終に陣を切らして、滿洲里方面に攻勢を採つた、問題の主目たる東支鐵道を支那側が掴んでの喧嘩なるゆえ、持久は支那側に利益あり、さはさせまいとあらば露國はどうしても這次の攻勢に出ねばならぬ、そうして此攻勢に就じて支那の脆きことよ、一敗興安嶺にまで退却とは、敵側のロシアもその脆きに驚いたかも知れぬ、豫期せざりし此退却露軍には之に應ずる準備なく、それで其追撃も急ならざるにや

◇

縱しこたびは追撃をなさぬとも、ロシアは支那の手並を知つた、これから侮さんと欲せば、其欲する軍事行動を北滿に試むべし支那は油斷が出來ぬ、それはさて措き、支那軍の此退却で、東支鐵道沿線は大恐慌である、开は露軍來に怯えしにあらずして支那敗兵の掠奪を恐るるなりと由來支那軍隊には、勝てば掠奪、敗くるも掠奪、混亂に乘じては直に掠奪に移る癖がある、それもそのはず、支那の兵卒は遊蕩兒を集めたもので、彼等は非にあつて無頼漢たり、食ひ詰むれば匪賊、亦轉じて兵卒ともなる、兵と匪とは同じ。

◇

支那の民諺にも、この兵匪の同じきを呪ふがあるほど、民衆は自國の軍隊を恐れ且厭ひ、そうして此軍隊は國防よりも內治よりも、軍閥黨閥の政爭に遣はれ民衆の迷惑は勿論のこと、支那在留外人としてどれほど其軍隊に苦められとるか知れない、近き例を示すが、南京事件がそれである、支那側の言ひ分では、南京事件をば、蔣介石を傷つけんとする反對黨側の指嗾だと云ふが、これ口實のみ、濟南事件をば、排日の義憤だと云ふが、これ辯疏のみ、支那軍隊の素質からして此口實此辯疏は何の役にも立たぬ。

◇

在體に云ふと、支那軍隊は軍閥黨閥の勢威を飾らんが爲のものに過ぎない、そうしてそれが財貨で向背を左右にす、這次蔣介石の馮玉祥に勝てるが如き、是なるなからんや、之を外にして支那軍隊は、國內の賊徒討伐にさへ腕を示し得ぬ、素よりそれは神樂なればなり、況んや國防に之を使ふ、そこに何等の期待が出來ようぞ、といつて這次露國の攻勢が成功したを喜ぶのではない、支那側に無駄な抗鬪を止めたらどうかと勸めたいのである、止めても露國は不法を徹せまい、それには正理と云ふがある、正理の後には列國の監視があるじやないか。

私鐵、電氣事業の 認可許可を取締
貴院の政界淨化運動

【東京二日發電】貴族院各派間には疑獄事件頻發の醜狀に鑑し政界の根本的革正如何は豫てから種々論議されつゝあつたが政界腐敗の直接原因とも云ふべき選擧費問題は貴族院の逸早く指摘した處であるが更に疑獄事件の根源とも目せらるゝ鐵道並に電力に關する利權問題を嚴かに取締る機關を設け認可、許可事項の獨斷專行を許さゝらしむべしとの說が最近各派有力者間に擡頭し來り今や政界革正に關し貴族院には具體運動起らん形勢である

孝宮內親王様が御祖母陛下にお初めての御對面

孝宮和子內親王殿下には御健かにお肥立あらせられ去る二十六日宮中三殿を初めて御參拜あらせられ更に二十八日には午後三時五十分宮城御出門東御所の御祖母皇太后陛下の御殿にも初めて御訪問遊ばされた【寫眞は山岡御養育係に抱かせられ御退出の孝宮殿下】

汪駐日公使辭職
後任は日本通の張繼氏か

【南京一日發電】駐日公使汪榮寶氏は外交部に對し再度辭任を申し出た同部では氏に留任を勸告したが肯ぜぬため辭職を許可する事となつたが、後任は外交部の消息に依ると日本事情に最も明るい張繼氏を最も適任としてゐる【寫眞は汪氏】

選擧費の使途を 嚴密に調査
來るべき總選擧に

【東京二日發電】政界の腐敗、墮落の原因を爲すものは總選擧當時の不純なる行爲に基くものなるを以て普選法では第百二條に於て選擧費用を制限してゐるにも拘らず昭和三年に施行された最初の普選では嚴密に調査する時は代議士候補者中極少數の者を除き他は殆ど法定費用を超過せるもので選擧費用制限の規定は全く空文に歸した譯であるが愈々來議會が解散され總選擧となつた場合には安達內相は法定選擧費用の使途を嚴密に調査せしめ違反者に對しては斷然當選無効の處置に出で投票買收、利權誘導、饗應等の舊選擧戰術を用ゐる脫法行爲は徹底的に彈壓を加へ選擧の淨化を圖り公明なる政治の實現を期する方針である內務省調査の法定選擧費用概算は最高東京第六區の二萬二千百二十圓、最低東京第四區の七千百三十五圓で、全國平均額は一萬千二百四十二圓となつてゐる

製鋼所設置運動
けふ各方面代表會議

大連市會の決議により昭和製鋼所を大連市近接地に設置せんとする促進運動は昨今頓に氣勢を高めてゐるが二日午後三時より社會館に於て石本市長、村井會頭初め全市會議員區長、區長代理、商工會議所常議員等が協議會を開き、運動の趣意書作成、運動方法、常任幹事選任、實行委員選任等を決定することゝなつた

市議の自重待望
今の處警告などは考へぬ 田中民政署長曰く

大連市會の紛糾擴大せんとしてゐる折柄、監督官廳たる民政署では愼重に之が成行を重視してゐるが田中署長の意見を叩けば次の如く語る―
兎もかく困つた問題だが當署としては現在助役選任に行惱んでゐるとか、豫算編成難に陷つてゐるとかいふ譯でなく、眞相を聞けば聞く程デリケートなるもので純然たる市政問題とは可なり遠ざかつてゐる內輪の問題らしいから今のところ警告を發するといふやうなことは考へてゐない、各關係者が自重して圓滿に自ら解決することを望んで止まぬ

職制改正は明春
缺員の課長は近く補充する 豫算會議は中旬までに了る
大平滿鐵副總裁談

職制改正は大平前總裁案に基づき其後現總裁の手許に於て一部改正方の審議中であつたが一旦手を付けるとなれば根本的問題についても種々觸れなければならぬ點があり之がためには

相當日子 もかゝり而も總裁に於ては他に緊急決定すべき重要件案もあり勞々職制改正は其性質上今日明日を爭ふものでもないので其審議は一先づ打切るとなつた、更に之を再審議するか何うかは何れ明春總會終了後の問題で今何れとも決定してをらぬ、人事異動は職制改正とは別箇の問題であるが課長級で目下缺員となつてゐるのは東京支社庶務課長、奉天地方事務所長、興業部庶務課長（へ現所長太田雅雄氏は近く洋行不在になるため）であるが

其補充を せねばならぬ事情にあるので之に關連して多少の異動はある、職制改正問題は自分が東京で松岡君より引繼いだ關係があつたので研究を續けたが總裁としてはさう急いで改正せねばならぬなど思つてゐられなかつた、充分に研究して見れば現職制も前總裁案も最善のものとは思つてないからどうせ改正するとすれば、モ一歩理想的なものにしたいとは總裁も考へられてゐるやうである、そうなれば勿論時日を要することであつて

本月中旬 に京の豫定である總裁には引續き研究の餘裕がないので日を改めて更に研究しやうといふことになつた、之は去月三十日午後二時から同五時までの重役會議席上でさう決定した譯である、〆年度總豫算審議は二日中に終了し直ちに事業費豫算の方へ移る筈だが中旬までには昭和製鋼所問題を終了する豫定である、國際運輸の總會が延期になつたのは同社の內容が他の傍系會社と異つて複雜になつてゐるため斯かる機會に同社の內容を

總裁の耳 に入れたいといふことから書類を總裁にお目にかけたが該書類が總會前夜に自分の手許に屆いた關係で自然に遲れたやうな譯だ、多分一兩日中には開催すると思ふ

廣西反蔣軍 退却說
何應欽氏赴粤

【廣東一日發電】何應欽氏は蔣介石氏代理として重大任務を帶び本日午後極秘裡に來粤した、張發奎、廣西軍とも中央の廣東軍救援を聞き意氣沮喪し既に退却を開始したと傳へらるゝも眞相は尚不明である

ク翁追悼分列式

【パリ一日發電】先頃逝去したフランス元國務總理クレマンソー氏追悼の爲め歐洲大戰に負傷した元兵士約五萬は戰歿者招魂碑前に分列式を行ひ壯嚴の氣人を打つた、大統領ヅーメルグ氏及び政府大官は凱旋門の方より右行進を參觀し群衆も靜肅に休戰記念祭の氣分を示した

香港丸船客

【門司特電二日發】四日大連入港豫定のほんこん丸の主なる船客 諫早十吉、宮永梅三、堀謙、片桐九郎、勝本永次郎、瀬田少佐、藤原義江、井上健三、古山勝夫、小野寺直介、加藤宗吉諸氏

人事

▲高橋勇氏（正隆銀行常務） 上京中の處一日二十時半列車で歸連

大觀小觀

◇寒雨、一夜にして白雪、これ滿洲ならではない光景。
◇世界はかく淨化された。日本の政界も、大に淨化を期すといふ。
◇政界淨化のためには、何よりも制度、組織の改訂が肝要。
◇佐分利公使の死、いよ／＼自殺と決定したらし。
◇死ぬにも、時や場所、方法を研究してかゝらぬと、死後まで色々と噂が立つ。
◇厄介な世の中ではないか。
◇若槻全權、蘇の生一本で太平洋を乘り切らんとす。
◇軍縮會議の幸先よし。

天氣豫報

三日 北西の風雪や晴れ

日出	六、五四	日沒	四、三二	
滿潮	前	一一、一五	後	一一、四五
干潮	前	五、四五	後	五、〇五

各地溫度

	昨日最低	十一時
大連	零下六、二	零下七、七
旅順	同 四、〇	同 七、五
營口	同 四、九	同 九、一
奉天	同 五、一	同 一一、一
長春	同 八、八	同 一一、一

新年文藝・寫眞募集

恒例により昭和五年新春紙上を飾るべき文藝作品及び寫眞を一般讀者から募集します、左記規定により應募を希望します

短篇小說 一篇十五字詰百五十行、一名一篇以內、編輯局選

和歌、俳句、短詩、川柳 新年雜詠、和歌は一名五首、短詩は三篇、俳句、川柳は五句以內、編輯局選

寫眞 新年に適するもの、大さキャビネ以上、新聞掲載に適するもの一動題、干支に因めるもの、一名三枚以內、編輯局選

賞金 短篇小說一等三十圓、二等二十圓、三等十圓▲和歌、俳句、短詩、川柳一等五圓、二等三圓、三等一圓▲寫眞一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓

締切 昭和四年十二月五日限、總て「滿日新年文藝」又は「新年寫眞」と表記し、本社編輯局宛送附の事、應募作品は如何なる理由あるも返戾せず

滿洲日報社編輯局

雨！霰！吹雪！と變つて けさ遼東半島を襲ふ
大連の電車杜絶し除雪に大童 サラリーメンは交通受難

きのふの雨は午後五時三十七分に霰となり、同八時五十七分に雪と變り、それから引つゞき二日朝まで降りしきつた、爲めに久しぶりに全市は雪に飾られ、北風はその中に交つて冷たく午前十時迄は電車も途絶え、會社各商店へ勤務の人々は遠く老虎灘、星ケ浦方面から大連のセンターへ〳〵と吹雪の中を徒歩で通ふと云ふ有樣である、一方滿電の電鐵課では總員を繰出して電車を動かす爲め人夫を督して懸命の姿であるが、しかし星ケ浦、老虎灘方面は午前中は絶對電車の運轉出來ず、午前九時半頃漸く車庫を出、電車はぼつ〳〵空滑りし乍ら市内だけを辛うじて通つた、關東廳土木課出張所では道路雪掃除の人夫六百人を繰出して除雪に忙しい「雪の受難デー」である

發表では長春零下十三度八、大連は零下七度二だつた

入港船の見當もつかず 出船二の足を踏む
揉みにもまれ拔いた沖待船 物凄い大連灣の荒れ

昨夜來荒狂つた吹雪は殊に大連埠頭が物凄く、二日朝來、何と云ふ時化模樣だ、一寸先すら見分け難い眞白な海、一日午後七時頃より港內の展望は全然不能に陷り信號すら意の通りにならない、繫留船滿鐵曳船、水上警邏船、小蒸汽と云ひ小蒸汽はピッタリ岸壁にくついて離れない、北風に弄ばれ〳〵波濤がしぶきを揚げて

岸壁に 打つつける、そして昨夜から二日朝にかけて、沖待中であつた堤商會のでんまーく丸が午後九時半、同じく大汽の天祐丸が十時半ごろ北風のためにひきづられて危ふく防波堤に打つけるところ漸く自力で長門町に避難し寺兒溝沖にあつた政記公司の成利號はこの難を逃れんとあせつたが沖に脫出できずやむなく防波堤內に逃げ出した、何れも人畜に異狀の無かつたのがせめてもで、入港豫定の奉天丸を初め勝浦丸、南都丸等十數隻も何時入港するか見當がつかない、一方出帆豫定の船もこの

難航を 見越しての出帆にと は二の足を踏み朝からまだ一隻も出入港船がないといふ始末、霧笛信號が絶え間なく港內に鳴り渡り信號所では「今沖に何隻入つてゐるか少しも見當がつきませんよ」

積雪六寸五分 氷點下七度二
あすは天候も恢復しよう 大連觀測所員の話

大連觀測所では今日の雪に就いて昨日黄河流域に七百六十六ミリの低氣壓が東進してゐたが、これが遼東半島へ向ふまへに、蒙古から大陸高氣壓七百七十八ミリが優勢となつてこれを防ぎ、爲めに低氣壓は停滯し雨となり霰となり、雪と變じたもので午前十一時までに大連觀測所に達した雪の情報は遼東半島一圓は七、八メートルの風雪で大連附近の雪の量は二〇、三ミリメートル、積雪は一七センチメートル(六寸五分)なほ滿洲奧地は天氣恢復し曇天、青島方面は雨で明日は天氣も恢復するであらう尚溫度は午前十時半大連觀測所の

御母陛下と聖上御會談
東御所に行幸

【東京二日發電】天皇陛下には午後二時自動車御鹵簿にて青山東御所に行幸、皇太后陛下に御對面のうへ御久々にて御親子御睦まじき御會談あらせられ午後三時半同御所御出門還幸あらせられた

澄宮御誕辰のけふ御內宴

【東京二日發電】澄宮崇仁親王殿下は本日を以て滿十四歲の御誕辰を迎へさせられたが、緊縮の折柄とて特別の御催し等もなく御平素通り學習院に御通學あらせられ來る八日の日曜日に青山御殿で御內宴を催させらるゝ筈

列車は延着

降雪のため二日午前七時五十分大連驛發旅順行列車はポイントに故障を生じ同十時十分より運轉し尚

雪に閉された大連市內の雜觀

【上】急造の除雪自動車の活動 【中】滿鐵本社前から大廣場までつゞいた電車の立往生 【下】轉びながら登校の小學生

奧地より到着すべき列車は何れも二、三時間延着した

大連金州間の電話線不通

二日の大吹雪のため午前八時大房身南關嶺間の電話線不通となり漸く午前十一時十分より二番線のみ開通したが一番線は午前中未だ開通に至らない、このため大連金州間は通話不能であつた

海上警邏
水上署が懸命

鮮米の降雪に海上關係で何時事故が發生するやも知れずと水上署においては滿鐵船舶と連絡をとり海上警邏に懸命で、二日正午までに判明した分は一日午後十時ごろ北大山通海岸で戎克が沈沒したが幸ひ死傷者を見なかつたと尚引續き警戒中

儲けを拾つた
タクシーと石炭屋さん 商店は休業も同樣

午前十時頃やつと電車が繰出されたがしかし吹雪の爲め空滑りして矢張り立往生のていである、電車は役に立たず馬車は滑り、俥は進まず、そこで自動車が大繁昌と云ふ有樣、午前八時から十時にかけて、氣の利いた會社員、官吏は殆ど自動車々々と云ふ騷ぎ、思はぬ儲けである、自動車屋さんと石炭屋にとつて今朝の吹雪は大福神である、なほ市內の各商店も吹雪の爲め休業も同樣、この吹雪ぢや物を買ひにくる人もなく、又賣りにくる人もないと云ふのだ、通行止めの吹雪は今日一日幅を利かせるわけである

雪に妨げられて衝突事故頻り

一日午後一時ごろ大連奧町三十番地先き十字路に於て大山通り一六實用タクシー運轉手金容九(二〇)の自動車と常陸町一三六大輪タクシー運轉手姜成王(二〇)の自動車と鉢合せ更に姜の自動車は路傍にあつた手挽車に三重衝突し自動車は双方泥除けを破損し手挽車は約五十圓の損害を受けた◇

人力車や馬車賃の値下げを愈よ斷行
大連警察署の警告に應じて 組合役員會で決定

不景氣と緊縮の風が巷を吹く昨今且つは小洋も暴落してゐるし大連署ではコウした四圍の大勢に鑑し人力車、馬車賃も値下げを斷行するのが當然ではあるまいかと人力車、馬車組合に對し値下げ方警告を發する處あつたが、同組合に於ても市民の福利向上のため、値下げするのは止むを得ざるものとし、役員會を開き討議の結果、先づ人力車は現行賃金を標準として▲十錢以下現狀維持▲十五錢以下五分▲二十錢以下一割▲二十五錢以下一割五分▲四十錢以下二割▲四十錢以上三割▲一日傭ひ切り二割の値下げ、馬車賃は二人乘り現狀維持、三人及び四人乘りも二人乘りの賃金とし、一日傭切りは現行賃金の一割値下げを各斷行すべく決議し二、三日中に細目賃金表を作製し大連署へ屆出る事になつたと

自動車の衝突

一日午後一時頃奧町のカフエーリリー前の三叉點で實用タクシーの乘用自動車(金容九操縱)と愛輪タクシーの貨物自動車(姜成玉操縱)とが側面衝突を爲し兩車とも被害は殆どなかつたが附近にあつた手挽貨物車三臺を破壞し四五十圓程度の損害を與へた

東大天文臺のアインスタイン塔完成
世界にタツタ二つの新施設

【東京二日發電】府下三鷹村の帝大附屬天文臺に豫て建造中の素晴らしい天文臺アインスタイン塔がこの程殆ど完成愈々來春三月頃から天際觀測を行ふ事となつた、此のアインスタイン塔はドイツとこの三鷹村と世界に二つしかない新施設で、高さ十八米突の鐵骨鐵筋コンクリート建、その上部には直徑五百六十糎の反射鏡と四百五十糎のレンズが設備され太陽の動く方向に從つて移動して天體を觀測し或は又このレンズを通じて塔下の地下室に光線を導き天文學的觀測が行はれるもので、來春を期して早乙女臺長を中心に新研究が始められる筈で其の成果は早くも斯學界の注目を惹いてゐる

佐分利公使 他殺の疑ひ解く
拳銃は正しく右から撃つた きのふの解剖結果

【東京二日發電】佐分利公使の遺骸は二日午後二時四十分より帝大に於て宮永、田村兩博士執刀の下に行はれ綿密周到なる解剖をなして四時半終了したが、解剖の結果は彈は右耳上五、六センチメートルの箇所より殆ど一直線に腦を貫き、左の

二日午前六時ごろ大連大和町電車停留所北方に於て春日町三大連タクシー運轉手閻壽治(二七)の自動車と櫻町八〇滿洲牧場牛乳配達ご劉立功(二〇)の手挽車と衝突し手挽車を破損した上牛乳瓶三十本を粉碎し鉄入團の損害を蒙らしめた◇

二日午前八時廿分三號系電車百廿九號は埠頭まで運轉したのはよかつたが港橋畔で脫線し午前中に復舊の運びに至らないだらう

旅順驛構內では機關車脫線顚覆
交通、電燈にも大支障

一日朝來旅順管內を襲つた暴風雨は午後一時すぎから大吹雪と變り二日朝は五寸の積雪を見て銀世界となつたが、この大吹雪のため交通電燈に大支障を來した、一日午後十時廿五分旅順着列車は旅順驛機關車構內にて方向變換の際降雪のため第三ポイントの故障で脫線顚覆した

一旅順全市暗がり
發電所故障や電柱倒潰で

二日午前七時卅分旅順發大連行列車は約一時間發車遲延した外、二日發着の各列車は何れも約一時間の遲延となつてゐる、一日午後一時頃旅順源寶町發電所ではスチームパイプ爆發し修理のため約二時間餘に亘り停電した、日曜日の晝間送電なく各家庭及び興行場では何れも不自由を感じた、午後十一時すぎ突風のため旅順刑務所及び土屋町重砲兵隊兵舍前方の電柱倒壞し送電線に故障を生じ全市約一時間暗黑となつた

欄干に衝突 自動車顚覆

一日午後八時二十分旅順淺見町驛前タクシー運轉手德島萬九郎は客四名を乘せ新市街より舊市街に向ふ途中日本橋々上にて吹雪のため橋の欄干に衝突し右側に顚覆し窓硝子四枚を破壞したが乘客に被害はなかつた

滿電バス立往生
けさ鹽廠屯で

二日午前九時大連發滿電バスは九時五十分鹽廠屯に於て吹雪に閉ぢこめられ午後一時すぎに至るも旅順に到着せず、旅順及大連兩滿電バス事務所より應援自動車數臺を派し救援中であるが午後のバスは運轉中止のやむ無き狀態である

耳上部後頭部より七、八センチメートルの箇所に拔けてゐた、彈に依り腦の

横傷は 右から次第に斜に下がつてゐる點等與論銃創の特徵を示してゐるので全く自殺であることを立證するに至つた、なほ二十九日夜宮永博士檢證の際左後頭部の頭髮が焦げてゐたので左から射入したのではないかとの疑ひを持つに至つたが、頭髮の焦げてゐるのは他の部分にも二、三箇所あり結局理髮屋のワックスの如きもののために出來たものであらうとの意見に一致した右につき江口搜査課長は語る

彈が左から射入されたのではないかとの說が今度の自殺他殺兩說を決しかねた

重點で あるから、一日の解剖に依つて明かに右から射入されたことが立證され、今まで自殺說を否定してゐた點は覆へされ全く自殺と決定さるゝに至つたのである

盛り返した國庫獻金
續々大口が殺到

獻金熱も一時冷めた感があつたが去る二十八日以來更に續々と集りつゝあるが、そのうちには千五百九十圓大連醫師會、八百七十八圓二十三錢滿洲旅館會社、三百五十八圓金光教信者十名等々の大口のものあり、これは經濟國難來の考へが遺憾なく各方面に浸潤し、根氣よい消費節約になつた現はれに外ならぬ、因に二日正午までの獻金者左の如し

三圓十五錢滿鐵電氣修繕場有志▲百圓聖德街一ノ七八故藤田右馬彥遺族▲三百圓高岡又一郎▲四圓三十一錢大廣場小學校五年女子組一同▲三十圓八幡町三五木村寛▲四十圓乃木町一ノ三ノ四河內幸三郎▲十圓同河內正夫▲十三圓春日小學校五年松本益太郎▲千五百九十圓大連醫師會辻慶太郎外六十四名▲八百七十八圓二十三錢滿洲旅館會社▲九圓十九錢彌生高女一年櫻組一同▲三百五十八圓金光教信者十名▲十五圓五十錢山城町修養會員一同▲三圓磐城町有滿市二

星ケ浦の電話區域

星ケ浦に至る遞信局所管電話線路は大連富士の後方山麓を縫ふて龍ケ岡淨水池附近を通過し星ケ浦水明莊附近に出て居るが、右電線路の沿道には多數の人家があり、牧場もある人經營の農園、牧場があるに拘らず電話加入區域外として取扱はれて居たので、この不便を除去するため臺山町の在來加入區域境界から電線路の兩側各二丁を加入區域內に編入、星ケ浦加入區域に連絡せしめ星ケ浦と同樣料金特定地として十二月一日から實施した

飼犬まで轢く

三十日午後二時五十分大連春日町五四大連タクシー運轉手于天家(二〇)の自動車は春日町より若狹町に到る可く逢坂町稻荷神社西側老虎灘街道に差し蒐つた時、その直前を横斷せんとした對馬町五四琵琶修繕業中重太郎の飼犬をバンパーで轢き倒し死に至らしめたが、右犬はドイツ種セパードで今年のセパード倶樂部で三等に入賞し時價二百圓に相當するものであると

兒島幸吉氏

大連製氷會社々長兒島幸吉氏は郷里鳥取市において宿痾の胃癌のため一日午後一時死去、享年七十二歲、三日午後二時半から常安寺において追悼會を執行すると

輸送費を引上げ正貨流出を防止
解禁後に於ける大藏當局の對策

【東京二日發電】來年一月十一日金解禁實行後に於て金流出原因となるべき事項は

一、金融關係に依る海外投資
一、貿易の入超その他に因る海外支拂

の二つが擧げられるが、右の内一の海外投資は過般來英、米兩國の金利低落傾向となり我國の金利に鞘寄せして來たので利鞘稼ぎを目的とする海外投資は不可能となり殊に我國の

外債公債 の如き變動多き物は掛く銀行、信託會社などが有利に買漁ることは出來ない有様に在り、從つてこれを原因とする金の海外流出は當分懸念する必要はない、併し二の海外支拂に要する金の流出については時節柄十二月下旬または來年一月上旬からは入超となり、且つ解禁見越しで手控へられて來た棉花その他原料品も

相當巨額 に上つてゐるので如何に內地で消費節約が行はれても來年上半期入超は相當の額に上るものと見られ、ために解禁後の爲替相場は當分四十九ドル八分の七の平價を期待するは不可能で大藏、日銀、財界一般は正貨現送は內外に在るものと觀測してゐるのみならず、金解禁準備のため本年下半期の出超期にて政府が弗の買上を行つた結果來年上半期の輸入期に備ふべき爲替銀行の海外準備は例年に比し

餘程手薄 となつてゐるものと見られるので、今後の貿易狀況如何に依つては爲替銀行で正貨の現送をなすか、または日銀に在外正貨の拂下を要求するもの相當現はれる模様で今後の爲替市場に重大關係ある日銀の方針は正貨擁護の見地から船會社、保險會社と協調し正貨現送費を出來るだけ引上げしめ、また在外正貨拂下價格は拂下げ要求者の資金關係等を考慮し辛うじて

正貨現送 を差止む程度に定むる由で、その拂下げ價格は正金の建値に據らず拂下げ要求者の資金信用に據るであらうと見らる

愛知縣當局と郵商船啀み合ふ
大汽への二萬圓補助に絡み 縣は斷然補助主張

【名古屋特電二日發】大連汽船の名古屋港大連間の直通航路に對する愛知縣の補助金二萬圓の繼續問題に就ては郵船、商船側では飽迄大連汽船に對する偏見的な補助だとし尚「若し我々に補助を與ふれば同じく運賃を低減することが出來る、國家が補助して從來我々に開かせて居た定期航路と運賃がある事に拘らず大連汽船に補助を與へて運賃を低下させたは不穩當である」と云つて居るが縣當局では

一、今日大連汽船の命令航路を撤回すれば名古屋大連間の航路は郵、商船に獨占される憂あり
一、縣と滿鐵との默契である名古屋岸壁を滿鐵によつて築かせしむるために滿鐵の傍系會社である大連汽船と名港との鐵を切ることは出來ぬ
一、若し大汽の大連名港間の直通航路が無き時は滿洲より輸入する大豆、豆粕飼料は輸入船が先づ入港し易き四日市に入港して然る後に名港に入る關係上これらの輸入業者は商機を逸する惧れがある
一、滿洲に於ける商貿の實權は輸入組合が握つて居るがこの輸入組合は滿鐵の後援にて成立して居る以上滿洲に於ける愛知縣商品の殺活權は滿鐵の手にある、從つて一度これを敵とせば縣商品は完全に滿洲より驅逐される
一、現在縣の補助金を受くるが故に大汽を始め各社は競つて運賃割引、割戻しを縣下輸出業者になしてゐるが一度此の補助を打切れば大汽は滿洲の荷受主に運賃の割戻をなし荷受主に大汽船に積込を指定させることゝなり結局縣下の輸出業者の手に入つた割戻金は彼地の商人に奪はれ運賃の高騰便船の不利と併せて出荷主は甚しく不利益となる

との理由により大汽に對する二萬圓の縣の補助は斷じて撤廢せず寧ろ二萬圓は少量に過ぎるとの意向を以て居る

經濟雜叢

上海に於ける在銀高の增加
幣制改革を見越し 思惑買進みが增加の原因

（二）

即ち茲六ヶ年の內一九二四年度を除けば毎年五、六千萬兩宛銀が支那に輸入されて居るが昨年は略其倍額に達し一億六百萬海關兩であつた之をオンスに換算して見ると一億二千八百萬オンスに當り實に世界中の平均年產額の五割五分をシナが買入れたと云ふ結果になる、而して今年の輸入數量は未だ公表されたものはないが當行の調査に據ると一月以降九月迄に既に八千九百萬オンスに上つて居り昨年度に匹敵し得るやうな數字である、斯くの如く在銀高と銀輸入額とを照合して見ると過去數年間に亘る在銀漸增の狀況が良く反映されて居り殊に昨年から今年にかけての著るしい在銀高增加が銀塊輸入の影響にあつたことが首肯される。

◇

上海の在銀高と云ふのは上海に於ける內外各銀行の手許にある現銀在高を合計したものであるから其內には預金準備もあれば發行紙幣に對する正貨準備もあり又思惑的に保有せらるゝものも含まれて居る、故に印度に於けるが如く銀のストツクとは多少意味が違つて居ることは注意を要する、今最近に於て中央、中國兩銀行が發表した各自の正貨準備高を示して見ると（單位千弗、中央銀行は一九二九年九月廿日現在、中國銀行は一九二九年九月廿六日現在）

銀行名	紙幣發行高	正貨準備金
中央銀行	二三、一三五	一一、七〇三
中國銀行	一一〇、九六八	[illegible]
總計	一三四、一〇三	[illegible]

即ち兩行だけでも正貨準備は六千萬弗に上り其他交通銀行以下の分をも之に加ふれば優に七千萬弗に上るであらう、之等は理窟から云へば別口勘定にすべきものだらうが實際は上海在銀高の內に含まれて居ることを考慮に入れて置く必要がある、つまり紙幣の發行額が殖えればそれ丈け在銀高も增加することになる。

◇

在銀問題は在銀高增加の原因であるが之に關して十月二日のフイナンス・アンド・コンマース（上海の支那金融雜誌）は論說に於て次の如く云ふて居る。

支那政情の不安、土匪及び不良兵士の掠奪を恐れる爲めに奥地の商民は手持現銀を努めて上海に蓄積して居る事實が認められる、又昨年中支那の平定と共に實業家は幣制改革の實現を信じた、而して之が確立後は銀貨の所要額激增すべく自然銀相場の昂騰を見る可しとなし投機業者は之に追隨して一齊に強氣見越で思惑買入れに精進して來た、然るに豫期に反して政界は再び不安狀態を呈し廣東造幣廠は一時弗銀鑄造を中止することゝなり幣制統一も簡單急速に出來さうもないので銀はダブ付て居る此等の原因が上海市場における在銀高激增を示したのである

右は全く當時に於ける支那財界の僞相を穿つたものと思はれる、即ち首都南遷の結果北支の市場荒れ天津方面から却つて現銀が上海市場に回歸した金額は少くなかつたやうだ、又戰時破壞の時代から平和建設の時代へと一歩を進めた民國政府は中國經濟根幹を培ふ金融制度の改革に手を染め中央銀行の設立、次でアメリカからケンメラー氏を顧問に聘して幣制確立の具體化を計り先づ上海造幣廠の開設案をたて廢兩改元を喧傳したので商民は今にも之が實現を見られるものと信じた、即ち其頃には鑄造用の銀は必ず多額を要すべく中には支那の人口を基礎に四十億弗と計算する如き極端なる者もあつた、故に比較的安價にある銀塊を今の內に買入れて置けば乾脆儲かるだらうと云ふ人氣作用に刺戟されて大なり小なり銀の手持をしたと云ふ事は否み難き事實であつたらう（正 銀行調査）

正隆の前途は頗る樂觀出來る
內地は金融と企業が不調和 高橋正隆常務歸連談

安田保善社と業務打合せのため上京中であつた正隆銀行常務高橋勇民は一日午後八時半着列車で歸連したが財界當面の問題其他に就き左の如く語つた

◇

正隆の 業務發展に就き種々畫策する處あり今回も保善社を始め各方面と打合せて來たが未だ具體的發表までには至らない、然し途上にある正隆といへど將來必ず何事かを成す考へで前途は頗る樂觀してゐるが、何しろ現在の如く有り餘る金を金庫に遊ばして置くやうではいかぬ、金は死物で之を有意義に活用せねば金の尊さはない。この謎のやうな言葉はやがて具體的に示す時も來るであらう金解禁もいよいよ明春早々

斷行さ れるに決し、內地財界は異狀な緊張を示してゐるが準備時代は既に過ぎ解禁後を如何に善處するかゞ當面の問題だ、これには先づ解禁後正貨流出に就いて考ふべきで、貿易の近狀から推察し通常の國際貸借決濟の爲めに正貨の流出をさまで多額に上らせるやうなことはあるまいと思ふ、また資金移動の關係は今日まで爲替思惑資金の流入せる額は比較的少額に止まつてをり、同時に英米金利の低下に伴ひ內地資金を

海外に 移すが如き危險も餘程除かれた譯だ、從つて正貨流出による內地金利の昂騰も案ずるほどの事もないと信ずる、而して解禁により我經濟はその常道に復し經濟上の法則に從ひ自然物價及び通貨の調節が行はれるであらう若し我國財政が再び不當の膨脹を來し消費節約が行はれぬが如きことあらば國際貸借の均衡を失して輸入超過の增加正貨の

流出等 の事態を招來し、この結果通貨の收縮を見、財界の萎縮をより深刻ならしめることゝなるから國民の消費節約は之からが本腰で、今までのは、金の解禁準備に外ならなかつたのである、內地銀行は資金の偏在に苦んでゐるが企業に對する正當な金融は更に顧みられてゐない換言すれば金融と企業――この兩者の步調が少しもとれてゐない、故に今後は實質の上に今一段の改善が必要であることを痛感した次第である

對滿砂糖取引皆無
糖業者苦境

【京城特電二日發】滿洲向輸出砂糖は毎年特產出廻り前後に大口取引を見る例であるが、本年は極度に不況で最近までの大連沖白糖ザラ一印七圓八十錢見當の相場も取引皆無の現狀である、之が原因は銀相場の慘落步調の前途が更に深刻を氣構へられてゐるためであるが滿洲方面からの注文杜絕により各製糖會社は朝鮮原糖による製品多量の在庫に非常に苦慮に立つてゐるもの如くである

經濟往來

早く坊主になれ……財界不況、顧產物……家賃値下げ、敷金撤廢、或は自轉車税撤廢等々の運動は日を追ふて全國的に熾烈の度を加へつゝあるがこれは又佐賀縣に毛色の變つた運動が起つた、と云ふのは佐賀市內の七十五名の理髮業者が營業税三割減を叫んで知事、縣會議長に陳情書を提出、この運動は縣下八百餘名に波及せんとして居る今の內にクリクリ坊主に剃つとかねば床屋さんが罷業でも起したらそれこそ大變だらうと。

◇

出來たら二番目……目下五十萬圓の株式會社組織で下關、門司間に自動車航送船會社を計畫中であるが現在貨物列車をそつくりそのまゝ船に積んで航海する貨車航送船の如く貨物自動車を始め一般乘客を乘せた自動車そのまゝを船に積んで關門を渡らんとするもので明春早々開業の豫定である、現在自動車航送船はニユーヨークにある許りで、これが實現の曉は世界第二番目になると大いに力んで居る

對歐市況は慘落 近海は軟弱保合
十一月中の海運界

大連港を中心とする十一月中の海運界の市況を概觀すれば左の通りである

近海市況 依然とし船腹過剩の影響を受け氣配軟弱なるを免れなかつたが、月半以後新穀の出廻り增加を眺めて幾分の季節的市況を現出し內地各港共に運賃一錢方の騰貴を示し、阪神豆粕八錢、橫濱九錢にて多少の成約を見たが氣配は大體弱保合を辿つてゐる

對米市況 雜穀の引合平調只先物に對する豆油の商談相當にあつたが內地魚油の引合旺盛なるに押され好適タンクの供給不充分なりしため成約數量は二千噸內外に過ぎなかつた

對歐市況 月初は尙運賃先高氣配可成り濃厚であつたが先月以來ロンドン市場に於ける滿洲大豆の先物滿船積契約連續的に締結せられ、尙大型船腹の供給潤澤なると既約數量略々大陸需要を充滿したるため氣配漸次軟弱に陷り、月半に於て運賃率は未曾有の崩落を示し期近物二十志前後と云ふ臨時滿船物採算點以下の運賃率を現出した、その結果ロンドン市場大型船腹の引合一時影を潜め月末はこれがため運賃市況幾分緩和せられ近物二十二志、先物廿五、六志にて越月した

州內の硬化油
製產頓に活況

關東州內に於ける大豆硬化油は過去數年來順調な業績を辿り、製造高の大半は日本內地に仕向けられてゐるが昨年特惠關稅が實施されて一躍二百萬斤を突破するの盛況を來たし、即ち過去五年間の製造高及び內地仕向高を示せば左の如し（單位斤）

	製造高	內地仕向
大正十三年	一、〇四七、七〇〇	八六一、一〇三
十四年	一、一六〇、三三三	八四五、一四〇
十五年	一、三四〇、五六〇	一、一三六、六〇四
昭和二年	一、七六二、八六九	一、五九二、五三八
三年	二、九六八、七三五	二、三六九、六〇九

而して本年製產豫想高は昨年と大差なき見込みで二百四十萬斤を下るまいと見られてゐる

ハルビン地方に於ける最近の林檎の需給狀況
目醒しい朝鮮產品の進出（下）

◇…次に哈市に輸移入さるゝ林檎の產地並に其の消長に就いて見るに

イ、哈市に輸移入さるゝ林檎の產地　哈爾賓に輸移入さるゝ林檎は(一)內地產（北海道及青森地方產）(二)南滿產（關東州及南滿熊岳城產）(三)支那產（山海關方面產）(四)朝鮮產（鎭南浦、黃州方面產）とす

ロ、哈市輸移入林檎の消長　上記四地方產品の輸移入趨勢を見るに明治四十一二年頃迄は內地產が獨占狀態を示したるも明治四十三、四年頃より急速の發展を示したる朝鮮產林檎が大正三年頃より漸次市場を蠶食し遂に今日の盛況を示すに至り、更に南滿產品も市場に現はれ市場は滿鮮產品によつて左右さるゝの狀況である、今各地產林檎の輸移入數量を示せば次の如し（一箱正味四貫匁入單位百箱）

	十年	十二年	二年	三年
朝鮮產	一〇五	三一〇	六六六	七三二
南滿產	一五	一〇	一〇	四〇
內地產	一五	二五	一五	[illegible]
支那產	一二〇	一一〇	一四〇	一一〇
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇…次に需要割合、及市價を示せば左の如し

需要割合	支那人	日露人其他の消費	計
朝鮮南滿及內地產	五〇%	五〇%	一〇〇%
支那產	五五%	四五%	一〇〇%

錢信良績
手數料廿萬圓

大連取引所錢鈔信託會社今期の出來高は九億七千五百七十九萬五千圓にして、この手數料收入二十萬九百四十四圓にして、これを前期の出來高四億四千七百四十萬五千圓に比すれば五億二千八百三十八萬圓の增加で二倍強に當り、開設以來の記錄を示して頗る活況を呈した、勿論前期は幾分寂寞の感ありしとは云へ金解禁といふ唯一の目標を控へての市場は今期當初以來毎月一億圓以上の出來高を示し殊に九月の如き二億三百萬圓の出來高である、今、今期における出來高及手數料を月別に示せば左の通りである（單位圓）

	出來高	手數料
六月	一三五、七一〇、〇〇〇	[illegible]
七月	一七二、七五五、〇〇〇	[illegible]
八月	一四四、一〇五、〇〇〇	[illegible]
九月	二〇三、〇〇〇、〇〇〇	[illegible]
十月	一八一、一八〇、〇〇〇	[illegible]
十一月	一三八、八〇五、〇〇〇	[illegible]
合計	九七五、七九五、〇〇〇	二〇〇、九四四

黃塵

◇…臘月朔日朝來の雨は夜に至りて雪となり、一夜にして燦爛の都を白銀の世界と化す。

◇…雪の果報もさることながら除雪費に萬金を費す都會の雪はあまり有難くもなし。

◇…二日朝積雪は東洋一を誇る大連市街の道路を埋め電車は運行停止馬車小車又動かず自動車のみ吾世界顏に活躍す。

◇…ラツシュアワーに電車の不通と來ては學童や勤め人は堪つたものでない。

◇…高い電燈料で儲けてゐるのだから電氣會社もラツセル式の除雪車位は用意して欲しいものである。

市況

特產　材料薄で一般平調

依然差したる新材料もなく各品共に平調大引であつた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	六六八〇	六六九〇	六六七〇	六六八〇
一月末	六六五〇	六六七〇	六六四〇	六六六〇
二月末	六六九〇	六六九〇	六六八〇	六六九〇
三月末	六六一〇	六六二〇	六六一〇	六六二〇
四月末	六六二〇	六六三〇	六六二〇	六六三〇
出來高	百七十七車			

▲三等大豆（出來不申）

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	三三八〇	三三八〇	三三八〇	三三八〇
一月限	三三七〇	三三七〇	三三七〇	三三七〇
一月末	三三七〇	三三七五	三三七〇	三三七五
二月限	三三九〇	三三九〇	三三九〇	三四〇〇
三月限	三三〇〇	三三〇五	三三〇〇	三三〇五
出來高	二萬八千枚			

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一八一〇	一八一〇	一八一〇	一八一〇
一月限	一七九〇	一七九〇	一七九〇	一七九〇
二月限	一七八〇	一七八〇	一七八〇	一七八〇
三月限	一七八〇	一七八〇	一七八〇	一七八〇
出來高	五千箱			

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	四二五〇	四二五〇	四二三〇	四二三〇
一月末	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇
二月末	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇
三月末	四二〇〇	四二一〇	四二〇〇	四二一〇
四月末	四二五〇	四二六〇	四二五〇	四二六〇
出來高	百四十一車			

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	六四五〇	六四六〇
出來高	百車	
普通大豆（袋物）（裸物）	六三九〇	六四〇〇
出高	十二車	
豆粕	二一六五	二一七五
出來高	三萬枚	
豆油	一八五〇	一八五〇
出來高	六千五百箱	
高粱	四二五〇	四二五〇
出來高	二車	
包米（出來不申）		

◇定期喰合高（卅日帳入）（前日對比較△印減）

	喰合高	前日對比較
大豆	五五二四車	△九四車
高粱	三二二七車	△一二車
豆粕	四五九三千枚	一二二千枚
豆油	二四六〇百箱	二〇百箱

錢鈔　材料區々で鈔票保合

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は廿二片十六分の九と（同事）先物は廿二片十六分の十一と（同事）紐育は四十九仙十六分の十三と（八分の一安）孟買は五十一留[illegible]と（同事）滬申は一〇二五、[illegible]は六十九兩八錢、洋は百一圓六十錢、日米弗[illegible]八分の七と（同事）米日弗十六分の十五と（同事）米支は[illegible]十六分の十一と（十六分の一安）標金は四百三十兩七と寄六と止め常市の銀價は保合[illegible]

◇定期取引（單位[illegible]）

◇現物取引（單位[illegible]）

商品　前場

麻袋（睨り）[illegible]

市場電報（二日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	二二片十六分九
同 先物	二二片十六分十一
紐育銀塊	四九仙八分三
孟買銀塊	五一留比十六分十一
英米爲替	四弗八七仙卅二分九
米日爲替	四九弗十六分十五
米支爲替	五三弗四分三

棉花

●米棉（換算二〇錢安）

現物	一七仙三五
十二月	一七仙一〇
一月	一七仙二〇
三月	一七仙三九
五月	一七仙六〇
七月	一七仙六六

●印棉

ベンゴール	二三六留比
ヴローチ	三二七留比
オーラム	二七七留比

株

今朝北濱の寄は諸株共東短期も寄同事乍らアト強氣配を入れ當市も依然として鞘商內ではあつたが五品は一二十錢高と引締つた▲下旬貿易も出超を示した貿易の好調は爲替關係による輸入手控へで金解禁前の一時的現象ともみられてゐるが入超期に面しての好勢はヤハリ歡迎すべき材料であらう▲只政界が尙暗雲低迷の狀態にあるから株界も雲行注視の姿で氣迷ひを免れないがこれもどうやら內閣改造で一段落の形である▲市場の人氣が飽くまで警戒を緩めないところから相場も不冴へのやうにみへるが貿易の順調國際貸借の改善政局の安定見越し等で目先一相場ありそうな氣配である。

◇定期

銘柄	約定期	値段	株數
福助	一月限	一八九六	一〇〇
同	同	一九〇〇	一〇〇
同	二月限	一九〇〇	一〇〇
同	同	一八九九	一二〇
同	三月限	一九〇四	一〇〇
同	同	一九一七	一〇〇
同	同	一九一八	一一〇
出來高		四百二十株	

事銀票保合に地場は氣配變らず定期は相當手合せがあつた

十錢高鐘新二十錢安出來高定期百廿枚現物二百枚

豆

休日明け今朝の定期は依然差したる新材料も無く各品共に平調大引であつた譯ではないが二三錢方の戾しを見せた▲尤も大豆は新材料が現出した昨日よりも六十二車の減少である▲今朝大豆の出廻りは混保品百九十三車、非混保品二百六十四車で合計四百五十七車で前年、成發東、興記、鼎新昌で七十車▲現物大豆は油坊三十車、豐で三萬枚、豆油は三菱で六千五[illegible]

株式　內地株小締に五品睨り

[illegible]

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株新	一五九三〇	一六〇三〇
鐘紡新	一	一
日糖	一	一〇一三〇
郵船	一	六〇三〇
東新	一一四〇〇	一一四〇〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株新	一三五三〇	一三四二〇
五品 當	一	一三六〇
五品 中	一	一
五品 先	一三四〇	一三五〇
豆新 當	一	一
豆新 中	一	一
豆新 先	一	一
同（短期）東新 寄値	一一三六〇	五品 一
引値	一一三七〇	一一三五〇
高値	一一三〇〇	一一三六〇
安値	一一三三〇	一一三〇〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二六三三	二六三二
中限	二六九九	二六三〇
先限	二六一二	二六二九

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二六六〇	二六四〇
中限	二六六六	二六五五
先限	二六七七	二六六〇

大阪綿糸

	前場寄	前場引
十二月	一八九〇	一八六〇
一月	一八九〇	一八六〇
二月	一九〇三〇	一八九三〇
三月	一九〇七〇	一九一三〇
四月	一九二九〇	一九一七〇
五月	一九二三〇	一九三三〇
六月	一九二四〇	一九二一〇

大阪棉花

	寄付	大引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

神戶豆粕

	前場一節
當限	一六四〇五
先限	一六六五

橫濱生糸

	前一節	前二節
十二月	一一三八〇	一一二四〇
一月	一一三八〇	一一三二〇
二月	一一三八〇	一一三二〇
三月	一一三二〇	一一三〇〇
四月	一一〇四〇	一一〇四〇
五月	一一〇四〇	一一〇一〇

印度麻袋

鐵筋直積	三五留比三分一
青筋直積	四〇留比十六分九
爲替相場	一三留比四分三

錢鈔

▲小麥

哈爾賓	
十二月限	二、〇四七
一月限	二、一〇四
二月限	一

奉天（奉票）現物 / 先限	[illegible]
大洋票 奉天現物 / 定期	[illegible]
開原（奉票）現物 / 先限	[illegible]
同（鈔票）現物 / 先限	[illegible]
安東 鎭平銀 近期 / 遠期	[illegible]
哈爾賓（大洋）現物	[illegible]

手形交換高（二日）

金	一、一五〇枚 / 二、〇四八、五〇九圓
銀	一、一三〇枚 / 三、八二八、〇九七圓

鮮銀券發行高（一日現在）

發行總額	[illegible]
正貨準備	[illegible]
保證準備	[illegible]

上海爲替情報

【上海二日發電】住友銀行調爲替を外目外銀行は外貨を買ふ、英米煙草のデマンド、七萬磅あり金志豐永物品納買ふ爲替高値外支銀行賣氣に伸び惱み氣迷の三井銀行は十二月限標金現物二千八百條、本日中に受ける筈で賣方の大手永昌利は破產、自殺せしも受渡しには影響なし

上海標金

寄付	四三〇兩七
高値	四三一兩九
安値	四三〇兩六
大引	四三一兩一

爲替相場（二日正午）

正金（銀建値）

日本向參着（錢買）	八圓三〇
同 十五日拂	八圓三〇
上海向參着（錢買）	七七兩九七
紐育向電信買（金貨）	五六弗二分一
倫敦向電信賣（金貨）	一志六片十六分十一
同 二ヶ月買	一志七片八分三

正金（金建値）

倫敦向電信賣（圓買）	一志七片十六分十一
同 二ヶ月買	一志七片十六分十一
紐育向電信賣（百圓）	四六弗二分一
上海向電信賣	[illegible]
日本向九十日拂買	一〇四圓二五

鮮銀（金建値）

日本向電信賣	一〇〇圓二五
同 十五日拂買	[illegible]

獨逸の銑鐵と鋼鐵生產高　十月中

十月中に於けるドイツ銑鐵及鋼鐵の生產高は左の通りである（單位千米噸）

銑鐵	一、一五七	一、一八〇
鋼鐵	一、三七七	一、三七六

奉取の受渡

奉天取引所二十八日限受渡高は奉票十八萬圓、大洋二十萬六千圓にして受渡標準値段は奉票七千百八十六圓五十錢、大洋百二十一圓六十錢、受渡代金は奉票一萬二千九百四十六圓、大洋二十五萬七百四十二圓五十錢である

當會社々長兒嶋幸吉殿儀昨一日午後壹時郷里鳥取に於て死去被致候に付明參日午後參時半攝津町常安寺に於て追悼會相營可申候
追て時節柄供花放鳥等は一式御辭退申上候尚ほ此廣告を以て御通知に代へ申候
昭和四年十二月二日
大連製氷株式會社
取締役 藤田德藏
支配人 梶川二三
友人 佐藤至誠
澤田賢太
西園慶助
親族總代 伊藤久太郎

平安異香 (187)

葉多默太郎作　中一彌畫

戀の行方（一四）

「つまり氣のものです。やれると思やあやれる。危ないと思ふと危ないてことになります。都大路を歩いたつて、お互人間は一尺巾しか要らない。それが一尺巾の板橋だと一寸渡りきれない。同じ理窟でさあね。だから邦さん、お前さんもそのつもり、いゝですね、あたしに體を任せきつて、安心してゐりや怪我はない。いゝかね」

藤丸はさう云つて、邦貞ばかりでなく、皆の顏をずらりと見廻した。そして、トンと草履を脱ぐと、ひらりと松の幹に飛付いて、平地を走るやうに斷登り、例の川へ伸びた枝を、たわゝにしながら巧に渡つて、渡りながら樣々の藝をして人を笑はせた。

「さあ、これでいゝ。下踏は濟んだ。邦さん來た〳〵」

木に登つてどういふことをするのか邦貞は知らない。だが默つて幹を攀ぢ登つた。

木は堤から斜に川へ伸びてゐるので一足毎に底が遠くなる。川底の亂杭に挾まれた者が妙に眼について仕方がない。

枝の所まで來ると、

「そら、手を出しな」

藤丸が手を伸ばして待つてゐた手につかまつて立上ると、

「下を見るのは禁物ですぜ。上ばかりを見て、上ばかりを見て」

云ひながら邦貞の後帶に手をかけた藤丸、

「いゝかね、お前さんの身體が浮くが驚いちやいけないよ、片足をあたしの下腹にあて、身體を反らせて、兩手を左右に擴げるんだ」

云つて、ぐつと力が入つたと思ふと、ふうつと邦貞の身體が浮いた。

「あつ」

と邦貞は自然と片足で背後の藤丸の下腹を踏ん張るやうになる。成るほど、これは確に一つの衡には相違ない。邦貞よりも纖弱なくらゐの藤丸が、片腕で樂々と邦貞と釣りあふてゐる。

が邦貞は蒼白になつてゐた。蒼い顏を人々に見せたくない、體の震へを藤丸に知られたくないとは思ひながら、どうする事も出來ないのだつた。

「大丈夫か」

と下から陣十郎が叫んだ。

「へゝゝゝ、まあ、そつから見てゐて頂きませう」

藤丸はさう云つて、少時呼吸をはかつてゐて、さて

「エイ」

と鷲鸞のやうな叫びを擧げると同時に、頭上の枝を攫んでゐた片手を放し、完全にたわしの枝に立つたのだつた。

そして、また少時重心を計つてゐたが、

「エイ」

同樣な鷲鸞を叫んで、同時につゝつゝと枝を渡りだした。

枝はみし〳〵と不氣味な音をたてゝ撓れたが、その動搖に呼吸をあはせて足を運ぶ藤丸は、恰度波に乘じて進む舟のやうに見えるのだつた。

が、枝は搖れながらも、一歩毎に下に垂れて喘ぐやうな音を立て始めた。

「もういゝだらう。引返せ」

隱忍な陣十郎がさういつたくらゐだから、見物の誰一人息をはづませ、手に汗を握つてゐないものはない。手をたゝいて喜んでゐた少女千枝さへが、もう笑はなくなつて不安な眼を見張つてゐる。

が、藤丸ばかりは緊張した額に優張つた笑ひを見せてゐる。枝の先の方へ懸命の眼をつけたまゝ、

「これからだよ、親方さん」

云つてニヤリと笑つた。そして尚ほ細い枝を、綱を渡るやうに足指に挾んでつゝ、つゝ――だが三歩を待たなかつた。

突然見物が激しい驚愕の叫びを擧げ、幸が顏に手を押當て、陣十郎と博士の才藏が同時に駈け出してゐた。

枝は、又の所から捥がれて、梢先が川底についてゐる。

上の枝にぶら下がつて、蜘蛛のやうに搖れてゐるのは藤丸である。邦貞は、射落された鴿のやうに亂杭にかゝつて頭を水の中に突込んでゐる。

映畫と演藝

梅村蓉子は 愈よ近く歸洛

目下來連中の日活女優梅村蓉子は去る廿八日以來新映畫館大日活に於て舞臺挨拶及び舞踊「都鳥」を以てフアンの人氣を集めてゐるが正月第二週封切の「腦病院長兵衛」の撮影開始のため愈々歸洛する事となり目下撮影所に問合せ中で未だ未定であるが、三日朝又は四日朝大連驛發奉天經由で陸路歸洛するが、出發前夜まで大日活に出演する筈で奉天にては奉天館に於て舞臺挨拶をなす豫定で何れにせよ大日活出演は今明日中である

常磐津溫習會 七日遊樂館で

大連常磐津操會及び辰巳會主催にて來る七日夜遊樂館に於て操太夫門下の人々が出演して常磐津溫習會を催すが操師匠を始め過般歌舞伎座に出演した人々も顏を揃へ入場無料で來聽を歡迎すると

喋話

浪速館の明渡しが去る三十日に長氏と三隅氏との間に無事濟んだが▲さて實際問題として一體どうなるのか餘りに流言蜚語が多過ぎるやうである▲連鎖商店も美川ソールマネージヤアの來連でいよ〳〵近く常盤座の方針その他も決定する筈である▲大連醫院の各醫長がトテモ日活フアンで梅村蓉子を招待して一夕濱の家で歡迎會を催したとのこと▲この次に大河內が來連すれば是非自分の家に泊めたいといふ熱心なフアンもあるそうだ▲大日活は修羅城の次に「宮本武藏」と組んでパ社の「非常線」を上映すると

滿洲日報

アプトン・シンクレア著　前田河廣一郎・長野兼一郎共譯

ボストン

全世界を震撼した大事件の眞相描寫!!

四六判四七八頁・定價壹圓五拾錢・送料廿二錢

岩藤雪夫著

鐵

旋盤の響・ダイナモの唸り・ハンマアの火花・北海の怒濤とウインチの軋りと――こゝには凡ゆる職場のプロレタリアの全面貌がある！克明・大膽・尖鋭なる筆致によつて描破されたマドロスの・苦力の・娼婦の・呻きと叫喚と反逆の聲を聽け！問題の長篇「鐵」以下十五篇を收むる著者の處女出版

四六判三八〇頁・定價壹圓五拾錢・送料十八錢

平林たい子著

毆る

階級的抑壓と、女性としての迫害と、二重の桎梏に抗して立つプロレタリア女性の生活を描いて、冷徹、リアル、しかも火の動き階級的熱意は脈々として全篇を貫く。虐げらるゝ者の血と涙と、苦闘を通じて明日への勝利を暗示する「毆る」外十七篇の力作集。

四六判三四八頁・定價壹圓五拾錢・送料十八錢

フエ・ミハレフスキー著　荒川實藏譯

經濟學入門

整備せる配列、新しい評議、材料の豊富さ、簡結・鮮明にして具體的な説明――最善最良の「經濟學入門書」として此の書は斷然威壓してゐる!! 殊に叙述の方法に於て、價値、貨幣、剩餘價値等の經濟學上の重要理論を説くに先ち實際問題に依つて十分の豫備知識を與へ、數多くの挿畫圖表により興味を惹き理解を助ける等、博洽味到の著者の用意は、全く獨創的で、且つ周到で痒い所にも手が届く。眞に經濟學徒必讀の書である。

最新刊　四六判四〇七頁・定價壹圓五拾錢・送料十八錢

谷崎潤一郎著

蓼喰ふ蟲

フールス判・極美本　定價貳圓五拾錢　送料廿四錢

杉森孝次郎著

英雄論

最新刊　定價壹圓　送料十八錢

改造文庫

(最新刊) 百頁十錢 (1は拾錢 2貳拾錢 3參拾錢 4四拾錢 5五拾錢 6六拾錢 7七拾錢)

書名	著譯者		書名	著譯者	
横瀨夜雨詩集	横瀨夜雨著	5	寡婦マルタ	濟見鋥郎譯	3
全譯金融資本論	林要譯	7	小公子	若松賤子譯	2
作曲白秋國民歌謠集	北原白秋著	2	平凡	二葉亭主人著	1
作曲白秋舞踊詞集	北原白秋著	2	日輪	横光利一著	1
作曲白秋童謠集	北原白秋著	2	坊つちやん	夏目漱石著	2
作曲白秋民謠集	北原白秋著	2	草枕	夏目漱石著	2
マルキシズム國家觀	山本孝譯	5	それから	夏目漱石著	3
チエホフ書簡集	內山賢次著	5	一握の砂	石川啄木著	2
井泉水句集	荻原井泉水著	5	山陰土産その他	島崎藤村著	2
子規俳話	正岡子規著	3	エミール(上)	內山賢次譯	4
組織論	鈴木厚譯	3	エミール(下)	內山賢次譯	4
唯一者とその所有	辻潤譯	6	女工哀史	細井和喜藏著	4
背德者	石川淳譯	2	金融資本論	猪俣津南雄著	4
三民主義	金井寬三譯	3	經濟學の實際知識	高橋龜吉著	2

發行所　東京市芝區愛宕下町　振替東京八四〇二番　電話芝(43)二二二二・二二二三・二二二四　改造社

實業之日本歲末倍大號

受難時代に直面して

禍局を苦にする時代は去つた　受難突破號大出現！

受難對策(一論策) 實業之日本社長 增田義一

受難時代に於ける人格建設　法學博士 新渡戸稻造

苦難の征服法　帆足理一郎

青年の煩悶と打開法　青木誠四郎

收入減時代の生活法　伊藤重治郎

窮乏に耐へる持久力養成法　山本留次

余の體驗せる誘惑撃退法　田健次郎

私の受難時代

一度死んだ余が死の體驗　宮入白木屋部長

死物狂ひで突破した受難期　津下日本石油専務

投機で失敗して心機一轉す　加藤須田町食堂主

神經衰弱で二回自殺を企つ　永橋大洋火災社長

無配當の會社に入り大苦闘　伊藤白煉瓦社長

受難會社の常務となつて　秋山新高製糖社長

自ら苦難を求めてきた半生　早川地下鐵專務

乘鞍絶頂に於ける雪中受難　前代議士 野田明

信仰に生きて貧と闘ひし頃　大澤第一銀行常務

苦しかつた歲末の思ひ出　田中小山本店專務

資本金を失つた會社の整理　伊藤東亞製鋼專務

高木正年氏の失明廿年の話　記者

(此外)現代卅五名士の回答

切符切りから古河王國の總理となつた　鈴木恒三郎氏奮闘傳

五十人力以上の外交手腕をもつ　世界的保險闘將

農村受難期の切拔策　賀川豐彥

不景氣商賣の打開法

キット當る歲暮賣出し法　商學博士 田中貢

我社はどんな人が欲しいか　廿大銀行大会社

明年度採用人員の豫定數！

大會社大銀行今期ボーナス豫想

財界やかましや物語

無配當會社の昨今

電車會社の副業物語

大阪財界の勢力系統

郵船新副社長と新專務

金解禁の準備なる迄

潛在結核の發病豫防法　矢部醫學博士

不景氣に處する安價生活法　醫學士 櫻田十次郎

神經衰弱時代に寄す　醫學博士 高瀨玉男

十五日發賣 定價六十錢　東京 實業之日本社

建築設計・監督・積算・鑑定・標準計算 宗像建築事務所　工學士 宗像主一

昭和五年 最新刊

滿蒙年鑑

定價壹圓五拾錢　送料普通八錢・書留十八錢　四六判七百餘頁・風物寫眞七頁入

本年鑑は滿蒙一切の事象を網羅し、最新の各種統計を基礎として最も周到明確懇切なる解説を加へたもので、資料の嚴選充實は勿論記事中には風物寫眞及滿蒙略圖を挿入したから、容易に本文と對照せしむべく、更に目次總索引に據り至極簡便に檢索し得られる。殊に卷末滿洲知名事業者名鑑は、銀行會社要錄ともいふべく、苟くも滿蒙を語らんとする者の一日も手離せぬ座右の寶典である

各地書店にも販賣ス

發行所　中日文化協會　大連市伊勢町十一番地　電話三八二〇　振替大連八五〇五

資本金 壹千萬圓

株式會社 滿洲銀行

大連市伊勢町六十九番地

頭取 村井啓太郎

電話(代表)四二二一番　振替(大連)三三〇番

支店所在地

製品

一、鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置

一、鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器、暖爐類

要目

一、汽罐、汽機烟突、各種機械類、設計、製造、据付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並眞鍮鑄物、酸素瓦斯

株式會社 大連機械製作所

本店 大連市沙河口臺山町　電話(代表共通番號及長距離)九一五三番

支店並分工場 奉天西塔大街三丁目　電話二一〇三番

大景品附大賣出し

瑞西製 ジユラッシア 各種蓄音器

十ヶ月月賦百臺一組

景品

申込期間 十一月二十日より十二月三十一日迄

輸入元　大連市浪速町(伊勢町角)　榮商會本店　電話八三九〇番

自轉車界の權威

A號ナイト　B號ナイト　ケンネット號　キフト號　ペーリス號

大連山縣通 田村商會本店

支店 沙河口・奉天

眞鍮看板 ネームプレート 調製

大連市淡路町十七　沖本ブリキ店　電話六二一六番

"EAGLE" 捻木鐵

特價提供

新入荷品

上記多數入荷す御用命乞ふ

大連 鳥羽洋行

安田經營 海上火災保險

滿洲總代理店

國際運輸 保險部

大連市山縣通り電三一一五

沿線各地ノ御用命ハ最寄店所へ

最新刊

大阪屋號書店　大連市浪速町

日支 / 露西道 / 大海戰 / 支那の現實 / 鐵道功罪物語 / 商賣うらおもて / 日本革命史 / 支那の建築 / 柚子の種 / 腦溢血の豫防と治療 / 常識百話 / 荒っ削りの魂 / 海軍軍縮 / 戰ふまで / 花札の手引 / トランプの手引 / 自動車

最新刊

主義の批判 / 勤勞教育 / 性格の導き方 / 古典文庫 / 古典文庫 / 革新 / 不良少年と教育 / 產業 / 萬 / 京洛小品 / 腦溢血の豫防と治療 / 最後の舞踏 / 巨人は斯く教ふ / 實驗觀 / 超現實詩論 / アンデルセン童話集 / アラビヤンナイト

大連市大山通 滿書堂書籍部

ハバロフスクに於て露支間の交渉始まる
いよ〳〵一兩日中に

【ハルビン一日發電】歐亞連絡の幹線東鐵を挾んで國境に武力對峙してゐた露支關係は支那側の破天荒な讓歩に依り急轉直下平和的手段に依る東鐵管理權爭奪戰がいよ〳〵一兩日中にハバロフスクに於て支那代表蔡運升氏とロシア代表シマノフスキー氏との間に行はれることゝなつたが、東鐵に對する露支兩國の勢力の消長は日本の滿蒙政策に至大の關係を有するので滿鐵及我出先官憲は本國政府の訓令に依りその成行を頗る重大視してゐる

東鐵前管理局長の復任考慮を要求
支那側が責任者更任を條件に
勞農側未だ回答せず

【奉天特電二日發】支那側に於てはいよ〳〵露支交渉を開始することになり蔡代表は一日午後零時半ハバロフスクへ向つたが奉天側の意嚮としては東鐵の責任者として呂督辦及び張行政長官を免職するからロシア側はエムシャノフ兩氏の正副局長の任命に對して一應考慮して貰ひたいと提議したが右に對してロシア側は未だ何等の返答もして來ない尚張學良氏は呂督辦の後任として莫德惠、劉尚淸兩氏の何れかを任命せんとしてゐる

勞農政府今後も南京側とは絶縁
東北の領事館は復活

【ハルビン二日發電】ロシアは露支紛爭につき南京政府と絶縁した事が暴露した即ちモスクワ政府は第三國關係に依り紛爭を解決すべしとの南京政府の提案を頂から蹴つけた、從つて奉天側との單獨交渉で東鐵問題解決と共にロシア領事館を復活せしむるに留め南京政府を承認し外交關係を復舊する擧には出でまいと見られてゐる、他方外交問題折衝の途中實質的に相手國から見離され婉曲に絶縁状を叩き付けられるのは南京政府樹立以來今回を以て嚆矢とするだらうと言はれてゐる
は地理的經濟的に奉露關係の重要性に鑑み東北四省各地のロ

多少讓歩するも解決するが得策
南京政府に諒解を求む

【奉天特電二日發】勞農側の積極的武力行動により急に態度軟化した奉天軍の行動に對して張學良氏は一日中央政府に對して現在の狀態では支那側は或る程度迄ロシア側に讓歩し速かに解決するを得策とすべしと打電したと

奉露交渉に反對の陰謀
ロシア政府が指摘

【モスクワ三十日發電】ロシア政府當局は東支鐵道問題を解決せんとする奉露直接交渉に對し國際的反對陰謀が行はれてゐるを指摘し南京政府がワシントン、ジュネーヴ及その他の諸國の首都に於て滿洲問題を更に紛糾せしめんとする策動あるを知りながら之を默過してゐるが、今正に問題の平和的解決を見んとしてゐるのに鑑み不都合であるとて之を攻撃してゐる、又十一月十四日附南京政府の對露覺書の發送が二週間以上も遲延せるについて當地の新聞は極度に憤慨し
この遲延は偶然ではない、南京政府が時局を紛糾せしめるに都合良き時機を見計つてこれを遲達せるものである
と云つてゐる、當地の政界は奉天側が東支鐵道の露人支那人、歐米人を復職せしむるを承認しアメリカ若くば國際聯盟の凡有調停を拒絶せんことを望んでゐる

軍費の過重から吉林省財政窮乏
張學良氏に救濟要求

【吉林特電一日發】省政府委員某氏と黑龍江省では對露和平促進運動が擡頭した樣であるが吉林では如何にとの問ひに對し吉林でも停

議長選擧の直後に議會解散を斷行か
貴院方面の觀測一致

【東京二日發電】貴族院の殆ど一致した觀測に依れば來議會解散の時機は政府としては疑獄事件のため益々解散を斷行して人心を一新する必要があり且つ從ら

戰して講和せよ との論者も漸く出でたが既に國民政府も對露交渉を奉天側に委任したことは事實である故に目下學良、作相、蔡運升氏等の緊急會議中であるから適當

年內解散斷行說
民政黨總選擧に對し信念益々鞏固となる

【東京特電一日發】整理緊縮の宣傳が利き過ぎたり減俸案の脅威により都市における選擧民の現內閣に對する氣受けを氣遣はれたが、東京市における區會議員の選擧は民政黨の絶對多數當選を見るに至り先づ都市においても現內閣の信任は決して減退してゐないことが判明した、これを以て民政黨側の總選擧に對する信念益々鞏固となり總選擧の結果民政黨の勝利疑ひなしと同時に總選擧の時期は必らずしも來春を待つべきにあらず本年內に斷行すべし、即ち政友會が常任委員長の選擧に獨占的行爲を表明するときには利刄一振、解散を斷行すべく、施政方針の如き議會の形式のみで必要なく議會解散後聲明書を以て國民に告ぐれば可なりとし、政府部內にても政局の事情より見るも大體來春を待たず年內に解散すべしとの說行はれるに至つた

な便法が講ぜられるであらう、對露軍費一千萬元を既に費消したと傳へられてゐるが實際はそれ以上

東鐵札蘭屯迄運輸復活

【ハルビン二日發電】露軍の積極行動により不通となつてゐた東支鐵道西部線は避難民其他の整理一段落となりたるため札蘭屯まで平常通り貨客の扱ひをなす旨東鐵より發表した

糧食費は 全部吉林省が負擔してゐる、吉林軍のみでも一ヶ月百五十萬元を要する上に奉天軍は益々增派しつゝあるので每月三百萬元を下らぬから今の儘で經過せば吉林省は財政的に破滅を免れぬであらう、故に作相氏は學良氏に對し軍費救濟方を要求してゐる
に歸する、しかのみならず吉林省內に出動中の奉天軍の

船出の第一夜に強い風雨の見舞ひ
海相夫人の快活な社交ぶり
◇—船中の全權一行

【サイベリヤ丸卅日午後十時十分發無電】全權一行の第一夜は可なり強い風雨に見舞はれた、薔薇の花美しく飾られた食堂正面のテーブルは財部海相で氏の右に夫人左に轉山伯、その隣は若槻全權のテーブル、右に山川左に川崎、齋藤氏等坐り、若槻全權、元氣良く珍重の日本酒で食事を始めたが、スープを終るや船暈を感じ早々退却してキヤビンに引込んだ、一行中初めての航海に似氣なく動搖を物ともせず素晴しい快活振りで夫君との旅行を樂しみつゝデザートコースの最後まで機嫌良く談笑を續け快活な社交振りを示したのは流石に海相夫人のたしなみ振り床しく、食堂の各テーブルから夫人代表の敬禮を奉られた、夜と共に風雨益々加はり横しぶき猛烈でデッキに出られず、午後十時勝浦沖を過ぐる頃一行の大部分は退却したサイベリヤ丸は夜の闇を衝いて東北へ全速力で進む

自重する若槻全權
第二日も天候險惡

【サイベリヤ丸一日午後三時十五分發無電】全權一行の第二日は雨に終つた陰鬱な航海だつた、午前十時三十分金華山沖東方百五十浬を過ぐる頃迄波高く風ありデッキは飛沫に濡れ僅に四五人が散歩するのみ、横須賀から來る筈の飛行機も

天候險惡の 爲來らず黑潮に乘つた船は豫想以上に暖かい若槻全權は朝晝共に食堂に顏を見せず自重して船室に引籠つて居た午後キヤビンを訪へば結城補の着流しで元氣よく應待して語る
昨夜は自制して飲まずに食堂に出たのが不覺だつた、失禮してはいかぬと思つて引込んだが今は此の通り元氣だ、船中は無理をせずに行く心算で斯く自重して居るが明日からは起きて運動

する、會議に就いては胸中成算もあり是非成立さすべく最善の努力をする、國民の代表として行くのであるから其の意志を體して飽く迄我が主張の貫徹を期して居る云々
財部夫人も遂に昨夜の大荒で元氣なく

船室に引籠 つて居る、財部全權、山川、川崎兩顧問、安保顧問も大元氣で海上は晴曇低迷して見ゆるは唯逆卷く白浪のみだが、海軍の花形揃ひで船中は頗る賑やか午後六時北海道の東二百浬を東北に進む豫定

南下貨物を秦皇島に吸收
支那側で計畫を樹つ
滿鐵に打撃はない

電通特派員

【東京一日發電】ロンドン海軍會議に派遣された日本電報通信社神子島特派員は若槻全權一行と共に三十日午後三時出帆のサイベリヤ丸にてアメリカ經由ロンドンに向つた

割引率を

小橋前文相は結局召喚か
證人程度の輕い取調

特産收容

吸收計畫
田中新文相
親任報告參拜

國境に在る窮乏の鮮人を救ふ計畫
滿鐵空地を貸與して

米國の豫算案

印度綿布輸入税增額せず

結核療養に滿洲は理想的だ
來連した滿鐵結核療養所長 遠藤繁淸博士語る

市政上の暗礁
【六】

無理おしは結局通らぬ

肥料政策案
來議會に提出

豫算內示會廢止
政務官會議で決議

濱口首相歸京

社會教育を
中學教員が援助

地委特別委員が各種問題を陳情
きのふ滿鐵を訪問

女子藥學校
昇格運動開始

墺國政府が外交文書公開

市長と市議を論難
一日市民大會の盛況

本年度の入超額
大藏當局樂觀

支人勞働者ロシアから避難

神戸特産
東京株式
大阪株式
大阪綿糸
横濱生糸
現物後場
定期後場
商品後場

(第三種郵便物認可)

満洲日報

露支交渉の解決難

人間ぐらゐ勝手なものはない。自分に都合のよいときは、勝手な眞似をして置き、相手方が、それに對し正當防衛の手段に出づるやうなことがあると、今度は國際聯盟の、不戰條約のと悲鳴をあげるのが常である。これでは不戰條約や、國際聯盟の方で、その適用を御免蒙りたくなるのではあるまいか。露支の交渉において、ロシヤは與し易しと見くびつた支那は、ありとあらゆる暴擧を敢てし、つひに東支鐵道の事實上の回收とまでこぎつけたのである。ロシヤはこれに對し、半年の隱忍持重、機の到るを待つてゐた。而して結氷と共に、國境の威嚇となり、支那兵に戰意なく、一も二もなく潰走するや、今度は不戰條約の、國際聯盟のといふ。然るに世間は、支那の注文の通りに運ばず、支那の申分に對し、列國が相手にせざるや支那側は已むなく、奉天側の對露單獨交渉といふことになつた。

◇

苦しいときの神たのみはよいが、それでは神様が聽いて與れず、仕方なく〳〵單獨交渉となつて東支鐵道の原狀還元、ところがこの原狀還元と一口にいふもの丶、いざ事實問題になると、どこまでが原狀やら、エムシヤノフ氏やエスモント氏らの正副管理局長復任となれば、呂榮寰督辦や張景惠長官の辭任は當然といふべく、電政權や教育權の問題まで提起さる丶は明白の事實であり、さうなれば、いよ〳〵露支交渉の時期や地點が決し、また兩國の代表者が決定したりとしても、例により露支兩國の懸引となり、一ケ月や二ケ月間で問題が圓滿に落着すべしとも思はれぬ。今さら四の五のと、理窟を捏ねても仕方はないのであるが、ロシヤにしても、また支那にしても理窟にかけては、決して人後に落ちぬのであるから厄介千萬といはねばならぬ。

◇

ロシヤにしても、支那を徹底的に屈服さするだけの實力なく、支那側としても、その國家の組織が充分に有機化されぬところからして、露機の襲來あれば、蜘蛛の子を散らした如くに潰走するが、それでゐて支那側は、原狀回復を承諾しつ丶も、その原狀の解釋に關し、自分の方に都合のよいことをいふから交渉は容易に纏まるべしとも思はれぬ。殊に東支收益金の如き、早くも既に東北國防軍の軍費に轉用され盡し、奉露協定による折半を云爲しても、その折半を實行し得るの能力が、支那側に存在せぬといふやうなことになるのではあるまいか。果して然らば、一層のこと徹底的に雌雄を決せしめて、その上にて事件の解決を期するも面白くはないか。滿洲里や海拉爾ぐらゐの威嚇では、また徹底的の解決は出來ぬといふやうなことになるのではあるまいか。」

◇

兩國軍を國境より撤退し、ともかくも鐵道だけの復舊を豐し、交通聯絡を協定するといふやうな抽象的のことも考へられてゐるやうであるが、今日の露支の對時においては、そんな都合のよいことが出來やうとは思はれぬ。蔡運升氏と李紹庚氏とが、はる〳〵ハバロフスクに向け交渉に出向いて行つたが、結局は、露農機の襲來を緩和するぐらゐが落ちで、原狀回復の交渉成立までには、相當、紆餘曲折が存するのではあるまいか。去る七月以來の懸案、一朝一夕にして解決せられ得べしとも思はれぬ。そのうちには本年も暮れ、事案は明年に持ち越さるることになるのではあるまいか。

北滿の經濟界と交渉成立の影響

東西國境の開通によつて活氣を呈して來る

【ハルピン發】露支交渉が成立したならば北滿の經濟界は直に如何なる影響があらうか、貴虎三井物産支店長は

交渉成立と同時にこれまで封鎖されて居た東西兩國境は開通し東部線は特産貨物の出廻をみるであらう、既に外商筋には東部沿線の特産買占に手を廻して居るが海林、牡丹江で商內した特産は東部が開いたとなれば其の日からでも流れ出るだらう、然し歐洲向逆鞘の狀態にあればさう急激な變化はみられない、矢張り東部線のものは東へ行くと云ふ程度だらう、哈大洋も時局關係が昨日に比して一圓二三十錢方弃騰した(哈洋百元—金五十四圓が一躍五十五圓五十錢から六圓と躍進)唯問題は正式會議が豫期の如くすら〳〵と運ぶか否かである

一般時局關係で沈衰してゐた經濟界はこれにより活氣を呈して來るであらうが、高畑滿鳥共同事務所長は「假令交渉成立しても本年度內に東行貨物の出廻をみるやうなことは至難であらう」と、その他滿鐵に支店を有する鮮銀、川崎商船其他外商輸入筋は稍愁眉を開いた模樣である

農商務會が現大洋建で取引

瀋海、吉海兩沿線の特産出廻りの狀態

【撫順發】特産出廻期の昨今撫順驛貨物主任佐藤正秀氏は約一週間の日程で瀋海、吉海の各沿線の視察を了へ歸撫したが語る

前記各沿線とも特筆すべき現象は各農商務會が率先して

奉票慘落 に依る商取引を現大洋建取引に改めつ丶ある事でその結果は頗る良好である且つ是が爲從來の黑弊たる官銀號系の特産買占めの通弊が絶たれんとしつ丶ある事などは見逃し難い現象であつた、次に特産出廻り狀況であるが本年は類のない位氣溫高溫のため各驛とも出廻りが遲れてゐる、但し何處も出廻り最盛期を目前に控えてゐる事とておさ〳〵その準備に怠りなく各開戰直前の如き

緊張味が 溢れてゐた、その內一番出廻りの活潑であつたのは朝陽鎭と山城鎭の二驛で他驛にも若干のストックはあつたが大した事はなかつた、前記各沿線背後地各特産商は本多は昨年の如く東支鐵道の關係上同線に滿鐵の貨車借入不能を見越しさなきだに滯貨に依る生産者、各荷主の打撃を前年の實例から大に考慮し貨車繰最も潤澤にして

難送力の 確實性ある滿鐵各沿線へ向ふ荷馬車の多かつた事は注目に値した從つて興京市場を中心とするものも瀋海線の清源や營盤へ搬入しても昨今さへも滯貨月餘に亘つた實例から推して本多はおそらく撫順驛及びその延長たる撫連へ殺到する如くでこの空氣の觀取された以上撫順驛の貨物擔當者たる自分は極力貨車の配給を潤澤にし奧地生産者や各荷主の便利を大に計り度い考へであると

黑河から邦人四名が避難

【ハルピン發】黑河からの避難邦人は金光せん(福島)小野すゑ(鹿兒島)平山すみ(長崎)中島まつ(長崎)の四名で黑龍河が結氷しブラゴエから露軍が襲來するとの風說でいづれも避難したので、黑河には宮崎藥店、田畑寫眞館夫妻が殘つてゐると

彈壓政策に支那側の誤算

今日の失敗を誘發す

【ハルピン發】勞農總領事館の共産黨檢擧に矢繼早の東支クーデターは支那側の東支回收を前提としてかなりの成功であつた、然し圖に乘つたソウエート壓迫政策は遂に見事にドタン場に至つて失敗を招いた、自ら蒔いた種は刈らねばならぬであらうが其の原因は

一、ソウエート聯邦の國力を輕視し最初から馬鹿にしてか丶つた點で、ソウエート國內の食糧難と反政府右黨の擡頭があるものだと信じてゐた事

二、軍隊の優劣に於て自國軍隊の力を過信してゐた

三、赤化運動と云へば列國が支那に同情すると誤信した

四、南京政府の對露容喙の誤ひ

等が今日の屈辱的和平交渉をせねばならぬ運命となつたのである、これは白系ロシヤ人の一、二と對露強硬論者の支那側要人のために誘導されたものである

全國統一は妥協では不徹底

蔣は元來狎邪の小人のみ　肚天一氏の時局談

肚氏は舊同盟會の闘士であつたがその後國民黨とは離れ三合會九九會等を率ひ孤軍奮闘したものである、目下表面には立たず冷たい眼で時局を觀察してゐる名士の一人である

全 國統一は妥協や彌縫によつてそう簡單に成し遂げられるものではない、孫文は妥協によつて失敗し蔣介石は彌縫によつて危急に瀕してゐる、蔣は元來狎邪の小人市井の無賴でたま〳〵風雲に乘じて今日の榮位を占めるに至つただけである、馮玉祥と兵火相見ゆるにいたつたが兵力や金力をもつてしてもその討滅は至難に陷り彼を惡むものが背後からその御簾を討り物情穩かでなくなつて來た、彼が中央集權の名に於て黨皇帝を決め込み訓政の名に隱れて終身首席をもつて任じてゐることは民心を激昂せしむる所以で、これは何人が考へても許すことの出來ないところである

永 い間の懸案であつた汪精衛がとう〳〵歸つてきた、彼が歸國すれば改組派はいふまでもなく全國の黨員は直ちに起つて政權を乘ッ取るかに傳へられ、地方各級黨部に根強き地盤を有するかにいはれてゐたが實際歸つて見れば時局に對して何等の衝動をも與へず全く泰山鳴動して鼠一匹も出でざる感がある、孫文は常に國外に放浪し時々上海或は香港に歸つてきたので彼を海岸覗きといつてゐたが、海岸覗きとはいへそれでも歸國した時は汪のやうな不景氣なことはなかつた、素より汪はこの度こそは大なる希望をもつて歸つて來たに違ひないが公平にみるところ彼もまた過渡期に於ける一傀儡で回天の業などは望めない

聞 くところによると汪は既に蔣との間にある種の妥協を進行させてゐるといふ、ある種の妥協とは蔣が若し下野のやむなきに至つた場合政權を讓つて與れといふ內輪相談だといふことだ、これは事實ありそうなことで蔣にしてみれば仇敵たる馮や閻に讓るよりは面子も立ちまた自分の勢力を幾分保存することも出來るし汪にしてみれば曾て財界との聯絡を有せざる彼には蔣の財的背景をそつくり讓つて貰ふことは何より重寶である、目下汪は香港に於て政界乘り出しの諸準備を整へると共に兩廣の地盤奪取に着手してゐる、即ち廣東人同志は戰はずとの標語は彼の歸國と同時に提唱され陳濟棠と張發奎の妥協も右の標語の下に行はれてゐる

圖們江の流氷

近く結氷せん

咸鏡北道警察部よりの報告によれば圖們江は去る十日より流氷盛で諸所に結氷を生じたゝめ危險を慮つて渡船中止となつた、最近更に氣溫急降を見たので數日中に全部結氷するだらうと

日滿鮮空輪の蔚山泊廢止

愈よ來春四月から　東京まで一日で飛ぶ

【京城發】九月から開始された日本航空會社の內鮮滿聯絡旅客輸送飛行は店開き以來相當の實績を擧げてゐるも現在一般旅客に經濟的な實用線として歡迎されてゐるのは京城

大連線のみ で內鮮連絡は蔚山一泊が時間の短縮とならずこれが障碍となつて內地人の乘客が非常に少いので運航表改正に會社當局も頭を惱ましてゐるが、東京を中心として作製された現在の運航表では、蔚山泊りは已むを得ない事情にあつたが、過般遞信省に開催された全國飛行場長會議に於て遞信局の佐藤航空官より此の點につき改正を切望し種々協議を重ねた結果愈々明年四月から內鮮滿連絡が日發制になると同時に京城泊りと京城を基點として京城を朝出發すれば其の日の夕方には東京に着く樣に

運航表改正 を見ることに內定した、この運航が實現すれば蔚山の一泊の必要がなくなるので內地の空の旅は非常に簡便に且つ時間が短縮されることになる譯である

伊太利大使御暇乞に參內

イタリー大使ポンペオ、アロイジ男はトルコ大使に任命され近日中に歸國するので二十八日正午宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付られ御暇乞を言上御陪食の光榮に浴した【寫眞は參內せるアロイジ大使】

南征雜錄 (48)

難波勝治

羅府を後に

ロザンゼルス出帆後のマニラ丸は、全く日本人許りを載せた日本船の本色に立ち還つて、一直線に橫濱へ……といつた氣分に燥やいだ、新たに乘込んだ船客は一等二名と三等七十餘名、三等客の多くは南加洲在住の

農業者や 市街生活者で別に商業視察者を二三見受けたが、移植民てふ立場からいへば、同じ歸朝者でも南米からの乘客と北米からのそれとは、おのづから態度風采、話題等が異つて居る、前者は朴訥で後者は輕捷だ、時にはミセスと名の附く年増のモダアニストが、紙煙を吹かしつつ英語交りの怪氣焰を揚げて居るなど、私は薄ッぺらなヤンキイ型より鈍重な南米型にゆかしさを覺へた、新一等船客は三宅克己畫伯夫妻、昨年十月彩管を載せて加州に渡航し、羅府に寓居をサンデイゴにトして寫生と創作とに暮したが、乘船當日が

恰度誕定 の六ケ月振りだといふ、二人とも船は餘り强くないので二十八日は全く部屋に蟄居に二十九日の天長節に畫伯のみ食堂に顏を列ねた、度々歐山米水を行脚した多趣味の人だけに流石に話が面白い、少くとも今まで內外人が鹿爪らしい面構へで、形式的な辭令を交して居た單調さを、三宅さんの混々盡きぬ藝術談で明るく一掃した感がある、三宅さんの出身地は瀨戶內海島嶼、幼少から東京で育つて英文學に志ざし、一旦明治

美術院に 入つたが中途で轉校した、奇な現象は當時の同窓中に、岡田三郎助、和田英作の諸豪があつて、それが何れも同じ方向轉換をした事である、明治初年の我が洋畫界に深い感化を與へた大家にイタリー人フオンタネヂイがあつた、美術院はその門下の逸材淺井忠、小山正太郎などの諸同人に經營されて居たが、例の岡倉覺三氏が東洋美術を鼓吹し始めてから校勢振はず、三宅さんも遂に意を決して外遊を思ひ立ち、先づ米國に渡つて

留學生の 仲間入をしたがその時代に鹿子木孟郎畫伯も在米中であつた、それから間もなく歐洲に遊んで佛英を歴訪したが

その時分の巴里は廉く暮せました、留學生の手當が月百圓位だつたが、中村不折氏の如きは四十圓で押通したさうです

と三宅さんの思ひ出話は娓々として盡きぬ、驚いたのはこの畫伯が日淸戰爭の從軍者であることで、當時補充兵で出征した三宅さんは營口及び

牛莊附近 の激戰に參加した、近衞第一聯隊の步兵とあつて牛莊で敵の地雷火に罹つたが、幸ひに土を被つた位で微傷一つ負はなかつたさうだ、三宅さんの外に私は米國歸りの五十嵐直三郎君と會談したが、同君は夙にブラジル渡航の志を有し、故山縣勇三郎翁に私淑する所決して淺くない、同君は態々秘藏の手紙を取出して見せて與れたが、それは翁が大正六年八月親戚に宛て送つた者で、筆勢淋漓、畢生の雄圖と憂國の熱情とが字句の間に溢れて居る、私は

懷舊の情 に堪へなかつた

大正十一年の曾遊を思ひ出して私が翁と會談した時は餘りサンパウロ農業を務めて居なかつたが、それは翁が常に海を主として考へて居たからだが、其處に平素主張の長所があり又短所があつた、五十嵐君の談によれば加州に於ける南米熱は今や益々高まつて來た、私が前に述べたアリカンサ六百五十アルケルス(約我が千六百二十町歩)の北米村に於て、君も三十アルケルスを買入れ所有して居るさうだが、更に第二の北米村が出來るのも遠くはあるまいとの事である、斯うした會話の日は幾度か繰返されたが、航行四千八百六十海里、無事橫濱港に着いたのは十八日目の五月十五日であつた【寫眞は三宅畫伯夫妻】

滿日地方版

奉天

日支美術展 四日から三日間 城内博物館で開催

日支美術展覧會は奉天滿鐵公所主催の下に愈々四日から三日間毎日午前九時から午後三時迄城内博物館に於て開催されることになつたが出品は日本側から二百點支那側から四百點合計六百點に上り何れも代表的名畫揃ひで殊に帝展出品者の參考出品あり各方面から多大の人氣を呼んでゐる、猶三日は午後一時から會場脇の教育會に於て名譽會長張學良氏、名譽副會長臧文選氏、同林總領事代理その他日支參助員及び日本側畫家四名、支那側畫家十三名等多數出席の上盛大なる開幕式を擧行し招待者の會場觀覽が行はれる筈で開會當日の…

…を晦した柳町四番地第一旭樓藝妓田中清子(二三)及び川島君江(二二)の兩名はその後各方面に手配捜査中卅日兩名は青島において取押へられ保護中なる旨當地に入電があつたので一日旭樓々主は引取のため大連經由青島に向つた

人事

▲永井長春領事 三十日過奉安奉線にて朝鮮經由下關へ
▲ロバート、スミス氏(米國トリビン社記者) 三十日長春へ
▲徐世英氏(奉天航空隊長) 三十日内地より歸奉
▲寺内守備隊司令官 一日旅順へ
▲乾奉天署長 三十日旅順へ
▲藤田關東軍經理部長 一日旅順へ

民會評議員 改選結果

町の便り

滿洲駄話

芳子と云ひ本年まだ十九の盛りである▲奉天に來てはまだほんの初心で嫐しい美妓といふので早く頭痛の種となつてゐる▲…

哈爾賓

和平と露機飛來 悲喜交々の局員 東鐵管理局のこの頃

…にやつて來る、預り賃なんかこれから一切不要だ」と不平のやうな獨り言が傳はる、二階から降りて來た一ロシヤ人は「愈々紛爭も解決だ、一週間内には色彩が變るだらう、平和の交渉があるかと思ふ

…たまだマネキンといふ語も碌に知らなかつた一般人は一目瞭然全く百聞は一見に如かずであつた

長春

官帖濫發で 暴落底知れず 相場持續に躍氣運動

西部線方面に於ける戰況不利のため吉林官帖は日に〳〵暴落し底止する所を知らぬので當局は又復相場持續に躍氣運動を起し、長春場内の金融維持會をして對策を講ぜしめ錢鈔業者の取締を嚴にし官帖の交換を一日二百吊に止めるなど見當違ひの取締に大童となつてゐる、一方吉林當局は輪轉機二臺を据ゑつけて晝夜兼行で官帖をドシ〳〵市場に出し軍費に當てゝ居り、最近は吉林沿線に於て官銀號が特産買占めを開始し之等の不換紙幣は益々增加し市場には新紙幣が際限なく出て來たので哈大洋は多少保直したにも拘らず官帖…

間島

鮮農雇傭の 地主に課税

鮮農移住防止の一策として支那人地主に對し鮮農雇傭及び土地貸與を嚴禁してゐる吉林省政府當局は地主が右禁令を遵奉せず依然として鮮農を雇傭し土地を貸與してゐるので最近更に第二段の策を講じた結果、鮮人を雇傭し土地を貸與する地主に對して耕地一畝につき現大洋一角づゝ增税する旨を密令したと傳へられてゐる

…は査定するのは六ケしい、彼等は約三百名ばかりで本月分の支給を要求してゐた

鮮人酌婦の 待遇を改善 營業主へ申渡

鮮人酌婦の待遇が苛酷なりとの非難が多かつたので、長春警察當局では各軒の酌婦を呼び出して調査中であつたが調査が完了したので營業主を呼び出し月一回の公休日を與へること、食事は營業主の負擔なること、屋外に出て客を呼ばぬこと、風呂場を設けること等を申渡した

北關夜話

年末の强竊盜事件は例年のことだが大成館の賊は早朝であつたから飛んだ人騷がせをやつたものだ▲賊の一人はまだつかまらないが▲聞くところによると賊は某日本人の家屋内を通つて逃走したとのことである▲家人も居合せたらしいが何故早く警官に知らせて逮捕上の便宜を與へなかつたか と非難の聲がある▲賊であることを識別出來なかつたかも知れぬが疑はしい奴が來たらすぐ知らせるのが人情だ▲今度の事件許りではないが附屬地居住の邦人が兎角警備に理解がない▲傍に見てゐても不關焉の顔をする風がある▲附屬地の警備は警官のみの仕事じやない▲在住民共同の任務である

金州

盧九經翁死去

當地支人有志盧元善氏の父君盧九經翁(八三)は豫て病氣の處卅日午前…

滿蒙植物の採集雜話 (11)

旅順 佐藤潤平

第二編 (六) 北滿のお花畠 (C)

シャクヤク シャクヤクは大興安嶺の麓札蘭屯附近では六月の始めの花であるが山中は七月に這入つてからやつとその花を見る、だから此の頃汽車で大興安嶺を通る時は季節が逆となつて夏から春に移るが如く山足では花盛り山中はまだ蕾が固い、何れにせよ大興安嶺のシャクヤクの群落は大したものだ、何百町歩とシャクヤクばかりの原がありその花の盛り頃は全く想像の許されぬ所である。白鮮、南滿でもシャクヤクと共に相當産するが大興安嶺のそれとは較べものでない、遺憾なことに寫眞ではその全部を撮すわけに行かずその本の一部分より撮されないのが如何にも殘念なことである

ブシバヒエンサウ、少しく濕氣を帶びた所に多數生じ葉がトリカブト、即ち附子の葉に類し、花が濃青紫色で燕の飛んだ形に似てゐる、故にブシバヒエンサウと呼ぶのである。これも觀賞用植物としてふさはしい種であるがその移植かどうか研究問題である。

八月に移ると少してその花を失ふと云へども、ヤナギランはまだ花盛りの狀、それにカワラマツバ、トリガトの類が加り…原を飾る。

此の月になれば、クロマメーキ俗にシベリヤブトウ、とか稱するツツジ科に屬する小灌木のもので、その實を大興安嶺の各驛で支那人が石油鑵に入れて一ヶ鑵大洋で二圓位で賣つてゐるのである、このクロマメノキの實が一粒一粒になつてゐてブドウの粒に類しこれで露人がジャムを作つて食用に供するのである、私は北滿のパンの味とこのジャムの味とがどうしても忘れないのである。

北滿を旅行して今一つ目にとまるは草刈である、自分の丈よりも遙かに長い柄のついてゐる、鎌何んでもその柄の長さは日本尺で七尺四寸鎌自身の長さが一米突ばかりあるさうだ、その鎌を果の知れぬ大草原の眞只中でゆつくりとザキリ〳〵と草刈る様は如何にも大陸的であり此の大陸ならでは見られぬ光景であらう。

まだ〳〵美しい草花も相當あり筆を取る前はあれもこれもと大興安嶺を讃美する言葉を考へて見たりしたが一段筆を運んで見ると、文拙くして思ふにまかせず充分に大興安嶺を讃美し得なかつたことは如何にも殘念でならない而し讀者が幾分でも大興安嶺ヽ大花園を味ふことが出來れば幸甚の至りである、何れ改めて北滿の植物景觀として述べる機會があると思ふ。

北滿東支鐵路東部線、吉敦線、吉敦線、洮南、通遼の蒙古地帶は未だその調査不充分であるから後日にする【寫眞は芍藥白鮮芍藥を賣る支那人】

撫順

社員の献金 一萬圓を突破せん 本俸の百分の五を標準

滿鐵社員會撫順聯合會の献金は本俸の百分五を標準とし且つ絶對强制じみた方法を執らず各自由意思に任してゐるに拘らず現下の經濟的國難を救はんとする擧國一致的赤誠の發露は撫順炭礦全社員をあげて衷心共鳴する處となり目下各坑別にその申込を受理してゐるが全坑合して既に七千圓を突破し來る十日までにはおそらく一萬圓の巨額に達せんとする狀態である、一方大林警察署長の手元まで申込める散票的献金も不景氣のどん底に喘ぐ狹い撫順としては意外に多く既に二千圓に達し尚續々と申込者ある有樣で世紀末的思想頽廢の感ある世界的思潮の泥海のなかに敢然淨く美しく咲く大和民族の崇高なる憂國心の現はれは眞に意を强うするに足るものある如くである

撫順の農業界に 貢獻した飯島氏 公主嶺の農務主任に 榮轉して二日赴任す

撫順炭礦農林課農事業務擔當飯島精雄氏は今回公主嶺地方事務所農務主任に榮轉二日歸順多數の見送裡に赴任した

氏は大正八年六月入社以來十年間礦區内は勿論、撫順縣下の農業

開發の爲 大に貢獻した人である、氏の入社當時は撫順を農業地として着眼するものは絶無の狀態であつたが氏は撫順地方を東西に貫流する大運河の水利その他、水田事業に有利なる條件を夙に觀取、大正十三年には萬達屋北方運河々畔に約百町歩の機械力に依る水田計畫を樹て大正十五年には心太和の部落に内地でも稀なる揚水機に依る機械水田完成を指導、昭和三年には農林係直營の模範的

採種田を 完成、當時縣下の寥々たる水田を今や二千有餘町歩に且つ礦區内のみでも僅か二十町歩の水田を現在三百餘町歩に激增せしめたる半面に氏の眞劍なる努力奨勵は實に多とすべきものがある尚その他蔬菜類の高價調節を計る爲新屯に二十五町歩の蔬菜畑を作り傍ら種豚場の開設、養豚組合の創設、馬匹改良に努力せる等その功勞は尠なからざるものあり緊縮の折柄に拘らず農事關係者は氏の爲

惜別の宴 を二十九日張り且つ有志相謀り記念品を贈呈する處あつた

各商店の 投げ賣り

金解禁と年の瀨を控へて撫順でも投げ賣り景品附大賣り出し等が各商店で大流行してゐる、一日からは西五條商店會が近く東四條各商店もダンピングを始めるとの事だ金解禁に依る各仕入先原價の低減に輸入品の漸落とは必然でこゝ當分押迫るまでストツクの投賣戰が續くもの〻如くで何處の店でも三四割乃至半額で賣捌いてゐる向きもあるが給料生活者は金解禁も萬更ら惡くないと轉つてゐるとは現金なものである

煤都餘燼

驛前にお粧すがしい食堂が出來た名は撫順館

…營業主の龜井君緊縮の折柄市民の希望に添ふべく新築し…

五人以上の團體には二圓均一でスキ燒支那料理何んでも御座れで飲み放題詰め込み放題
◇
その試食會を一般有志、新聞者關係をかき集め一日午後五時からやつたが安くて甘くて盛澤山
◇
その上垢ぬけのした美人が近々くるさうだから吾と思はん者はさあ出掛けたり〳〵

花柳界の 收入半減 自動車も不況

公私經濟緊縮の聲が高潮されて以來各地に於ける料亭は何れも其の緊縮主義に適應し且つは營業不振の現況を打開して挽回の一途に向ふべく既に大連、奉天、撫順、安東等の遊廓料亭では客の吸收策として遊興代の値下其他種々方法が講ぜられて居るが、不況の惨風は何れも同じ秋の夕暮で鞍山柳町の料亭も九月以來客足が減切り減少し十月十一月の如きは各料亭共例月に比して收入半減で樓主連は青息吐息の狀態である、未だ之が挽回策に就いては何等講究されて居ないが、何れ各地の例に倣つて打開方法を考究されるに至るであらうと言はれて居る、なほ柳町通ひの遊客を常得意として居るタクシー營業者は左の如く語る

自動車に乘るお客さんの大部分は柳町に通ふ人々ですが、緊縮の叫びで昨今お客さんの減つた事々言つたらお話になりません此儘推移したら自動車屋は上つ…

鞍山

科學に關する 雜誌を讀む 圖書館の新しい傾向

圖書館内でどんな雜誌が一番愛讀されるか係員に就て聞いた所に依ると先づ引張凧にされて一番多く讀まれる雜誌は科學畫報、科學智識で次は改造、中央公論、カメラ、みづゑ、映畫時代、明るい家、文藝春秋、婦人雜誌と言つたやうな順位であるが右に就き岩田主事は語る

諸君の頭が科學に關する高級雜誌に傾きつゝある事は面白い現象である、從來講談倶樂部、キング等の雜誌も備付けて居たが斯うした一般向きの雜誌は家庭でとつて貰ふ事にして七月以來之を中止しその代りに科學の支那滿蒙に關する參考資料となるべきものを多く備付ける事に努めて居る、昨年學生の受驗準備に要する參考圖書等の充實を計るべく其の一部分を取り寄せたが何時の間にか紛失して漸次冊數が減少する處から現在では取り寄せる事を中止して居る、盜難紛失は設備が完備して居ないのにも因るので今後設備を完全にして之れから大いに延びんとする學生達のために出來るだけ多くの參考圖書を取寄せたいと計畫して居る

猶中學生の中には婦人に關する雜誌を讀むものを時々見受けられるので之等に對しては係員から注意を與へて居るとの事である

新入營者 元氣で來着

鞍山守備隊の新入營兵四十六名は一日午後六時三十三分着列車で顏る元氣で來鞍した、驛頭には官民多數の出迎へがあり林地方事務所長代表して歡迎の辭を述べたに對し入營兵代表の答辭があり、夫より出迎への古參兵と共に兵營に入つた、猶新入營兵は三日大石橋大隊本部に於ける入隊式に參加すべ…

千山駐屯所を 寺内中將視察

滿洲獨立守備隊二ヶ大隊の增設に依つて千山に一ヶ中隊駐屯する事となり既に本春五月姫路聯隊より長岡大尉守備隊長を命ぜられて赴任し兵舍の改造其他諸般の準備が整つたので獨立守備司令官寺内中將は之が視察のため一日來千湯崗子溫泉に小憩の後歸公した

煙草組合總會

本年度の收穫に豫期以上の成績を上げた鞍山煙草耕作組合では來年度は更に事業の擴張を圖りより以上の成績を擧ぐべく一日午後一時から實業會堂會議室に於て總會を開き種々協議する處があつた

養蠶組合總會

鞍山養蠶組合では三日午後一時から實業會堂に於て總會を開き來年度に於ける事業計畫其他に就て協議する由

鞍山鐵片

曰く何に曰く何々と種々な問題が世に曝け出されんとして居る
◇
蛇は寸にして人を呑まず正義に向ふ敵はないのだから正々堂々と戰ふもよからう
◇
だが然し私情や感情で平和な村を亂したくはない
◇
數日來の時候外れの暖氣は春の如く消防隊横空地の枯草は青々と芽生え珍現象を呈して居る
◇
細民曰く之は緊縮時候とでも云ふのだらう石炭が要らぬので助かりますと

遼陽

白鳥氏に感謝狀

前遼陽滿鐵醫院長白鳥博士に對し滿洲肺結核豫防會から遼陽が部長として在任中の勞を謝する爲め感謝狀を贈呈した因に山崎副領事は同會遼陽支部長を依囑された

金組役員會

遼陽金融組合では廿九日午後七時から評議員會開催の上新加入者に對する資格審査を行ひ決定の上は近く貸出を開始すと

軍人後援會

遼陽警察署管内加藤煙臺郵便局長は軍人後援會の特別會員に田中驛長、宮川、大森兩助役は共に通常會員に加入した

山岸巡査 つひに逝く 葬儀は二日に

去る三十日長春三笠町朝鮮料理店成館に闖入した强盜を取押へんとして彈丸つき賊彈二發を受け重傷を負つた▲山岸巡査に對しては各方面の同情が集まつてゐたが、同日午後一時遂に手當の效もなく死去した享年二十九歳、葬儀は郷里より嚴父の到着を待つて二日午後二時太子堂で執行

守備隊交替兵

當地守備隊交替兵は二日到着

奥地へ仕向けの 日常品は賣行が惡い

例年特産出廻り期は農家の一年間の收入時であるので、この時期に日常品を買入れるのを常とし特に特産物を運搬した所謂歸り車で輪臺が續々奥地に仕向けられるが本年は長春方面に荷馬車が多く集まつてあるにも拘らず案外輸入品の賣行が惡い、之が原因は時局柄匪賊が跳梁を恐れて成るべく現金で節約する一方大洋及び官帖の下落で物價の高騰を來した爲めであると觀測されてゐる

九時十分城内民食街の自宅に於て長逝した、尚葬儀は來る十二月四日午前九時半より同十時半迄に告別式を濟まし直ちに途中行列を廢し埋葬場に赴く答であるが特に盧氏は支那古來の事六ヶ敷儀禮を打破する意味に於て尊父の一生の盛儀を斯く簡略に極質素に取行ふ由である

京城

朝煙會社の 相談役は全廢か 取締役會議注目さる

朝鮮煙草元賣捌會社は來る三十日の第四期株主總會に於て監査役の改選を機會に會社が合同當初よりの懸案である重役減員を斷行することに決し現在監査役五名の定員を三名に減ずることになつたが同時に無用の長物に等しい同社相談役全廢論が一部有力株主間に擡頭し

專賣當局 もその成行に對し注目を拂つてゐる

同社の相談役は現在十名の多數を算し幾多の波瀾曲折を經て會社の合同が成立せる際當時非常に難色にあつた合同成立の論功行賞の意味と又反對派の策動を恐れた當局が總花的に取締役監査役相談役等の椅子を振當てて當時の難局を切拔けたもので專賣當局も當時會社の基礎が堅實に向つた節は當然重役を減員するといふ思意表示を非公式になしたものである其の後合同成立して二年會社は既に合同直後の創痍も癒へて專賣當局の嚴重な

監督下 に堅實な方針で地歩を占めつゝある今日一種の名譽職たる相談役の席は何等必要なく專賣當局としてもこの點は早くより着眼して機會を見てゐたもので全廢論が株主間に唱道せられつゝある事實に對しては當局も當然なる歸結と觀てゐる而して從來よりの行懸り上相談役全廢は相當困難なる事情が伏在する模樣であるが明年の取締役改選には更に取締役の半減を行ふ當局の肚で合同後二年既に行賞の實も擧つてゐる相談役は當然全廢は免れぬものと觀られその

任免權 を持つ總會前の取締役會議にて當局の慫慂に俟つところなく會社側が自發的に全廢を決議するものとして株式も專賣當局も期待を懸けてゐる

安東

小賣物價の低落 七十二種のうち廿六種が

安東輸入組合で十一月末の小賣物價を調査して見るに前月に比較して低落したものが多くなつた、小賣商品七十二種の中で騰貴したものが三種、保合が四十三種で殘りの廿六種は前月よりも下落して居る騰貴したものは白菜、澤庵、鷄卵の三種で下落した商品は白米、大豆、小豆、麥粉、醬油清酒(白鶴)、味の素、砂糖、鹽魚、鰹魚、椎茸、高野豆腐、素麵、海干、昆布、海苔罐詰、玉葱等の食料品金巾裏地、モスリン、銘仙、足袋等衣料品類五種であり食料、雜貨等生活必需品の大部分が下落した事は安東商店會の大きな努力で市民一般に非常なる喜びを以て迎へられて居る

郵便局員昇進

去月二十五日附安東郵便局員書記補横川晴海、日本電報取扱所增田唯一の兩氏は書記に末廣秀雄、江上甚九郎、永野幸英の三氏は書記補に何れも昇進した

料理代値下 料理店組合で

安東料理屋組合では去る十八日花代並に玉代の値下問題に就き協議を遂げた結果、花代及び玉代は現狀の儘として料理代を値下げする事を申合せ去る二十一日から一般宴會用料理として一人前二圓、二圓五十錢、三圓の三種に分け二圓…料理には酒一本、三圓の料理には酒二本付として料理屋に…

緊縮大講演會

公私經濟緊縮大講演會は既報の如く二十八日午後六時半より安東公會堂に於て開催、定刻過にはさしもの大ホールも立錐の餘地なき程の盛況振りを見せ井上緊縮委員會安東支部長の開會の辭より豫定の如くプログラムは進められ當地一流の辯士が熱誠こめての演說に聽衆は固唾を呑みて聞き入つた各辯士の講演が終つて井上支部長登壇閉會の辭に代へて緊縮宣傳の鴨綠江節を紹介して大盛況裡に午後十時閉會した

緊縮宣傳の鴨綠江節
黄金の解けて凝まる日の本の民の緊縮基礎となる互に緊縮國のため半年待たずに春が來る

刑務所の移轉

安東領事館刑務所は警察構内裏に新館を建築しつゝあつたが、此程落成したので二十九日愈々移轉した室は四室で約六十人の收容能力を持つて居る四番通の舊刑務所は撤去し拂下げる事となり三十日午前十時頃領事館に於て競賣に附した

取引所好績

安東取引所は十一月末を以て本年下半期の決算をなす筈であるが今期の營業狀態は九月以降米金解禁問題の爲め銀市取引が異常の活氣を呈し豫期以上の好成績を擧げ株主配當も三分見當可能となつた尚重役會は來月六七日頃開催の筈

唱題修行嚴修

當地日本山妙法寺にては臘八成道會に際し例年斷食唱題修行を嚴修したが、本年は經濟國難の叫ばるゝあり又思想上の一大難關に逢着し當局にては教化總動員の行はれんとする時に當り徒らに身を慎むるを以てのみ能事とすべき時にあらずとなし街道に緊誠高令如說修行教化の一助となすべく一日より七日間市内を唱題修行をなす事となつたと、尚來る八日午後六時半より同寺に於て釋尊成道會法要を修行する由

開原

開校記念學藝 會と展覽會

開原小學校第十九回創立記念日學藝會は既報の通り一日午前九時より同校講堂に於て開催された定刻永野校長の開會の辭に次でプログラム通り各兒童の話方、齊唱、合唱、獨唱、遊戲、對話、舞踊、書方、圖畫、手工、國史、地理、理科、中國語、對話等順々に上演されたが特に地理と理科の開原附近の觀賞植物、滿洲の山勢と分水嶺、開原縣地等は當地に採集せる標本出土品等を示し有益なる實地研究の發表に注意を引き職員兒童の熱心さに滿堂に溢るゝ來賓父兄母姉弟妹等も好く聽講に聽取觀賞し午後一時過ぎ永野校長…

營口

忠魂碑完成

旭公園内の忠魂碑はかねて移轉中であつたが愈々完成せるにつき一日午前十時半から碑前に於て移轉祭執行市民多數の參列者あり基石高さ十九尺五寸碑石十二尺五寸地面より三十二尺舊碑に比して六尺高く堂々なかなか立派なものとなつた

大石橋

入營兵來る

守備隊第三大隊に入營すべき初年兵士九十四名は一日午後六時三十分の四十一列車にて到着驛頭に在住民歡呼の裡に營庭に向つた

社員會の献金

今回滿鐵社員會より滿洲獻金へ献金方の通知に接せる當地各分會代表者は地方事務所に參集し獻金標準と協議の結果各自の献金額は本俸の百分の三以上とし各會員全部献金することに決定せりと

列車區員献金

列車區員本持松太郎氏は貯蓄債券ん勸業債券計五十圓を國債償還基金中へ献金方申出により當地方事務所より其手續をなせりと

銀世界となる

一日は朝來ドンヨリとして細雨あり午前十時より雪に變じ北風強く吹き荒み夕景の本街は細雨切り頃は銀世界に變じた

敗退將棋 其(五) 滿日名家

【志澤氏一勝二敗目】

香平交左香落 四段 ▲鈴木 一鎮
三段 ▲志澤 春吉

持駒 志澤氏 角歩歩
持駒 鈴木氏 角

【圖は六六歩迄の局面】

【盤面以下指方】 △六六銀▲六七角△五九飛▲五五歩△八四歩▲同歩△七五歩▲四五歩△七四歩▲同銀△七五歩▲八三銀△五五銀▲四六歩

【對局者の感想】 志澤三段曰く六七角は六六歩の繼續で攻めるよりは防禦に利かす考へでした。志澤三段曰く敵の七五歩は嫌な手です。止むを得ず四五歩と指したが敵に角を持たれて居るだけに危險です。鈴木四段曰く七四歩は手拍子で指したが大惡手の方が味ひが厚くて遙かに優つてゐた。

【大崎八段講評】 上手敵が五五歩と取るを輕く八六歩と突棄て七五歩と指せしは六六銀の力を利用しつゝ輕く持角の力を發揮してよろしー。次に七四歩は感想にもある通り六五銀と出る方優れり。

…依つては右の内藝妓の線香代も含ませる處もあり此の外に酒並に花代を遊客負擔となす家もあり其の間全部の料理店が一率に協定することは困難な爲め或る程度料理屋側の自由裁量にする事となつた

…の閉會の辭に總會裡に終了した成績品展覽會は沿線三十餘校よりの出品並に理科室には滿洲採掘の諸鑛石等を陳列し家政室には各生徒の手藝品等を陳列されてあつたが各出品中には兒童の作品とは見られぬ程天才的成績品もあり觀覽者踵を接するの盛會であつた

コドモページ

童話 線香花火（上）

瀨野皓太

ある寒い冬の夜の事でありました。誰も彼もが寢靜まつてゐて馬車のわだちの音も聞えないいくらゐの淋しさでありました。

子供はふと眼をさましました。電燈が消された部屋の中は、それこそまつくらで、今まで見てゐた夢の世界の方がずつと明るかつたと思ふ程でした。

よく夜中には遠くの方から靜かに響いて來る汽笛の音や、淋しい犬の遠ぼえなどが聞えて、暗いやみの怖ろしさを消して呉れ勝ちなものです。その子供も實はそつと耳をすまして、そんななつかしい音を心まちに待つてはゐたのであります。けれどもどう言ふものか、その夜は、それこそ靜まり切つてゐて、何の響きも聞えては來ないのでした。子供のおびえがちな心は、ともすれば一層おびえさせられるのでありました。

子供はしばらくじつとそのまゝ蒲團の中にもぐつてゐましたが、お了ひにはとう／＼我慢が出來なくなつて、そつと手さぐりに枕もとを探し求めました。

子供が探し當てたのは、少さな線香花火の一たばでした。

その子供は、何だか妙にその日は線香花火がほしくて堪らなかつたので、丁度御用事で街に出た父さんに買つて下さる樣にたのんでおいたものなのでした。子供は眠たいのをこらえて待つてゐましたが、待ち切れずにねて了つたのであります。

だから、子供の夢は、あの美しく飛びちる花火の模樣がいくつも入りみだれてゐたのでした。

今、子供の手ににぎられた線香花火の一たばは、それこそ子供の心をすばらしく明るくしたのも無理はありません。

今の今まで子供をおびやかしてゐた暗がりは、今度はその子供に取つてはむしろ都合の好いものとなつたのです。

一本だけで好いから火をつけて見たいな、と考へたからです。

けれども部屋は、ひどく冷てゐましたし、暗い所を通つてマッチのあるお臺所にまで行かねばならないと思ふと、子供はも一度考へ直さねばならなかつたのです。

しかしお了ひには、ぢつとしては居られなくなつたものと見え、とう／＼お臺所に出かけました。そして寒さにふるへながら一本のマッチをすつたのでした。マッチの明りが花火の藥を包んだ紙の赤や青や模樣をてらしました。花火は煙硝くさい匂と一緒にもえ始めたのであります。

◇ニヒキ ナカヨク◇◇

ニドメノ 大チヤンノタンケン（153）

ハルミチ作　ジラウ畫

大チヤンタチノ センスヰテイガ ウシロ カラ ツイテクル トハ シラナイ ウミノ クワイブツ ハ マツカナ カミノ ケヲ フリミダシナガラ ヤノ ヤウニ ハヤク ドコカニ オヨイデ イキマス。

「ドコニ ユクノダラウ?」大チヤンタチハ ムネヲ オドラセナガラ ドコマデモ ツイテユクト ヤガテ ペリスコープニハ ツルギヲ タテナラベタヤウナ 一ツノ シマガ アラハレマシタ。

ウミノ クワイブツハ ソノ シマヲ メガケテ オヨイデキル ヤウデス。

「ハハア、アレガ クワイブツノ スンデヰル シマダナ」大チヤンハ ペリスコープヲ ノゾキナガラ サケビマシタ。

學校と家庭

教育隨想 世の親達よ 何のために教育する？

春波樓

◇ 學校は出たが雇手がない、需要供給の因果律は年一年と學校卒業者の就職率を低下せしめつゝある折から現內閣の緊縮政策が聲高くブロードキヤストされたので、之に呼應する官衙會社は只管人件費の節約を以て緊縮の實現とする結果新採用の手控となつたので今や卒業期を前にしてサラリー生活を目指す學校出の就職難はいやが上にも深刻味を加へて來た

◇ ところで官廳に於ける各大學卒業生の就職率を調べて見ると昭和二年の平均が三〇、二パーセントであつたのが昨年は二〇、三パーセント、而して昭和四年は更に激減して一五、〇パーセントとなつてゐる。官廳でさへ然りだ、其の他の一般會社は押して知るべしである。かくて年々校門より排出される卒業生等は「我等に職を與へよ」の悲痛な叫びを擧げながら街頭に溢れてゐるが、その數は年毎に增加する一方である。

◇ 多額の學費を投じ、中にはありつたけの家產を息子の教育費に注ぎ込んでやれ／＼卒業證書が貰へるかと安堵の胸をなで下した瞬間から就職難を嘆たねばならないとは何たる意地の惡い世相であらう「何の爲めに莫大な金を子の教育費に注ぎ込んだのであらう」と更後悔して見たところで追つかない。「世の親達よ、何の爲に學校へ出すか」と言ひたくなる。

相當の學校さへ卒業して居れば勝手な氣儘を言ひながら大威張で就職の出來たのは明治時代の夢だ世は大正より昭和となり求職にあへぐ人々が街頭に渦を卷く今日幻滅の悲哀は「教育はパンを得る爲めの投資ではなかつた」といふ眞理を人々の腦裡に深く／＼刻みつけてゆく。

◇ 教育が若しパンを得る爲めの投資であるならばそれは餘りにも利廻りの惡い投資であらねばならない

◇ そこで一寸算盤を持つて見やう先づ小學校は算盤に入れないことにして中學五年がザツと三千圓、高等學校三年が三千圓、大學の三年が四千圓、概算しても大學を卒業するまでに一萬の學資はいる。勿論之は下宿料も含めてであるが若し中學時代は自宅から通つたとしても總計の上に大差はない、此の一萬圓を年一割に廻すと年利千圓で月に割ると八十一圓餘になるが大學を卒業して幸運にも職に有り附けたとしてその初任給は僅かに六十圓乃至七十圓、それも割のいゝ方がさうである。それより低いのになると、口をあづけて三十圓、もつと惡いのになると食べさしてもらふ代りに月五圓の小遣ひを貰ふといふなさけないのもあるこれでは教育投資も引合つた話でない。

◇ 世の親達よ、子供を學校へ出しさへすれば飯か食へると思ふ誤りた考へを取り去れ、子供にパンを與へる近道は他にいくらもある。教育は決してパンを得る唯一の方法ではあり得ない、教育はやはり人間を內面的にのみ豐にするものであつて決して懷を豐にするものではなかつた。

兒童の作品

童謠 滿洲において

旅順　耕一

雨の降らない國が好きなら
いつも遊べる滿洲においで
こゝではお日樣
めつたに泣かぬ
月に一度も
泣かぬとこ。

青葉大陰の
アカシア花の
香ひかぎたきや
滿洲においで
若葉の蔭の白い花
道の並木に咲く花よ。

小さい馬の
お耳の長い
ロバに乘りたきや
滿洲においで
秋の野原で
ギーと啼く
滿洲名物ロバの聲。

ドンチヤン、ガンチヤン
ブードンドン
音樂きゝたきや
滿洲においで
支那の嫁入り面白い
畑の中を
馬車で行く。

硝子工場見學

大廣場小學校　六年　士田　基

「やあ、硝子工場だ」「晶子硝子だね」など話をしながら硝子工場の門をくゞつた。僕等は門の中でしばらくまつて居た。ガラス工場の戸のすきまからのぞき見をして居る者もすこし居た、そこはガラス器を包んで居る所だつたやがて先生が事務室から出て行らつしやつた。と、いつしよにガラス工場の人らしい人が二人ぐらゐ出て來られ一人は男子、一人は女子の案內者であつた。僕等男子は初め事務室の方から陳列室に行つた。どこ／＼に輸出するといちいち札が立てゝあつた國々によつて皆それ／＼ちがつてゐるのも面白い。そこを出て、調合室の前を通つた。そこでは調べかはが廻つて石をこなすのや調合するきかいが廻つて、其處で、はたらいてゐる人は支那人であつた。口にはきれで作つた大きな、ますくや、毒ガスますくみたいな物をあてゝ居た。

それからすこし行つた所で、僕等の案內者が何にか石を持つて說明して居る。

僕は餘り其の人がこゑが小さいので、よくきこへなかつた。ガラスを作る材料の石を二つ三つとつた。

こんどはさつきとほつた調合室の反對がはを通つて、熔解窯のある建物に入つた。ここでは讀本でならつた樣に、窯の周圍にはたくさんの支那人の職工が汗を流しては居ないけれども、いつしんに働いて居る。ここでは型に入れてつくつて居る。熔解窯の內には、赤くガラスがとろ／＼にとけて居るくだについたガラスを鐵でやかましくたゝいて、どけて居る小はいも居た。こゝではおもしろいかつからのびん見たいな物を作つて居たこゝのやうかいがまのある室はじつに大きかつた。

僕はあまりに、おも白いので、しばらくじつとこのおもしろい珍しいものを見て居た。しぶしぶこの室を出て細工室に入つた。ここでは火力によつてきたないきりくちをきれいにして居たなかなか面白い。歸りにさつきのぞきみをした室を見た。

その室では女工が器用な手つきで紙にガラスきをつつんで居る僕等は案內者に「有がたう／＼」とお禮を言つて、ガラス工場を出た。

實に面白かつた。

初雪

大廣場小學校三年　矢代順之助

ふる／＼雪が
初雪が
野山の道も
まつしろだ
ふる／＼雪が
初雪が
にわのかきねに
つもつた雪は
見事なにわの
花となる

新刊教育書紹介

▲一年生教育（十二月號）　國語讀本の音樂的處理、讀書法、十二月の學校兒童衞生、年中行事の教育化、綴方指導誌上研究會綴方成績品處理の研究、その他（東京市神田區表神保町小學館）

師走を行く

年々殖えるスケートの需要
不景氣風はよけて通る運動具店の前（二）

——お父さん、僕ロングが良いよ、こんなけちなのぢやあ競爭出來やしないよ、ねえロングを買つてよ——と或スケート屋さんの頭店で尋常三年位の坊ちやんのおねだりだ。下駄スケートを引つかけて片足滑りに滑つて居たのは一昔前の事で現今は小學生迄ロングだのフイギユアーだの注文が難しい。是も斯道發達の結果でロングが大連で使用され始めたのは八年許り前からだが、年々需要が殖え最近は全體の一割位ロングが出て行く。

◆スケートは毎年州内外を通じて約八千足賣れて行くがドイツ製の物が一番多くフイギユアーで六、七圓から十八、九圓、ロングが七圓五十錢から十五、六圓迄で皆アルミニユームか其上にニツケル鍍金をしたものだが、滑双の鋼鐵の如何により良惡があるが、矢張り七、八圓位が一番賣れる、最近五圓前後で日本製の品が出來地金は鐵で鍍金したものだが緊縮の折柄大分捌ける模樣である。其他スキーデン、アメリカ製の上物も幾分出る。

◆四、五年前より各靴屋で盛んにスケートを賣始め而も靴の賣行を殖やす爲めスケートの方は儲けを犧牲にして安く出すので俄に運動具屋さんも大恐慌、値下の競爭が始まり昨年邊りは原價切々のドン底迄落ちて練習用のスケートなんかドイツ本國よりも安い位だと云ふ。

——漸く仕入原價の一割五分位の利益で今年も又競爭の結果昨年より二、三十錢下がるでせうが此調子ぢや原價が切れます——と某運動具屋さん仕入部迄見せて大こぼし。

◆而も十二月に雨が降るといふ本年の暖かさに例年なら十日頃から滑れるのだが此調子なら年内中に滑れるだけの氷が張つて呉れるかどうかと、雨空を見上げて恨んでゐる。

◆雪の少い滿洲ではスキーは數へる程しか賣れず大連の運動具店でも一昨年から店頭に置く樣になつたのだが、是は内地でスキーをやつた人が其妙味を忘れられず當地で雪が降つた日スキーを履いて雪の上に立つてみるだけでも良いといふ熱心家に求められる位なもの併し沿線には昨年邊りから相當に出るといふ

——緊縮と言つても此運動具には大した影響はないでせう——と運動具屋さんの樂觀豪語するところ、寒風を衝いて氷上亂舞、師走風を克服する事亦ウインタースポーツの快ある所以哉（寫眞は景氣のよい運動具屋の店前）

佐分利公使の遺骸は解剖に附せらる
神奈川縣警察部と警視廳側と意見の相違から

【東京一日發電】佐分利公使の死を解決すべく遺骸を解剖することゝなり本日午後二時外務省官舍に安置されてゐる遺骸は、靈柩車に乘せられ小村侯、藤井外務省人事課長等附添ひ帝大法醫學室に送られ帝大宮永博士、外務省囑託板村博士執刀、本事件に神奈川縣警察部と警視廳側と意見の差あるので横濱地方裁判所岩松檢事正、西坂神奈川縣刑事課長、警視廳側から丸山警視總監、阿部刑事部長、江口捜査課長、加藤警部、吉川鑑識課長、高木警部、警視廳保安課のピストル專門家豐島技手、金澤檢事等立會ひの上解剖は施されいよ〳〵專門醫學的解決をされることゝなつた

自殺と決定

【東京一日發電】故佐分利公使の遺骸を本日午後二時より帝大にて解剖の結果自殺と決定した

勅使御差遣 故佐分利公使の告別に

【東京二日發電】天皇陛下には本日佐分利公使の告別に當り午後一時勅使永積侍從を御差遣幣帛を賜はり別に祭粢料として金一封御下賜の御沙汰あつた

葬儀は行はぬ

【東京一日發電】故佐分利公使の遺骸は本日解剖後更に外務省官舍に安置し、三日午後二時より三時迄親戚の告別を行ひ尚茶毘に附した上遺骨は駒込吉祥寺に葬られ、別に告別式とか葬儀などは行はないと

馮庸軍大に勝つ
五十五對二十四にて 一日YMCAとの籠球戰

一日午前南滿工專と接戰の末惜敗した馮庸大學籠球選手は同日午後七時より敷島町YMCAコートに於いて大連YMCAと戰を交へたが、YMCA軍に日頃の調子出でず一方馮庸軍は例の見事なロングスローと加ふるに主將成の驚異的な活躍によつて後半次第に差を大きくし五十五對二十四にて馮庸の勝利となつた、成は自分に對するYMCA軍のマークの不充分であつた事にも幸ひされたが、後半の如き一人で二十二點の得點を稼ぎ主將の面目を充分に發揮してゐた

閉戰同八時審判原田伊藤兩氏

馮庸55（34、21）　YMCA24（8、16）

得點	（馮庸）		（YMCA）	得點
28	成壯懷	F	山本	10
2	董振文	F	下重	13
10	李殿中	F		
0	武維濤	C	西本	0
7	李春風	G	大山	1
8	馬玉華	G	井上	0
52	（26）	FG	（9）	18
3		FT		6
	7	P	4	
55				24

又も衝突事故

一日午前五時三十分ごろ大連春日町二五飲食店福壽亭前車道に於て春日町二入平和タクシー運轉手北丸義雄（二〇）の自動車と若狹町車夫合宿所内車夫陳世增（二〇）の人力車が衝突し人力車を破損し約十五圓の損害を負はしめた

馮庸勝つ 二對零で
中華青年とのア式蹴球戰

遠く奉天から遠征して來た馮庸大學足球隊對大連中華青年會足球隊とのア式蹴球戰は一日午後三時五分より大連運動場に於いて細雨を冒し陳家駒氏の主審にて開始されたが、馮庸軍常に壓迫を續け前半三十分中華軍ゴール前十碼にて中華軍反則をなし馮軍のペナルチーキツク入つて一點後半五分馮庸軍見事なFWのショートパスで中華ゴール前に迫り、CF蔡恩成のシユート極つて更に一點を加へ結局二對零にて馮庸の勝利となつた、閉戰同四時十五分

坪井殉職部長の遺骸間島につく
けふ總領事館葬執行

【間島二日發】壯烈な殉死を遂げた坪井巡查部長の遺骸は自動車で一日午後六時間島總領事館に内鮮官民多數に出迎へられて到着した、氏の葬儀は三日午後一時より總領事館葬として執行する筈である

因に坪井氏は二十八日部下十一名と共に春寒星に出動し春志廣以下二十餘名の不逞鮮人を手分けして捜査中、二十九日の未明坪井氏は朝鮮妓樓に潜伏中の張が正に逃走せんとする所を單身追ひ詰め引き捕へて格鬪中拳銃にて前額部を打たれて仆れたるもひるまずこれを追はんとしたところ更に左足に彈丸を受けて立ち上る能はず、この最中隨行の巡查は張を追つたが彼はその儘逃走したもので、坪井氏は三十日午前七時遂ひに絶命した、なほ匪賊は五名既に逮捕されてゐる

就職難から東海道線荒し
豪遊中遂に逮捕さる

【東京二日發電】一時絶へてゐた東海道線列車荒し事件の頻發に警視廳は各列車に刑事を乘車させて警戒してゐたところ二十五日午後九時四十五分東京驛發下關行列車二等客中から犯人を逮捕した、即ち同列車が濱松に到着前犯人は六七名の相客のトランクその他を窃取したうへ濱松驛で下車したが調查の結果、犯人は東京市外蒲田の自宅に歸り窃取した現金二千八百圓を携へ横濱市花咲町待合清松で豪遊中を逮捕されたもので一日午後警視廳に護送された、犯人は曾て列車ボーイとして東京驛に居た古澤久策（二七）とて大正十二年[illegible]庖丁强盜事件で巣鴨刑務所に懲役七年の刑を終へこの夏六月出所したが以來就職難のため列車强盜を働いてゐたものである

バスケット詰の嬰兒殺し捕はる
岐阜縣にて前科二犯の男 養育料欲しさの兇行

【名古屋二日發電】昨年一月六日名古屋港内にバスケット詰生後半年位の嬰兒の死體が浮び上つて以來捜查の効なく犯人は不明となつてゐたが一日端なくも岐阜縣土岐郡土岐津で犯人の逮捕を見た、犯人は京都市南京區一條通り淨福寺東入る京染業桔梗屋本店方前科二犯岡田光五郎（三七）といひ、名古屋市に在住中失職して困窮の果て昨年一月某派出婦會の私生兒生後六月の嬰兒を養育料百圓で貰ひ受け之を殺して港内に投棄したものである、同人はこのほか二ケ所から同樣養育料をせしめ嬰兒を殺害遺棄し、松坂屋名古屋本店の女店員某と私通して出來た嬰兒をも同樣殺害、琵琶湖畔唐崎松の附近に遺棄埋沒したことを自白した、なほ餘罪ある見込みで取調中である

簡易保險局健康相談所
大連に設置

【東京一日發電】遞信省簡易保險局健康相談所は本年度に內地各所に增設さるゝに伴ひ殖民地でも保險料收入に應じ大連に近く設置さるゝに決定、樺太、臺灣は未だ設置に至つてゐない

巡查斬り犯人
二日法院送り

庄野巡查傷害犯人張道隆（三）は逮捕以來、旅順署吉田訊問係の手に依り嚴重取調中であつたが三十日訊問をおはり二日刑事をして大連地方法院檢察局へ押送せしむる事と決定したが、張は山東居住中、支那武道を習ひ、庄野巡查追跡の際には鋭利なる双物を翳して抵抗し、明らかに殺害の意思ありたる事を自供した爲め、告發罪名は殺人未遂及び窃盜罪となる模樣で張と同時に、張の窃盜の共犯となりたる山手町一張庭昌（二）及び贓物と知り乍ら故買したる新市場町飯屋宋日俊（）も共に檢察局へ押送される筈

塚本女史昏倒

【靜岡一日發電】生活改善同盟理事塚本ハマ女史は一日午後二時靜岡縣主催藤枝小學校に於ける興國運動講演會で講演中遽かに其場に昏倒したので、直に醫師を招き應急手當中なるが連日の講演で睡眠不足し暈ひを起したものらしいが血壓高く腦溢血の兆候あり相當重態である

けふのラヂオ

昭和四年十二月三日（火曜日）

- 自午前十一時　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）
- 自午後〇時三十分　相場（特産、錢鈔、各地相場）ニユース
- 自午後三時三十分　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニユース
- 自午後七時
  - 一、ニユース
  - 二、講話（國難に直面して）　松山理三
  - 三、謠曲（繪馬）　喜多流白井靖畝
  - 四、筑前琵琶（四條畷）　洪洸山上地旭靜
  - 五、長唄（小鍛冶）　唄森丈、三味線杵屋榮多賀、尺八木村汲山
  - 六、支那劇（坐宮盜令）　浦東倶樂部々員
  - 七、料理獻立
  - 八、天氣豫報
  - 九、ラヂオ體操

藤原義江獨唱會
日本民謠の歌詞
前賣切符けふから賣出します

五日午後六時半より協和會館に開催の本社主催の渡米告別獨唱會に出演のテナー藤原義江氏は昨二日門司出帆のほんこん丸に乘船した旨通知があつたが四日着連、同夜大連放送局のために獨唱會に於ける演奏曲目以外のラヂオ放送をなすはずで、前賣切符は本日より滿鐵社員クラブで一般に賣出すことになつてゐる、會費は一般は二圓本紙讀者、滿鐵社員クラブ員に限り一圓五十錢、滿鐵職員の學生は七十錢、子供は半額である、當日演奏の曲目中の日本民謠の歌詞は左の如し

マリアの唄

マリア花園に守るや神子を
そよ吹く風若葉を搖りて葉がくれに
小鳥は歌ふ、あ神子エス眠れ
やさしき笑み、樂しき憩ひ、胸にやすめ
聖なる母の、あ神子エス眠れ

たぬき橋
三木露風作詩

いつちく、たつちく狸橋、月夜に來るのは誰かいな
お手々はまひまひ、お足はぶらぶら
渡つてくるのは誰かいな
お寺の門番、提灯消されて油揚取られて
いつちく、たつちく狸にとられて
お手々はないない頬かぶり

ペチカ
北原白秋作詩

一、雪のふる夜はたのしいペチカ
ペチカもえろよお話しましよ
昔々よもえろよペチカ

二、雪のふる夜はたのしいペチカ
ペチカもえろよ、おもては寒い
くりやくりやと呼びますペチカ

三、雪のふる夜はたのしいペチカ
ペチカもえろよもうぢき春よ
今にやなぎも、もえましよペチカ

四、雪のふる夜はたのしいペチカ
ペチカもえろよたれだか來ます
お客さまでしようれしいペチカ

五、雪のふる夜はたのしいペチカ
ペチカもえろよお話しまよ
火のこ、ぱちぱちはねろよペチカ

ひがんばな

ゴンシヤン、ゴンシヤンどこへ行く
赤いお墓のひがんばな、ひがんばな
けふも手折りに來たわいな。
ゴンシヤン、ゴンシヤン何本か
地には七本
血のように、血のように
ちようどあの子の年の數。
ゴンシヤン、ゴンシヤン氣をつけな
ひとつつんでも日は眞晝、日は眞晝
ひとつあとからまたひらく。
ゴンシヤン、ゴンシヤン何故泣くの
いつまで取つてもひがんばな、ひがんばな、怖や、赤しや、また七つ。

鳥の番雀の番
野口雨情作詩

鳥が種蒔く雀が見てる
雀が種蒔く鳥が見てる
鳥は、雀の番してる
つは鳥の番してる
雀も困つた鳥も困つた
雀も鳥も困つちやつた。」

佐渡おけさ
埠内敬三編曲

佐渡へ佐渡へと草木もなびく
佐渡は居よいか、住みよいか
佐渡へ八里のさざ波越えて
鐘がきこえる寺とまり
雪の新潟ふぶきで暮れる
佐渡は寝たかよ火が見えぬ

宵待草

待てど、暮せど、來ぬ人を
よひ待草の、やるせなさ
こよいは、月も、出ぬそうな。」

せつせつせ

一里二里なら
傳馬でもかようさ、」
五里とはなれりや
サツコラサノサ
風たより、せつせつせ、」
風たより、せつせつせ

動かぬ風車（滿洲童謠）
石森延男作詩

一、いつのころから、とまつたものか
とんとうごかぬ、風車
風がふいても、うごかない
雲がとんでも、うごかない

二、麥をひきひき、まはつたところは
はでなまはりを、風車
鳥がないては、くるくるり
花がさいては、くるくるり

三、今日も、ゆめみる、むかしのわかさ
さめぬゆめみて、風車
鐘がなつても、さめやせぬ
雪がふつても、さめやせぬ

曠野の雪
新木秀郎作詩

一、雪の曠野に、消え行く人は
銀の霜降る、風の夜を
赤く凍てつく、旗の山
廟が見えます、雪の原

二、消えて行く雪、曠野の果てに
壯のオンドロ、酒はのぼる
妾しの心も、凍てつくばかり
廟が見えます、雪の原

出船の港
時雨音羽作詩

ドンとドンとドンと、波のり越して
一挺二挺三挺、八挺櫓で飛ばしや
サツと、上つた鯨の汐の。汐のあちらで、朝日はをどる
エツサ、エツサ、エツサ
押し切る腕は
みごと黒がね、その黒がねを
波はためそと、ドンと突きあたる
ドンと、ドンと、ドンと、ドンと
突きあたる
風に帆綱を、きりりとしめて
梶を廻せば、舳はをどる
舳に、身をなげかけりや
夢は出船の港へ戻る

藤原義江氏歡迎茶話會

本社主催の獨唱會に出演するテナー藤原義江氏歡迎の意味にて好樂家有志の發起で四日午後七時半からヤマトホテルに於て歡迎茶話會を開催する、出席希望者は四日午前中に會費金一圓を添へ滿日學藝部（電六三四八）三好まで申込まれたい

藤原義江獨唱會
讀者割引券
本券持參者に限り一圓五十錢

藤原義江獨唱會
讀者割引券
本券持參者に限り一圓五十錢